

2022年4月入学

2021年9月入学

東京工業大学
大学院修士課程
専門職学位課程

清華大学（中国）との大学院合同プログラム

学生募集要項

2021年4月



東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

インターネット出願サイトでの出願情報の登録及び出願書類の提出：2021年6月10日（木）～6月16日（水）（必着）

※インターネット出願サイトでの登録は、6月7日（月）午前9時から可能です

修士課程入学試験の流れ

【インターネット出願サイトによる出願情報の登録及び出願書類の提出】

6月10日（木）～6月16日（水）必着

インターネット出願サイトでの登録は、6月7日（月）午前9時から可能です。

【受験票の閲覧・印刷】 7月8日（木）正午12時頃

インターネット出願サイトのマイページより、受験票を印刷してください。A日程又はB日程いずれかの受験資格についてもマイページに通知します。

A日程受験資格者

B日程受験資格者

【A日程】

口述試験

7月16日（金）、17日（土）、19日（月）、20日（火）
のうち系等の指定する日

結果通知 7月30日（金）午前9時頃

インターネット出願サイトのマイページに通知します。

合格内定となった者

合格内定とならなかった者

【B日程】

筆答試験 8月17日（火）

口頭試問 受験資格者発表

筆答試験終了後から口頭試問実施時までの間に『II 系等の案内』
に記載の方法により発表

口頭試問

8月17日（火）～27日（金）のうち系等の指定する日

【合格者発表】 9月7日（火）15時頃

本学ウェブサイト（新着入試情報）にて発表します。また、インターネット出願サイトのマイページに通知します。
9月9日（水）0時～14時59分は、マイページによる合否照会はできませんのでご注意ください。

【9月入学】

【入学手続書類受領】

【入学手続日】9月中旬

【4月入学】

【履修コースの決定】 10月下旬

【入学意向のウェブ回答】11月中旬

【入学手続書類受領】 1月下旬

【入学手続日】 3月下旬

《必ずお読みください》 志願者のみなさまへ

(1) 最新情報及び不測の事態が発生した場合の対応の公表

- ・ 入学者選抜等に関する最新情報や、災害・新型コロナウイルス感染症拡大等により不測の事態が発生した場合の対応は、以下の新着入試情報及び各系等のウェブサイトで公表しますので、随時確認してください。

《新着入試情報》 https://www.titech.ac.jp/entrance_information/

《各系等のウェブサイト一覧》 <https://www.titech.ac.jp/education/departments.html>

- ・ 自然災害による交通機関混乱等のため受験困難な場合には、至急、入試課(nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp)及び、『Ⅱ 系等の案内』の【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】の両方に連絡してください。

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により対面試験を中止する場合の公表スケジュール

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面試験を中止してオンライン試験に変更する場合には、以下のスケジュールで公表する予定です。

《A日程》

2021年 6月17日頃まで	全系でA日程の対面試験を中止してオンライン試験に変更する場合、6月17日頃までに、その旨を新着入試情報で公表します。 《新着入試情報》 https://www.titech.ac.jp/entrance_information/
7月8日頃まで	一部の系のみA日程の対面試験を中止してオンライン試験に変更する場合、7月8日頃までに、該当する系を新着入試情報で公表します。
7月8日以降	オンライン試験を実施する系から、A日程受験資格者に、受験方法を各系HPまたは電子メールでご案内します。

《B日程》

2021年 7月30日頃まで	全系または一部の系のみB日程の対面試験を中止してオンライン試験に変更する場合、7月30日頃までに、その旨を新着入試情報で公表します。
7月30日以降	オンライン試験を実施する系から、B日程受験資格者に、受験方法を各系HPまたは電子メールでご案内します。

(3) 住所を変更した場合の対応

出願後、住所変更があった場合は、速やかに、(1)受験番号、(2)氏名、(3)新しい郵便番号と住所、(4)新しい住所への転居日を以下のメールアドレスに届け出てください。また、郵便局で郵便物転送のための手続きを行ってください。

2021年 12月末日まで	学務部入試課 nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp
2022年 1月以降	学務部教務課 kyo.dai@jim.titech.ac.jp

(4) 受験上及び修学上の特別な配慮が必要な場合の対応

障害等がある志願者で、その障害等の種類・程度に応じて受験上及び修学上の特別な配慮を必要とする場合は、あらかじめ出願期間の前に入試課に申し出てください。申請書(本学所定様式)、医師の診断書等を提出していただきます。

(5) 出願書類に関する注意

- ・ 出願書類はいかなる場合も一切返却しません。また、コピーをとってお渡しすることもしませんので、必要な場合はあらかじめコピーをとっておいてください。
- ・ インターネット出願サイトによる入学検定料の支払い後、登録した出願情報の内容変更は、いかなる場合も認めません。また、願書受理後の出願書類の内容変更は、いかなる場合も認めません。
- ・ 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ・ 出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取り扱いには以下のとおりになります。
 1. 出願にあたり知り得た個人情報については、入学者選抜業務を行うために利用します。また、入学者のみ、①入学手続業務、②授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
 2. 出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は、入学者のみ、①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)の業務を行うために利用します。
 3. 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
 4. 上記1～3の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。

(6) 検定料に関する注意

- ・ 一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。
- ・ 特に、出願資格審査を受ける場合は、出願資格審査の結果が分かるまで払い込まないでください。

(7)外国籍の志願者への注意

・海外に居住する志願者の方へ

出願後に、新型コロナウイルス感染症の入国制限等の影響により来日して受験することができなくなった受験者へは、下記①および②の対応を行う予定です。

①追試験を申請可能とします。ただし、追試験による合格者は「2022年4月入学」となります。

②出願取り消し（検定料返還）を申請可能とします。この申請により出願を取り消した者については、入学時期が同じ本学の修士課程の他の募集へ出願するにあたり、二重出願には当たりません。要件が整えば、2022年4月入学IGP(C)に出願することができます。

追試験の時期や、①②の申請方法等の詳細は、7月中旬以降に本学の新着入試情報に公開します。

《新着入試情報》 https://www.titech.ac.jp/entrance_information/

・在留資格について

在留資格申請手続きは、合格が確定した後に始めるため、在留資格を持たない外国籍の志願者が「9月入学」となった場合、入学までに在留資格の取得が間に合いません。

このため、外国籍の志願者が9月入学を希望する場合は、

(1) 出願時に日本に在住していること

(2) 2021年9月30日まで有効であり、長期滞在が可能な在留資格を有していること

の両方が必要です。

在留資格の有効期限が、合格発表日の翌日から2021年9月30日までの間にある場合は、出願期間前に入試課へ連絡して、対応を確認するようにしてください。

・感染症予防について

出身国により予防接種状況が異なる背景や、本学の感染症に対するリスク管理の観点から、入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学、高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む）は、入学前の3カ月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を、原則入学前までにご提出いただきます。

詳細はこちら (<https://www.titech.ac.jp/enrolled/health/international.html>) をご参照ください。

(8)安全保障輸出管理について

東京工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人東京工業大学安全保障輸出管理規則」を定め、技術の提供等が、国際的な平和及び安全の維持を妨げるおそれがないか、審査を実施しています。

このことから、規制事項に該当するおそれのある場合は、希望する教育・研究内容の変更を求められることがあります。なお、入試の可否には影響はありません。

安全保障貿易管理の詳細については、以下の経済産業省のウェブサイトを参照してください。

《経済産業省》 <http://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>

《本件に関する本学問い合わせ先》 stc.admission@jim.titech.ac.jp

(9)入学時に関する注意

出願時に卒業、学位取得、単位修得等が見込みである場合、9月入学者は2021年9月29日、4月入学者は2022年3月31日までに卒業、学位取得、単位修得等が確定である必要があります。確定できない場合、入学できません。

***ご不明な点がある場合は本学ウェブサイトの入試FAQをご覧ください！よくある質問を掲載しています。**

《入試FAQ》 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/faq.html

目 次

I 全般に関する案内

1. 募 集 人 員	1
2. 入 学 時 期	1
3. 出 願 資 格	2
4. 出 願 手 続	4
5. 選 抜 試 験	6
6. 合 格 者 発 表	7
7. 合格後の手続きについて	7
附録1. インターネット出願サイトで登録する出願情報	8
附録2. 検定料支払い方法のご案内	9
附録3. 本学が定める外部英語テストの換算基準	10

II 系等の案内

【理学院】

数学系	13
物理学系	15
化学系	17
地球惑星科学系	19

【工学院】

機械系	22
システム制御系	27
電気電子系	30
情報通信系	34
経営工学系	37

【物質理工学院】

材料系	40
応用化学系	44

【情報理工学院】

数理・計算科学系	50
情報工学系	53

【生命理工学院】

生命理工学系	57
--------	----

【環境・社会理工学院】

建築学系	63
土木・環境工学系	67
融合理工学系	70
社会・人間科学系	74
技術経営専門職学位課程	77

III 清華大学（中国）との大学院合同プログラム入学試験案内

● アドミッションポリシー

79

82

I 全般に関する案内

1. 募集人員

学院名	募集人員数 〔注1〕	系名 〔注3〕
理 学 院	154	数学系
		物理学系
		化学系
		地球惑星科学系
工 学 院	477	機械系
		システム制御系
		電気電子系
		情報通信系
		経営工学系
物 質 理 工 学 院	347	材料系
		応用化学系
情 報 理 工 学 院	135	数理・計算科学系
		情報工学系
生 命 理 工 学 院	168	生命理工学系
環境・社会理工学院	263	建築学系
		土木・環境工学系
		融合理工学系
		社会・人間科学系
	40	技術経営専門職学位課程 〔注2〕
合計	1,584	

〔注1〕 募集人員は、2021年9月入学者と2022年4月入学者の合計です。

〔注2〕 技術経営専門職学位課程では、募集人員のうち15人を、12月に行う社会人のみを対象にした入学試験で別途選抜します。

〔注3〕 志願できるのは、1つの系、専門職学位課程です。

★教育上の配慮から、系ごとに受け入れられる人数（以下、「受入可能予定人数」とする。）を設けています。

『Ⅱ 系等の案内』を参照してください。

★過去の志願者数、合格者数は以下の本学ウェブサイト公表しています。

《入学試験状況》 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/statistics.html

2. 入学時期

本選抜試験の対象とする入学時期は「2022年4月」又は「2021年9月」です。出願にあたっては、以下の2つの選択肢から希望する入学時期を選択してください。

①2022年4月入学 〔注1〕

②2021年9月入学又は2022年4月入学 〔注2〕

〔注1〕「2022年3月卒業見込みの者」及び「清華大学との大学院合同プログラムを第1志望とする者」は①しか選択できません。

〔注2〕 ②を選択した場合は、系等がカリキュラム等を考慮して入学時期を決定し、合格発表と同時にお知らせします。

3. 出 願 資 格

(参考) 主な出願資格は以下のとおりです。

日本の大学を卒業 → 下記 (1) 高専を卒業し、学位を取得 → 下記 (2) 海外の大学を卒業し、学位を取得 → 下記 (3)

出願資格者は次の各号のいずれかに該当する者とし、ただし、2021年9月入学希望者は(1)～(11)において、2022年3月31日を2021年9月29日と読み替えるものとします。

◆**出願資格(6)による志願者は、出願期間前に「具体的な学歴・経歴(○年○月○大学入学, ○年○月○卒業等)」をメールにて、入試課(nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp)へお知らせください。**

★**出願資格(9), (10) 又は (11) による志願者は、出願資格審査を行います。次ページの【出願資格審査について】を確認してください。**

- (1) 我が国において、大学を卒業した者及び2022年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規定(大学改革支援・学位授与機構)により学士の学位を授与された者及び2022年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了し、学士の学位に相当する学位を取得した者及び2022年3月31日までに修了及び学位取得見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2022年3月31日までに修了見込みの者
- ◆ (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2022年3月31日までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- ★ (9) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ★ (10) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって、入学する日の前日までに22歳に達する者で、次のいずれかの要件を満たす者
 - 一 日本国内において、高等専門学校若しくは短期大学の専攻科、朝鮮大学校又は外国大学日本校(文部科学大臣が別に指定する教育施設を除く。)の教育を受け、16年の課程に相当する期間を修了したと認められる者(先に掲げた教育機関の卒業者又は入学する日の前日までに卒業する見込みの者)
 - 二 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に定める日以前に修了した者
 - 三 高等専門学校若しくは短期大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し退学した者で、企業等において、合計3年以上の職務経験を有する者(環境・社会理工学院技術経営専門職学位課程志願者のみ)
- ★ (11) 大学を卒業し、学士の学位に相当する学位を取得するまでに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって次の2つの要件を満たし、かつ本学大学院が我が国の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
 - 一 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等として1年以上研究に従事した者及び2022年3月31日までに1年以上研究に従事する見込みの者
 - 二 2022年3月31日までに22歳に達する者

[2021年9月入学希望者で、9月29日から9月30日までの間に上記(1)～(6)の出願資格を満たす者への注意]

2021年9月入学希望者(希望する入学時期②選択の者)で、9月28日時点で出願資格を満たさず、9月29日～9月30日の間に上記(1)～(6)の出願資格を満たす者は、事前に「卒業見込み(授与見込み、修了見込み)の年月日」をメールにて、入試課(nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp)へお知らせください。

[重複した出願についての注意]

次のような出願はできません。重複した出願が判明した時点で、すべての出願は不受理あるいは出願を取り消します。

- a. 一つの出願についての可否結果通知がある前に、本学入試の別の出願を行うこと。
- b. 入学時期が同じである本学の修士課程の複数の募集に出願すること。

【出願資格審査について】

出願資格(9)、(10)又は(11)による志願者は、出願資格審査を行います。以下の手順で手続きを進めてください。

◆出願資格審査の流れ

- ①「具体的な学歴・経歴(〇年〇月〇大学入学, 〇年〇月〇卒業等)」をメールにて、入試課(nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp)へお知らせください。出願資格審査の要否について確認を行います。
- ②審査対象であれば、以下の◆**出願資格審査に必要な書類**を一括して2021年5月17日(月)17時までに入試課に提出してください。郵送による場合も2021年5月17日(月)必着とします。
 ≪郵送先≫〒152-8550 東京都目黒区大岡山2-12-1-W8-103 東京工業大学学務部入試課
 ※郵送の場合は封筒に「修士出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。
 ※出願資格(9)による志願者は、以下の◆**出願資格(9)の該当者への注意事項**を必ず確認してください。
- ③出願資格審査の結果通知は、5月25日(火)頃に発送します。6月1日(火)までに届かない場合は、入試課へ確認してください。
- ④出願時に出席資格審査の結果通知を提出してください。

◆出願資格審査に必要な書類：〇印のある書類を提出してください。

提出書類	出願資格			注意事項
	(9)	(10)	(11)	
①出願資格審査申請書	○	○	○	以下のURLから様式をダウンロードして作成した後、A4サイズ1枚に印刷し(両面印刷)、提出すること https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/pdf/sinsa_01sinsei.docx
②志望理由書	○	○	○	※ 注意事項は『4. 出願手続き(3)出願書類』を必ず確認すること
③成績証明書	○	○	○	※ 注意事項は『4. 出願手続き(3)出願書類』を必ず確認すること
④卒業証明書又は卒業見込証明書	/	○	○	※ 注意事項は『4. 出願手続き(3)出願書類』を必ず確認すること
⑤在学証明書	○	/	/	※ 注意事項は『4. 出願手続き(3)出願書類』を必ず確認すること
⑥所属大学(学部)長推薦書	○	/	/	・以下のURLから様式をダウンロードして作成した後、A4サイズ1枚に印刷し(両面印刷可)、提出すること。 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/pdf/sinsa_06suisen.docx ・本学の者は系主任が作成し、大学長の印は不要とする。
⑦当該大学の学修規程等	○	/	/	本学の者は提出不要
⑧出願資格(10)の三、又は(11)の一を証明する書類	/	☆	○	・大学・研究機関等の発行する証明書を提出すること。 ・☆については出願資格(10)の三の場合のみ提出すること。

◆出願資格(9)の該当者への注意事項

出願資格(9)のうち本学学士課程から飛び入学で出願する場合については下記1～3の要件を満たす必要があります。なお、他大学からの飛び入学による出願の場合はこれに準ずることとします。

1. 2022年3月31日において、大学在学期間が3年間に達すること。ただし、大学を卒業した者及び2022年3月31日までに卒業見込み(早期卒業を含む)の者は、出願資格(1)となり、出願資格審査は不要です。
2. 本学に2年間に在学した時点においてGPTが3.00以上であり、かつ、原則として90単位以上を修得していること。
3. 本学大学院入学までに、原則として系が定める専門科目群の必修科目(学士特定課題研究を除く。)及び選択必修科目の卒業に必要な要件を満たし、専門科目群の中から60単位以上及び卒業に必要な教養科目群の必修単位(文系教養科目13単位、英語科目9単位、第二外国語科目4単位及び理工系教養科目14単位)の単位を修得見込であること。

※飛び入学で出願し、本学大学院修士課程及び専門職学位課程に入学する場合、大学は「卒業」ではなく「退学」となります。各種国家試験等の受験資格では、大学卒業が要件となっているものもあります。また、海外の大学の大学院を受験する場合に受験資格が認められない可能性もありますので、注意してください。なお、学士の学位の取得を希望する者は、「大学改革支援・学位授与機構」に学位授与申請を行ってください。審査に合格した場合に「大学改革支援・学位授与機構」より学士の学位が授与されます。ただし、大学卒業とはなりません。

≪大学改革支援・学位授与機構ウェブサイト≫ <https://www.niad.ac.jp/>

4. 出 願 手 続

(1)出願期間

2021年6月10日（木）～6月16日（水）（必着）

※インターネット出願サイトによる出願情報の登録は、6月7日（月）午前9時から可能です。

~~※入試課へ持参して提出する場合は、出願期間の平日10時～12時、13時30分～15時のみ受け付けます。~~
窓口での出願受付は中止します。郵送で提出してください。

(2)出願方法

出願完了には、下記①～⑤の全ての手続きが必要です。**インターネット出願サイトで登録を済ませ、検定料の支払いを完了しても、出願書類一式が出願期間内に本学へ到着しない場合は、出願は受理されません。**

 ①出願情報の登録	- 以下のURLからインターネット出願サイトにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/application/（5月頃よりアクセス可能となります） - インターネット出願サイトの入試区分には、「修士課程・専門職学位課程」及び「修士課程【清华大学(中国)との大学院合同プログラム】」がありますので、該当する方を選択してください。 『附録1. インターネット出願サイトで登録する出願情報』を参照し、あらかじめ登録内容を検討しておいてください。 登録後の修正はできません。十分注意して入力してください。
 ②顔写真のアップロード	- インターネット出願サイトによる出願登録及び入学検定料支払い後、登録完了メールに記載されているURLから、志願者本人の顔写真データをアップロードしてください。 - 顔写真データは、志願者本人であることを判別できるもので、カラー・上半身・脱帽・正面向き・無背景・出願前3ヶ月以内に撮影した100KB～5MBのJPG又はPNG形式のデータを使用してください。いわゆるプリクラ等、画像を修正するなど加工処理をほどこしたものは認めません。
 ③検定料の支払い	- 入学検定料(30,000円)の他に、決済手数料として別途990円が必要です。 - 支払い方法の詳細は、『附録2. 検定料支払い方法のご案内』を参照してください。 - 銀行窓口や、コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払いはできません。 - クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。 インターネット出願サイトによる入学検定料の支払い後、出願情報の内容変更は、いかなる場合も認めません。 ◆検定料不要対象者について 出願時に、日本政府文部科学省国費外国人留学生または日韓共同理工系学部留学生である者は、検定料不要です。手続きが必要なため、出願期間の前に入試課までお問い合わせください。 ◆り災による検定料免除について 入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間の前に入試課までお問い合わせください。 - 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合 - 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合
 ④出願書類の印刷	- 出願書類毎に、印刷方法の指定があります。必ず、『4. 出願手続き (3)出願書類』を確認してください。 - 印刷後の志願票を、本学の許可なく修正しないでください。
 ⑤出願書類の提出	- インターネット出願サイトのマイページより、A4サイズでカラー印刷した「宛名ラベル」を、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に貼り付け、その封筒に『4. 出願手続き (3)出願書類』に示す出願書類一式を番号の若い順に揃えて入れ、厳封し、提出してください。入試課に持参する場合も封筒に入れて厳封してください。 - 送付状、クリアファイル、クリップは付けしないでください。 提出書類に不備があるものは受理できませんので、提出前には書類が揃っていること、記入漏れの無いことを必ず確認してください。 - 受付期間を十分考慮して、できるだけ6月10日（木）に到着・提出するように心がけてください。 願書受理後の出願書類の内容変更は、いかなる場合も認めません。また、返却もできません。 - インターネット出願サイトの受理表示の反映には数日かかります。反映が出願期間後になる場合もあります。

入試課へ持参して提出する場合	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 窓口での出願受付を中止します。 郵送で提出してください。
郵送で提出する場合	《郵送先》〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1-W8-103 東京工業大学学務部入試課 ・ 速達書留郵便 で送付してください。 ・切手の料金不足の場合は受理できませんので、発送元に差し戻します。 ・6月16日（水）必着とします。

(3)出願書類

志願者は下記【志願者全員が提出する書類】及び【外国籍の志願者のみ提出する書類】を一括して提出してください。
出願期間に提出できないものがある場合は、受理できません。

【志願者全員が提出する書類】 ※出願資格(9)～(11)で出願する者は③、④、⑤は提出する必要はありません。

出願書類等	注意事項	
①宛名ラベル (出願書類一式を提出する際の封筒に貼るラベル)	- インターネット出願サイトのマイページより、A4サイズでカラー印刷し、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に貼り付けること。 - 印字されている内容に誤りがないか確認すること。	
②入学志願票	- インターネット出願サイトのマイページより、A4サイズでカラー印刷し、提出すること。 - 印字されている内容に誤りがないか確認すること。 - 入学志願票は、入学検定料等の支払い及び顔写真のアップロードが完了しないと印刷できません。	
③志望理由書	- 以下のURLから様式をダウンロードして作成した後、A4サイズ1枚に印刷し(両面印刷可)、提出すること。 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/pdf/syutsugan_03sibouriyu.docx <u>テーマ等を設けている場合もあるので、『Ⅱ 系等の案内』を必ず確認すること。</u> <u>テーマを設けていない系等の志願者も必ず提出すること。</u>	
④学部 ^① の成績証明書	◆教養課程と専門課程、本科と専攻科等に分かれている場合 両方提出すること。 ◆大学に編入学した場合 編入学前の大学等の成績証明書もあわせて提出すること。 ◆複数枚に渡る場合：ホチキスで止めること。ただし、厳封されている場合はそのまま提出すること。 ※保存期間経過および廃校、被災等により、成績証明書を発行できない場合は、出願期間前に入試課にご相談ください。	④・⑤共通の注意事項 - 原本(コピー不可)を提出すること。ウェブサイトよりダウンロード・印刷したものは不可。 - 本学卒業・卒業見込みの者も必ず提出すること。 <u>最終学歴のものではなく、学部のものを提出すること。</u> - 証明書が厳封してある場合は、開封せずそのまま同封すること。 ④及び⑤は、一つの証明書にまとまっても構いません。
⑤学部 ^② の卒業証明書 又は 卒業見込み証明書	◆9月入学を希望する場合 2021年9月29日までに卒業したことを証する卒業(見込み)証明書を提出すること。 ◆外国の大学の場合 卒業証明書と、学位取得証明書又は学位取得見込み証明書も提出すること。卒業証明書と学位取得証明書は一つの証明書にまとまってもかまいません。 卒業証明書や学位取得証明書が提出できない場合は、「卒業(見込み)年月、取得(見込み)学位、氏名、生年月日」が記載された大学が発行した証明書を提出すること。 ◆出願資格(2)で出願する場合 学士の学位を授与された者は、大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書も提出すること。 学士の学位を授与される見込みの者は、在籍する高専等が発行した、学位授与申請予定である旨の申立書(書式自由)を提出すること。 ◆卒業証明書を提出できない場合 「卒業(見込み)年月(入学年月及び卒業年月でも可)、氏名、生年月日」が記載された大学が発行した証明書を提出すること。	◆原本を提出できない場合 公的機関(原本の発行機関、大使館、公証役場等)で原本証明されたものを提出すること。 ◆日本語、英語以外の証明書の提出 出身大学*が発行した日本語または英語訳を提出すること。 ※出身大学が発行できない場合は、公的機関(大使館または公証役場)が翻訳内容を証明した日本語訳または英語訳も可。 ただし、公的機関による証明であっても、本人や日本語学校等が翻訳したもの、翻訳内容ではなく申請者の宣誓が証明されたもの、翻訳文書に対する署名認証がされたものは不可。
⑥外部英語テストのスコアシート	◆提出方法 - 以下のa～cの3通りのうち、系等が指定する方法で提出すること。<u>『Ⅱ 系等の案内』を必ず確認し、指示に従うこと。</u> - 出願時に原本の提出を必須とする - 出願時に原本の提出を原則とするが、系等の指定する方法により後日の提出も認める - 出願時には提出せず、系等の指定する方法により後日提出する - 提出期日までに英語スコアを提出できなかった者は、受験票が届いても、受験資格はありません。 - 数学系は、英語の筆答試験を行うため、外部英語テストのスコアシート提出は必須ではありません。詳細は、『Ⅱ 系等の案内』の数学系のページを確認すること。 ◆提出するスコアシートの種類 - 本学が指定する外部英語テストは、TOEFL iBT、TOEFL iBT Home Edition*、TOEFL ITP Plus for China Solution、the revised TOEFL Paper-delivered Test、TOEIC L&Rです。いずれか一つを提出すること。 ※ 名称変更前の TOEFL iBT Special Home Edition も可 - TOEFL-ITP、TOEIC-IP等の団体特別受験制度によるスコアシート及びTOEIC S&Wは利用できません。 - いずれも、ETSから受験者本人に郵送される原本(コピー不可)を提出すること。ウェブサイトよりダウンロード(印刷)したスコアシートは受理しません。 - ETSから直接本学への送付は受け付けません。 ◆スコアシートの有効期限：2019年6月17日以降に受験したものに限り有効とします。 ◆本学が定める外部英語テストの換算基準：『附録3. 本学が定める外部英語テストの換算基準』を参照すること。 ◆注意事項：出願書類はいかなる場合も一切返却しません。また、<u>コピーをとってお渡しすることもしません</u>ので、英語スコアシート等のコピーが必要な場合は、あらかじめコピーをとっておいてください。	

【外国籍の志願者のみ提出する書類】 ※必ず冒頭の『志願者のみなさまへ(7)外国籍の志願者への注意』も確認すること

該当者	出願書類
外国籍の志願者は必ず提出	- 以下のURLから様式をダウンロードして、A4サイズ1枚に印刷し、在留カードの両面のコピーを貼付、提出すること。 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/pdf/syutugan_zairyu.docx - 在留カードを持っていない場合は、パスポートのコピー(顔写真、氏名、国籍等掲載のページ)を貼付すること。
文部科学省国費外国人留学生のみ	日本政府文部科学省国費外国人留学生であることを確認できる書類
外国政府奨学金受給者のみ	外国政府奨学金受給者であることを確認できる書類
日韓共同理工系学部留学生のみ	日韓共同理工系学部留学生であることを確認できる書類

いずれの場合も、
在籍する大学から発行
された証明書の原本
であること。

5. 選 抜 試 験

- ・選抜は、系等が行います。『A日程』及び『B日程』により構成されます。
- ・A日程とB日程のいずれの受験資格者になるかは系等が出願書類によって決定し、7月8日(木)正午12時頃にインターネット出願サイトのマイページに通知します。**志願者は選択できません。**

(1)英語試験(A日程及びB日程どちらも必須)

- ・『A日程』及び『B日程』のいずれにおいても英語試験は必須です。数学系以外は、英語の筆答試験は本学では実施せず、指定された外部英語テストのスコアシートを出願書類と共に提出することで、英語試験を代替します。
 - ・数学系は、英語の筆答試験を行うため、外部英語テストのスコアシート提出は必須ではありません。
- 詳細は、『Ⅱ 系等の案内』の数学系のページを確認してください。

(2)A日程:数学系、物理学系及び数理・計算科学系は実施しません

- ・口述試験及び出願書類によって合格内定者を決定します。ただし、教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けています。
- ・合格内定とならなかった者は、『B日程』を受験することができます。一方、合格内定となった者は、『B日程』を受験することはできません。

日程	7月16日(金)、17日(土)、19日(月)、20日(火)の間に実施
日時及び集合場所	インターネット出願サイトのマイページに通知します。
試験結果通知	7月30日(金)午前9時頃 インターネット出願サイトのマイページに通知します。

(3)B日程

- ・筆答試験、口頭試問及び出願書類によって合否を決定します。ただし、教育上の配慮から、教員あたりの指導学生数に制限を設けています。
- ・筆答試験は「志望する系等により指定された筆答専門試験科目」を受験します。『Ⅱ 系等の案内』を参照して下さい。なお、系によっては他の系で出題される筆答専門試験科目を受験することができますが、この場合、出題した系の試験日時・試験室で受験することになります。
- ・筆答試験及び口頭試問の内容は、『Ⅱ 系等の案内』で確認してください。
- ・筆答試験(対面)を中止した場合は、『Ⅱ 系等の案内』に記載が無い場合でも、出願書類により書類選考を行い、オンラインでの試験の受験資格者を決定する場合があります。
- ・筆答試験の過去問題は本学ウェブサイトで公開しています。

《過去問題》https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

◆筆答試験(大岡山キャンパスのみで実施)

日程	8月17日(火)
時間及び集合場所	試験場案内を8月16日(月)午前10時頃から大岡山キャンパス正門守衛所付近で配布します。また、同時に本学ウェブサイト(新着入試情報)にも掲載します。

◆口頭試問

受験資格者発表	筆答試験終了後から口頭試問実施時までの間に『Ⅱ 系等の案内』記載の方法により発表します
日程	8月17日(火)～27日(金)のうち『Ⅱ 系等の案内』で指定された日時
日時及び集合場所	インターネット出願サイトのマイページに通知します。

(4)注意事項

- ・出願資格（9）による志願者は、『B日程』のみの受験となります。
- ・試験の際には、必ず受験票を携帯してください。
- ・写真票による本人確認が困難な場合、「写真付の身分証」の提示を求める場合があります。「写真付の身分証」として、英語又は日本語で記載されている顔写真付きの身分証明書（運転免許証・学生証・社員証・パスポート等）を持参してください。
- ・その他の注意事項は、インターネット出願サイトのマイページに通知する連絡事項をよく読んでください。

6.合格者発表

日時	9月7日（火）15時頃
方法	・本学ウェブサイト（新着入試情報）にて受験番号を発表します。 ・インターネット出願サイトのマイページに通知します。合格者は、合格した学院・系等及び指導教員名、入学年月が明示されます。9月7日（火）0時～14時59分は、マイページによる合否照会はできませんのでご注意ください。

- ・合格通知書は、インターネット出願サイトによる出願情報の登録時に希望した者のみ、合格発表の翌日以降に発送します。
- ・電話等による合否の照会は一切応じません。

7.合格後の手続きについて

	2021 年9月入学合格者	2022 年 4 月入学合格者 (履修可能コースが <u>1つ</u> の場合)	2022 年4月入学合格者 (履修可能コースが <u>複数</u> の場合)
合格発表	インターネット出願サイトのマイページに以下を通知します。 ・合格した学院・系等 ・指導教員名 ・入学年月 ・履修コース	インターネット出願サイトのマイページに以下を通知します。 ・合格した学院・系等 ・指導教員名 ・入学年月 ・履修コース ・入学意向回答の案内	インターネット出願サイトのマイページに以下を通知します。 ・合格した学院・系等 ・指導教員名 ・入学年月 ・履修可能コース ・希望履修コース回答の案内 ・入学意向回答の案内
履修コースの決定	上記サイトで通知されたコースが決定コースです。 (履修コースのウェブ回答は不要です。)	上記サイトで通知されたコースが決定コースです。 (履修コースのウェブ回答は不要です。)	【ウェブ回答が必要です】 ・必ず指導教員と相談の上、希望履修コースを <u>9月22日(水)(予定)までにウェブ回答してください。</u> ・10月末頃、インターネット出願サイトのマイページに決定履修コースを通知します。
入学意向の回答		【ウェブ回答が必要です】 <u>11月5日(金)(予定)までにウェブ回答してください。</u>	【ウェブ回答が必要です】 10 月末頃の決定履修コース通知を受けて、 <u>11 月 5 日 (金) (予定) までにウェブ回答してください。</u>
入学手続き書類発送	2021 年 9 月中旬頃に、教務課から入学手続き書類を送付します。	入学意向をもとに、2022 年 1 月下旬頃、入学手続き書類を発送します。	
入学手続き日(予定)	2021 年 9 月 27 日(月)まで ・入学手続きは大岡山キャンパスで行います。 ・所定の期日に手続きを行わなかった場合は、入学を許可できませんので十分注意してください。都合により本人が来学できない場合は、代理人でも差し支えありません。 ※入学手続き日は変更の可能性があります。送付された入学手続書類で確認してください。	2022 年 3 月 18 日(金)まで	

入学科	282,000円
授業料 半年分	317,700円 ※在学中に改訂が行われた場合、在学生に適用される授業料額については、その都度公示します。

※外国籍の志願者で、在留資格認定証明書の申請が必要な場合は、メールにて、入試課(visa.support@jim.titech.ac.jp)へ申し出てください。

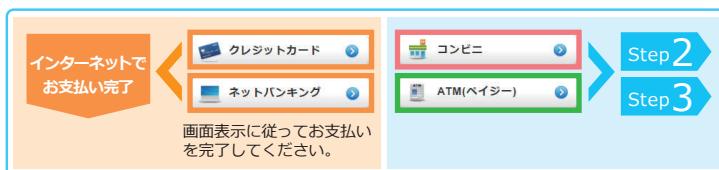
附録1. インターネット出願サイトで登録する出願情報

インターネット出願時に以下の項目を入力いただきますので、あらかじめご確認ください。
 (★)がついている項目は、志願票に印字されません。必要な場合は、インターネット出願サイトによる出願情報の登録時にメモをとっておいてください。

志望系	
筆答専門試験科目	
氏名	カナ、漢字、英字(パスポートと同一のアルファベット表記)全てを登録。
生年月日	
性別	
国籍	
留学生区分	留学生の場合のみ、[永住者][日本政府国費奨学金受給者]、[外国政府奨学金受給者]、[日韓共同理工系学部留学生]、[東京工業大学の私費研究生・交流学生][外国人留学生(その他)]から選択。
在留資格種類(★)	[在留カードに記載されている在留資格が留学]、[在留カードに記載されている在留資格が永住]、[特別永住者証明書を所持]、[上記以外を保持している]、[在留資格を持っていない] から選択。
留学費用の出所(★)	外国籍の志願者のみ登録。[国・役所・公的研究所等の公的奨学金]、[財団・会社等の私的奨学金]、[親族等その他]から選択。 [国・役所・公的研究所等の公的奨学金]、[財団・会社等の私的奨学金]の場合は、その名称も登録。
現住所	書類等を発送する為、日本国内に限ります。
電話番号	自宅電話番号、携帯電話番号どちらか必ず登録。どちらもお持ちの場合は両方登録。 確実に連絡のとれる番号を登録すること。(データ通信専用番号は不可)
メールアドレス	
出願資格となる出身大学の情報	大学名、出身学部・学科名、指導教員名、卒業(見込み)年月、出身大学区分([本学]、[国立]、[公立]、[私立]、[外国の大学(出願資格3, 4, 5, 6, 11)]、[その他(出願資格2, 7, 8, 9, 10)]から選択)、出願資格区分(『3. 出願資格』を参照すること)を登録。
学歴/職歴	出身大学情報以前の学歴/職歴を登録。
志望指導教員	第10志望までの欄がありますが、系等により志望指導教員記入方法が異なります。 『Ⅱ 系等の案内』を熟読して登録すること。
英語試験の情報	- TOEFL-iBT - TOEFL iBT Home Edition (TOEFL iBT Special Home Editionを含む) - TOEFL ITP Plus for China Solution - the revised TOEFL Paper-delivered Test - TOEIC L&R - 出願時に提出せず系の指定する日に提出 ※ - 英語試験を受験 ※ から選択。 ※印は『Ⅱ 系等の案内』の【外部英語テストのスコアシートの取扱い】にて指定がある場合のみ選択可。 『4. 出願手続き (3)出願書類』を参照すること。 出願時に外部英語テストスコアシートを提出する場合、受験日とスコアも登録。
希望入学時期	『2. 入学時期』を参照
学びたいことの要約(★)	日本語100字または英語50語以下で登録。
系・課程の指定する入力項目(★)	『Ⅱ 系等の案内』を熟読して登録すること。
合格通知書(★)	[紙版の送付を希望する]、[希望しない]から選択。
選抜希望	清華大学との大学院合同プログラム出願者のみ登録。[清華大学との大学院合同プログラムによる選抜のみ希望]、[一般修士課程選抜との併願を希望]から選択。

検定料支払い方法のご案内

Step 1 検定料の支払い方法を選択します。



登録完了画面、または申込確認画面より決済代行業者の専用サイトへ移動し、支払い方法を選択します。

- クレジットカード
VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club
- ネットバンキング
主要メガバンクをはじめ、全国1,000行以上対応。
ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

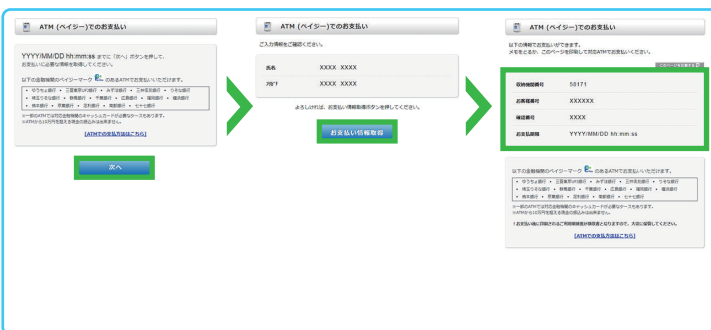
Step 2 お支払い情報を確認します。

- コンビニ
コンビニ名を選択した後、お支払い情報取得ボタンを押してください。



コンビニ・銀行ATMでのお支払いに必要なお支払い情報を取得します。
お支払い情報は、お支払いをする際に必要な情報ですので、必ずメモを取るか印刷してください。

- ATM (ペイジー)
画面表示に従い、お支払い情報取得ボタンを押してください。



Step 3 選択した支払い方法で検定料を支払います。

Step2で取得したお支払い情報を持参し、コンビニ（レジ、設置端末）・銀行ATMにて検定料を支払います。**領収書は必ず受け取ってください。**



手数料について

※検定料のほかに、手数料が必要です。登録時にご確認ください。
※複数回登録する場合、手数料がそれぞれ必要となります。

附録3. 本学が定める外部英語テストの換算基準

◆TOEIC L&RとTOEFL-PBTの換算式

$$((\text{TOEFL-PBT}) - 296) \div 0.348 = \text{TOEIC L\&R}$$

※ただしTOEFL-PBTの点数が400点以下，TOEIC L&Rの点数が300点以下の場合は，上記の換算式は適用されません。

◆TOEFL-iBT とTOEFL-PBTの得点換算表

iBT	PBT
120	677
120	673
119	670
118	667
117	660-663
116	657
114-115	650-653
113	647
111-112	640-643
110	637
109	630-633
106-108	623-627
105	617-620
103-104	613
101-102	607-610
100	600-603
98-99	597
96-97	590-593
94-95	587

iBT	PBT
92-93	580-583
90-91	577
88-89	570-573
86-87	567
84-85	563
83	557-560
81-82	553
79-80	550
77-78	547
76	540-543
74-75	537
72-73	533
71	527-530
69-70	523
68	520
66-67	517
65	513
64	507-510
62-63	503

iBT	PBT
61	500
59-60	497
58	493
57	487-490
56	483
54-55	480
53	477
52	470-473
51	467
49-50	463
48	460
47	457
45-46	450-453
44	447
43	443
41-42	437-440
40	433
39	430
38	423-427

iBT	PBT
36-37	420
35	417
34	410-413
33	407
32	400-403
30-31	397
29	390-393
28	387
26-27	380-383
25	377
24	370-373
23	363-367
22	357-360
21	353
19-20	347-350
18	340-343
17	333-337

Ⅱ 系等の案内

全系共通事項

【取得できる学位】:各系に記載のほか、学際領域等の分野を専攻した
者で、当該学院が適当と認めるときは、学位に付記
する専門分野の名称を「学術」とすることができる。
ただし、技術経営専門職学位課程を除く。

理 学 院

理学院 数学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<http://www.math.titech.ac.jp>

【履修コース】

数学コース

【取得できる学位】

修士(理学又は学術)

【受入可能予定人数】

24名

【志望理由書のテーマ等】

下記のアンケートに答えること。なお、設問も含めて用紙に記入してください。

用紙を <http://www.math.titech.ac.jp/~jimu/Graduate/enquet.pdf> からダウンロードして提出することも可能です。

1. 卒業(見込み)年度:
2. 学部4年次のセミナーの指導教員名:
3. セミナーのテキスト名:
4. セミナーの参加学生数:
5. あなたが発表する頻度と時間:()週に一回,()時間
6. あなたが発表しているとき、質問されて答えられなかったらどのようにしますか?
7. 1回の発表のために勉強する時間はトータルで何時間ですか?
8. これまで読んだ数学書の中で興味を持ったものの題名とその理由を書いてください。
9. これまでの数学の勉強で心に残った理論やその定理とその理由を書いてください。
10. 修士課程修了後の進路希望を書いてください。

【出願にあたっての注意】

インターネット出願サイトの「志望指導教員情報」の欄には、教員名を第3志望まで入力することが望ましい。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄には、下記の志望分野を入力してください。(第1志望は必須。第2・第3志望は任意)。

- ・代数系分野
- ・幾何系分野
- ・解析系分野

[入力例] 第1希望:代数系分野, 第2志望:幾何系分野

ただし、下記のように、より具体的な分野名を入力しても構いません。

[入力例] 第1希望:代数系分野(代数幾何学または数論幾何学), 第2志望:幾何系分野(複素幾何学)

【英語試験】

外部英語テストのスコアシート提出は不要です。

英語筆答試験は全員受験して下さい。外部英語テストのスコアシートの提出による英語筆答試験の免除は行いません。

本英語筆答試験においては英語辞書は持ち込み可(電子辞書は不可)です。

この試験では、数学の文献を読むために必要な基礎的な英文読解力を問い、合格か不合格で判定します。

英語筆答試験に合格することは、本選抜試験合格のための必要条件です。

英語試験に合格した場合、本選抜試験の可否は筆答専門試験(数学)および口頭試問によって判定します。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目:数学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	実施しません。		
B日程	筆答試験	8月17日(火) 午前 9:00~11:30 午後 13:00~15:00 英語 15:40~16:40	第12クォーターまでの数学系の講義と同程度の内容を基本とします(シラバス http://www.math.titech.ac.jp/~jimu/Syllabus/syllabus.html 参照)。 配点: 筆答専門試験:350点	
	口頭試問(オンライン)	8月19日(木)	数学の基礎学力、専門的な知識やセミナーを適切な形で行うためのコミュニケーション能力などを判断します。	口頭試問受験資格者のみ

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者は、8月18日(水) 20時頃までに、数学系ホームページ (<http://www.math.titech.ac.jp>)にて発表します。口頭試問のスケジュールや使用する Zoom URL 等は同日中に資格者宛に email でお知らせします。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

数学系入試担当 E-mail: inshi@math.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

	教員氏名	研究分野	担当コース
教授	カトウ フミハル 加藤 文元	【代数系分野】 代数幾何学, 数論幾何学	数学系数学コース
教授	タグチ ユウイチロウ 田口 雄一郎	【代数系分野】 数論	数学系数学コース
教授	ナイトウ サトシ 内藤 聡	【代数系分野】 表現論	数学系数学コース
准教授	ケリー シェーン アンドリュー KELLY SHANE ANDREW	【代数系分野】 代数幾何学, 数論幾何学	数学系数学コース
准教授	スズキ マサトシ 鈴木 正俊	【代数系分野】 解析的整数論	数学系数学コース
准教授	マー ショウヘイ 馬 昭平	【代数系分野】 代数幾何学, モジュライ理論	数学系数学コース
准教授	ヤタガワ ユリ 谷田川 友里	【代数系分野】 数論幾何学	数学系数学コース
教授	エンドウ ヒサアキ 遠藤 久顕	【幾何系分野】 位相幾何学	数学系数学コース
教授	ゴミ キヨノリ 五味 清紀	【幾何系分野】 代数的位相幾何学, 数理論理	数学系数学コース
教授	ホンダ ノブヒロ 本多 宣博	【幾何系分野】 複素幾何, 微分幾何	数学系数学コース
教授	ヤマダ コウタロウ 山田 光太郎	【幾何系分野】 微分幾何学	数学系数学コース
准教授	カールマン タマシュ KALMAN TAMAS	【幾何系分野】 位相幾何学	数学系数学コース
准教授	ノサカ タケフミ 野坂 武史	【幾何系分野】 位相幾何学	数学系数学コース
准教授	ハットリ トシアキ 服部 俊昭	【幾何系分野】 微分幾何学, Lie群	数学系数学コース
教授	カゲイ ヨシユキ 隠居 良行	【解析系分野】 偏微分方程式	数学系数学コース
教授	トネガワ ヨシヒロ 利根川 吉廣	【解析系分野】 偏微分方程式, 幾何学的測度論	数学系数学コース
教授	ニノミヤ ショウイチ 二宮 祥一	【解析系分野】 数論ファイナンス, 確率論	数学系数学コース
准教授	オノデラ ミチアキ 小野寺 有紹	【解析系分野】 偏微分方程式, 自由境界問題	数学系数学コース
准教授	フジカワ エーゲ 藤川 英華	【解析系分野】 複素解析	数学系数学コース
教授	ウメハラ マサアキ 梅原 雅顕	微分幾何学	数学系数学コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ニシバタ シンヤ 西畑 伸也	偏微分方程式論, 非線形双曲型保存則, 流体の方程式	数学系数学コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	スズキ サキエ 鈴木 咲衣	結び目理論, 量子トポロジー	数学系数学コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	ミウラ ヒデユキ 三浦 英之	偏微分方程式論	数学系数学コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース
講師	ツチオカ シュンスケ 土岡 俊介	量子代数, 表現論	数学系数学コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース

理学院 物理学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/phys/>

【履修コース】

物理学コース

【取得できる学位】

修士(理学又は学術)

【受入可能予定人数】

62名

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を、1,000字程度にまとめた作文(自分の特技等アピールできるものがあればそれも含む)。

【出願にあたっての注意】

志望指導教員は最大で第10志望まで入力できます。できるだけ多く入力することを推奨します。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは出願時に提出しないでください。提出は以下の通りとします。

- ①提出方法について スコアシートは必ず原本を提出してください。コピーの提出は認めません。
- ②提出時期について スコアシートは出願時に提出せず、筆答試験当日に持参してください。筆答試験時に提出がない場合は不合格となります。
- ③その他 一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目:物理学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	実施しません		
B日程	筆答試験	8月17日(火) 9:30～11:30 13:30～15:30	出題の範囲・分野・科目・選択問題 共通問題:力学,電磁気学,物理数学,量子力学,統計力学, 物理学実験に関する基礎的な知識 および理解を問う問題 選択問題:なし 配点:筆答専門試験:300点,英語:60点	
	口頭試問	8月23日(月)	物理学の知識および理解を問う	

※注 新型コロナウイルス感染症拡大等により筆答試験を中止とした場合には、(代替)口述試験(オンライン面接による)、出願書類、および口頭試問(オンライン面接による)で選抜を行います。物理学系ホームページ <http://info.phys.sci.titech.ac.jp> で必ず最新の情報を確認してください。

この場合のスケジュールは以下のとおりです。

- ・8/17(火)(代替)口述試験(オンライン面接による)
- ・8/23(月), 24(火), 25(水)B日程口頭試問(オンライン面接による)

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者発表は、8月21日(土)16時頃大岡山キャンパス本館1階物理学科掲示板で掲示により発表します。また、同日ホームページ <http://info.phys.sci.titech.ac.jp> にも掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H-53
 東京工業大学 物理学コース主任
 Mail phys-grchair@phys.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

	教員氏名	研究分野	担当コース及び備考
教授	イトウ カツシ 伊藤 克司	素粒子論(超弦理論, 超対称ゲージ理論, 共形場理論)	物理学系物理学コース
教授	オオクマ サトシ 大熊 哲	物性実験(低温物理, 超伝導と電子局在, 磁束状態, 非平衡現象, 低次元電子系, メゾスコピック系における量子物理現象の研究)	物理学系物理学コース
教授	クゼ マサヒロ 久世 正弘	高エネルギー物理学(加速器および非加速器素粒子実験; 新粒子探索, レプトンとクォークの物理, ニュートリノ振動)	物理学系物理学コース
教授	コウゾマ ミキオ 上妻 幹旺	物性実験(レーザー冷却, 中性原子気体のボース凝縮・フェルミ縮退, 光格子中の冷却原子を使った量子シミュレーション)	物理学系物理学コース
教授	サトウ タクヤ 佐藤 琢哉	物性実験(磁性体・誘電体の超高速分光, ラマン散乱分光, 磁気光学分光, テラヘルツ波分光, マグノン・フォノン・電磁波伝播の数値計算)	物理学系物理学コース
教授	ササモト トモヒロ 笹本 智弘	物性理論(統計物理学および数値物理学, 特に非平衡統計力学, 低次元輸送現象, ランダム系, 厳密解等の解析的手法の開発)	物理学系物理学コース
教授	ジドウ ダイスケ 慈道 大介	原子核ハドロン物理学の理論的研究(ハドロン構造・動力学, エキゾチックハドロン, 質量生成機構, 量子色力学)	物理学系物理学コース
教授	ジンノウチ オサム 陣内 修	高エネルギー素粒子物理実験(CERN LHC-ATLAS実験を用いたヒッグス粒子と超対称性粒子の研究)	物理学系物理学コース
教授	ナカムラ タカシ 中村 隆司	原子核物理実験(不安定核ビームを用いた中性子過剰なエキゾチック核構造の研究, および天体核反応の研究)	物理学系物理学コース
教授	フジサワ トシマサ 藤澤 利正	物性実験(半導体ナノサイエンス, 電子・スピンのダイナミクス, メゾスコピック系の量子相関現象・量子情報素子)	物理学系物理学コース
教授	ムラカミ シュウイチ 村上 修一	物性理論(スピントロニクス, スピン輸送, トポロジカル相, 幾何学的位相, 量子物性)	物理学系物理学コース
教授	ヤマグチ マサヒデ 山口 昌英	宇宙論, 素粒子論, 重力理論	物理学系物理学コース
教授	ノウトミ マサヤ 納富 雅也	物性実験(フォトニックナノ構造(フォトニック結晶, プラズモニクス, メタマテリアル)における光物質相互作用制御の研究)	物理学系物理学コース
准教授	アイカワ キョウタカ 相川 清隆	物性実験(原子・分子物理学, 量子光学, レーザー冷却)	物理学系物理学コース
准教授	イシヅカ ヒロアキ 石塚 大晃	物性理論(量子輸送理論, 量子位相, 磁性)	物理学系物理学コース
准教授	イマムラ ヨウスケ 今村 洋介	素粒子論(弦理論と超対称ゲージ理論およびそれらの間の双対性)	物理学系物理学コース
准教授	ウチダ マサキ 打田 正輝	物性実験(トポロジカル・強相関物質, 分子線エピタキシー, 量子輸送現象)	物理学系物理学コース
准教授	コガ アキヒサ 古賀 昌久	物性理論(強相関系/光格子冷却原子系, 強相関電子系, 低次元量子スピン系)	物理学系物理学コース
准教授	スヤマ テルアキ 須山 輝明	宇宙論・重力波	物理学系物理学コース
准教授	セキザワ カズユキ 関澤 一之	原子核理論(フェルミ粒子多体系における量子多体ダイナミクス, 低エネルギー重イオン反応, 核分裂, 中性子星, 超流動現象)	物理学系物理学コース
准教授	ソウミヤ ケンタロウ 宗宮 健太郎	重力波望遠鏡KAGRAの設計と次世代型光干渉計の要素技術開発	物理学系物理学コース
准教授	ニシダ ユウスケ 西田 祐介	理論物理(主に冷却原子における量子多体系や少数系の物理, 場の理論的手法の応用)	物理学系物理学コース
准教授	ヒラハラ トオル 平原 徹	物性実験(表面物理, ナノサイエンス, スピン物性, ディラック電子の物理, 新奇な極薄物質の開拓)	物理学系物理学コース
准教授	フジオカ ヒロユキ 藤岡 宏之	原子核実験・ハドロン実験(J-PARC等の加速器を用いたストレンジクォークや反クォークを含む原子核の研究など)	物理学系物理学コース
准教授	マツシタ ミチオ 松下 道雄	物性実験(単一分子分光によるタンパク質の構造・機能相関の研究, 発光を用いた単一スピンの観測と制御)	物理学系物理学コース
准教授	ヤツ ヨウイチ 谷津 陽一	マルチメッセンジャー時間領域天文学(超小型観測衛星などをもちいた紫外線・X線などの突発天体探査, 装置・衛星開発)	物理学系物理学コース
講師	カワムラ トオル 河村 徹	高エネルギー密度プラズマ, 非平衡プラズマ原子過程, プラズマシミュレーション	物理学系物理学コース
特定教授	ドウタニ タダヤス 堂谷 忠靖	X線天文学(X線衛星を用いた, 中性子星や白色矮星, ブラックホールの観測的研究, 衛星搭載用X線観測装置の開発)	物理学系物理学コース 宇宙航空研究開発機構
特任教授	ヒゲモト ワタル 髭本 亘	物性実験(ミュオンスピン緩和法による強相関系, 異方的超伝導体, 磁性体の微視的評価)	物理学系物理学コース 日本原子力研究開発機構
特定教授	マツハラ ヒデオ 松原 英雄	赤外線天文学(星間物質, 観測的宇宙論, 銀河進化, 衛星搭載用赤外線天体観測装置開発)	物理学系物理学コース 宇宙航空研究開発機構

理学院 化学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/chem/>

【履修コース】

化学コース, エネルギーコース

【取得できる学位】

修士(理学又は学術)

【受入可能予定人数】

64名

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野など志望理由を1,000字程度にまとめたもの

【出願にあたっての注意】

志願者は、出願前に第一志望先の指導教員と必ず予め相談してから出願してください。
第10志望まで入力できますが、「第5志望」までは必ず入力してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。
一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門科目】

筆答専門試験科目名:化学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験	7月17日(土)	対象者:成績証明書, 志望理由書などを総合的に評価し選抜する 口述試験内容手順:化学の知識および学士論文研究などを問う	
B 日程	筆答試験	8月17日(火) 13:30~16:00	出題の範囲・分野・科目・選択問題: 共通問題:物理化学, 無機・分析化学, 有機化学に関する基礎的な 知識および理解を問う問題 選択問題:物理化学2題, 無機・分析化学2題, 有機化学2題, 物理1題, 生化学1題の計8題から2題を選択する。 それぞれ該当する分野の知識および理解を問う問題 配点: 筆答試験:共通問題 200 点 選択科目 400 点 英語(外部英語テスト):200 点	
	口頭試問	8月24日(火)	化学の知識および学士論文研究などを問う	

【口頭試問受験資格者の発表】

8月20日(金)17時頃より, 化学系ホームページ(<http://www.chemistry.titech.ac.jp/2021go/>)に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

〒152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1 H-58
東京工業大学 化学系事務室
MAIL jim@chem.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	イシタニ オサム 石谷 治	光反応化学, 錯体化学(光触媒, 人工光合成, 光機能分子)	化学系エネルギーコース 化学系化学コース
教授	カワグチ ヒロユキ 川口 博之	無機合成化学(錯体化学, 有機金属化学, 金属クラスター)	化学系化学コース
教授	カワノ マサキ 河野 正規	錯体化学, 超分子化学, 化学結晶学	化学系化学コース
教授	ヤシマ マサトモ 八島 正知	エネルギー変換/貯蔵材料(燃料電池, 光触媒), 電子材料, 環境触媒, 生体材料等の中性子/X線結晶構造解析, 新物質探索と構造物性	化学系エネルギーコース 化学系化学コース
准教授	ウエクサ ヒデヒロ 植草 秀裕	有機結晶化学(結晶構造に基づく医薬品原薬結晶や機能性有機結晶の設計と機能や反応の解析)	化学系化学コース
准教授	フクハラ ガク 福原 学	分析化学, 超分子化学, 光化学, 高分子化学	化学系化学コース
准教授	マエダ カズヒコ 前田 和彦	光エネルギー変換化学(半導体光触媒, 人工光合成, ナノ材料, 無機固体化学, 光電気化学)	化学系エネルギーコース 化学系化学コース
教授	イシウチ シュンイチ 石内 俊一	物理化学(分子分光学, 冷却イオン分光, 生体分子・超分子系の分子科学, 分子認識)	化学系化学コース
教授	オオシマ ヤスヒロ 大島 康裕	物理化学(フェムト秒化学, 強レーザー場化学, 分子分光学, 分子運動のコヒーレント制御)	化学系化学コース 化学系エネルギーコース
教授	コシハラ シンヤ 腰原 伸也	光物性化学(有機無機半導体光物性, 相転移ダイナミクス)	化学系エネルギーコース 化学系化学コース
准教授	オキモト ヨウイチ 沖本 洋一	光物性化学(強相関物質の光学的性質)	化学系エネルギーコース 化学系化学コース
准教授	キタジマ マサシ 北島 昌史	物理化学(真空紫外, 軟X線, および低エネルギー電子による原子・分子科学, 気相反応素過程)	化学系化学コース
准教授	ニシノ トモアキ 西野 智昭	物理化学(単分子化学, ナノバイオ, 分子認識)	化学系化学コース
准教授	ヤマザキ マサカズ 山崎 優一	物理化学(電子分光, 原子分子物理学, 反応動力学)	化学系化学コース
教授	ゴトウ ケイ 後藤 敬	有機化学(機能性ナノサイズ分子の開発, 有機元素化学, 超分子化学)	化学系化学コース
教授	トヨタ シンジ 豊田 真司	構造有機化学, 物理有機化学, 有機立体化学(パイ共役系化合物の合成と構造・機能制御)	化学系化学コース
准教授	オオモリ ケン 大森 建	有機合成化学(天然物の全合成, 新規合成手法の開発)	化学系化学コース
准教授	オノ コウスケ 小野 公輔	有機化学(孤立空間の化学, 超分子化学)	化学系化学コース
准教授	クドウ フミタカ 工藤 史貴	天然物有機化学, 生物有機化学, 生合成化学, 酵素化学, 放射菌などの微生物化学	化学系化学コース
准教授	タカヤ ジュン 鷹谷 紬	有機金属化学, 有機合成化学, 錯体化学	化学系化学コース
教授	ノガミ ケンジ 野上 健治	地球化学(火山化学, 火山噴火予知)	化学系化学コース
講師	テラダ アキヒコ 寺田 暁彦	火山熱学(火山浅部熱水系, 噴煙, 火口湖, リモートセンシング)	化学系化学コース

理学院 地球惑星科学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/eps/>

【履修コース】

地球惑星科学コース, 地球生命コース

新設の「地球生命コース」については, http://education.elsi.titech.ac.jp/admission2022_jp.pdf を参照してください。

【取得できる学位】

修士(理学又は学術)

【受入可能予定人数】

19名

【志望理由書のテーマ等】

- ・大学院入学後に履修を希望するコース名を志望理由書の冒頭に記載すること。
- ・コース・研究室・研究分野など志望理由を1,000字程度にまとめること。

【出願にあたっての注意】

- ・指導教員は第5志望まで入力できます。
- ・可否および指導教員の決定にあたっては, 出願書類および試験により総合的に判断します。
- ・教育上の配慮から, 教員あたりの合格者数が制限される場合があります。

【系・課程が指定する入力項目】

外部英語テストのスコアシートを試験時に提出する場合には, 「スコアシートは試験時に提出する」と入力してください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは必ず原本を提出してください。コピーの提出は認めません。
- ・スコアシートは出願時, あるいは口述試験または筆答試験時に提出してください。
- ・スコアシートの提出がない場合は不合格になります。
- ・一度提出したスコアシートの差し替えは認めません。また, スコアシートは返却しません。

【筆答専門科目】

筆答専門試験科目名: 地球惑星科学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	7月19日(月) または20日(火)	専門的知識, 学士論文研究等の内容および修士課程での研究計画を中心とした試問(英語で行います)	
B日程	筆答試験	8月17日(火) 9:30~12:00 13:30~16:00	1. 選択問題・分野・出題範囲など: 数学(微分積分学, 線形代数学, 物理数学等), 物理学(力学, 解析力学, 電磁気学, 量子力学, 熱統計力学, 流体力学等), 化学(物理化学, 無機化学, 分析化学等), 地球科学(地質学, 岩石・鉱物学, 固体地球物理学, 宇宙地球化学等)から出題。 複数選択回答 2. 配点: 筆答試験: 400 点 英語(外部英語テスト): 100 点	
	口頭試問	8月19日(木)	研究能力および学力(英語を含む)を問う内容	

※ 新型コロナウイルス感染症拡大等により, 対面での試験実施が困難になった場合には, オンラインによる試験を実施予定です。その場合, 以下のスケジュールを予定しています。最新の情報は本系のホームページを確認してください。

- ・A日程(口述試験): 7月19日(月)または20日(火)に実施
- ・B日程: 8月17日(火)~20日(金)の間に実施

【口頭試問受験資格者の発表】

筆答試験受験者は全員口頭試問を受験してください。8月19日(木) 8時45分到大岡山キャンパス石川台2号館318室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

東京工業大学地球惑星科学系事務室 (Mail: admission@eps.sci.titech.ac.jp)

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	ウエノ ユウイチロウ 上野 雄一郎	生物地球化学, 地球史	地球惑星科学系地球惑星科学コース
教授	サトウ ブンエイ 佐藤 文衛	観測天文学, 系外惑星学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
教授	ナカジマ ジュンイチ 中島 淳一	地震学, 地球内部物理学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
教授	ナカモト タイシ 中本 泰史	惑星系形成論, 理論天文学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
教授	ヨコヤマ テツヤ 横山 哲也	地球化学, 宇宙化学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
准教授	インカワ アキラ 石川 晃	固体地球科学, 地球進化学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
准教授	オオタ ケンジ 太田 健二	地球深部科学, 高圧鉱物物理学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
准教授	オクズミ サトシ 奥住 聡	惑星形成論, 理論天文学, 宇宙物理学	地球惑星科学系地球惑星科学コース
教授	オガワ ヤスオ 小川 康雄	地球内部電磁誘導, 火山物理学, 地震学	地球惑星科学系地球惑星科学コース 火山流体研究センター
准教授	カンダ ワタル 神田 径	火山物理学, 地球内部電磁気学	地球惑星科学系地球惑星科学コース 火山流体研究センター
教授	イダ シゲル 井田 茂	惑星形成論, 生命惑星学	地球惑星科学系地球生命コース 地球惑星科学系地球惑星科学コース 地球生命研究所
教授	セキネ ヤスヒト 関根 康人	地球や惑星の形成・進化	地球惑星科学系地球生命コース 地球惑星科学系地球惑星科学コース 地球生命研究所
教授	ハーホルンド ジョン HERNLUND, JOHN	地球物理モデリング	地球惑星科学系地球生命コース 地球惑星科学系地球惑星科学コース 地球生命研究所
准教授	ゲンダ ヒデノリ 玄田 英典	比較惑星学, 水惑星学	地球惑星科学系地球生命コース 地球惑星科学系地球惑星科学コース 地球生命研究所

工 学 院

工学院 機械系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/mech/> (大学ウェブサイトです。機械系の各教員やコースの情報にアクセスできます)

<http://www.mech.e.titech.ac.jp> (機械系ウェブサイトです。入試の詳細情報にアクセスできます)

【履修コース】

機械コース、エネルギーコース、エンジニアリングデザインコース、ライフエンジニアリングコース、原子核工学コース

【取得できる学位】

修士(工学、理学又は学術)

【受入可能予定人数】

185名

【志望理由書のテーマ等】

志望する指導教員・研究分野に対する志望理由および修士課程で希望する研究テーマを記述してください。その際、これまでに学修したこと(卒業研究またはそれに相当するもの)の内容・計画などを踏まえて、上記テーマの重要性、社会的意義、解決すべき問題点、どのような方法で問題を解決しようと考えているのか、などを記載してください。

【出願にあたっての注意】

- ・インターネット出願サイトの志望指導教員は第10志望まで入力できます。第1志望の記入は必須ですが、必ずしも全ての枠を埋める必要はありません。
- ・インターネット出願サイトに入力した志望指導教員の氏名と志望順位を必ずメモして保存しておいてください。
- ・志望する指導教員や研究分野について、更に詳細な補足調査を行います。機械系ウェブサイト(<http://www.mech.e.titech.ac.jp/jp/admission/index.html>)に最新情報を掲示するので、必ず確認してください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

出願時に必ずスコアシートの原本を提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

また提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。なおスコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目名：機械系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	7月17日(土)	学力ならびに適性に関する試問 (オンラインで実施することがあります)	試験は日本語でのみ実施
	書類選考	—	出願書類により筆答試験受験資格者を選抜することがあります。	8月10日(火)までに筆答試験受験資格者を機械系ウェブサイトにて発表します。 http://www.mech.e.titech.ac.jp/jp/admission/index.html
	筆答試験	8月17日(火) 9:30~12:30	選択専門科目(3時間) 以下の5科目より4科目を選択します。 1)材料力学 2)機械力学 3)熱力学 4)流体力学 5)工業数学 配点: 選択専門科目 400点(各科目 100点) 英語(外部英語テスト) 100点 B日程筆答試験を中止した場合には、出願書類により口頭試問受験資格者を選抜することがあります。	下記の機械系ウェブサイトに情報を掲載しています。 http://www.mech.e.titech.ac.jp/jp/admission/index.html 試験は日本語でのみ実施
	口頭試問	8月24日(火)	研究能力ならびに適性に関する試問 (オンラインで実施することがあります)	試験は日本語でのみ実施

A日程口述試験およびB日程口頭試問の実施方法、注意事項等は、機械系ウェブサイト

(<http://www.mech.e.titech.ac.jp/jp/admission/index.html>)に掲示しますので、注意してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

8月21日(土)正午までに 機械系ウェブサイト(<http://www.mech.e.titech.ac.jp/jp/admission/index.html>)にて発表します。

【過去の筆答試験問題の公表】

大学ウェブサイトで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

筆答試験問題に関する FAQ などは機械系ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.mech.e.titech.ac.jp/jp/admission/index.html>

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

機械系大学院入試担当 E-mail: Daigakuin-Nyuushi(at)mech.e.titech.ac.jp ※(at)の部分を@に変換ください。

【指導教員及びその研究分野一覧】

本入試において学生受け入れ可能な教員だけを表示しています。機械系ウェブサイトに掲載している教員リストと異なる場合があります。○印は主担当コースを示しています。

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	アオキ タカユキ 青木 尊之	【熱流体分野】混相流の大規模数値シミュレーション、流体構造連成解析、高性能計算、GPUコンピューティング	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
教授	イノウエ タカヨシ 井上 剛良	【熱流体分野】熱工学、宇宙熱流体工学、極低温や高温などの極限条件における伝熱工学	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
教授	オカムラ テツジ 岡村 哲至	【熱流体分野】磁気冷凍、極低温、冷却、冷凍、超電導	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
教授	オクノ ヨシヒロ 奥野 喜裕	【熱流体分野】エネルギー変換工学、プラズマ工学、環境適合高効率発電技術、電磁流体力学(MHD)発電	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
教授	ショウ ホウ 肖 鋒	【熱流体分野】数値流体力学、数値解析、データ・決定論・確率論融合モデリング	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
教授	スエカネ テツヤ 末包 哲也	【熱流体分野】二酸化炭素地下貯留技術、原油増進回収、多孔質内混相流、エネルギー変換、大規模数値シミュレーション	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
教授	タナハシ マモル 店橋 護	【熱流体分野】乱流及び乱流燃焼の高精度数値シミュレーションと多次元多変量レーザー計測、低環境負荷燃焼技術、乱流燃焼機構の解明とモデル開発、燃焼に関連する環境・エネルギー工学	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
教授	ノザキ トモヒロ 野崎 智洋	【熱流体分野】プラズマ理工学、燃料改質、反応工学、熱工学	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
教授	ハナムラ カツナリ 花村 克悟	【熱流体分野】熱ふく射輸送工学(近接場光学、メタマテリアル、熱光起電力電池)、電気化学(SOFC)、熱工学(エンジン排気処理システム、等)	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
教授	ヒライ シュウイチロウ 平井 秀一郎	【熱流体分野】全固体電池、リチウム電池、空気電池、燃料電池の計測・高性能化技術開発、CO2地球温暖化対策技術	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
教授	フシノブ カズヨシ 伏信 一慶	【熱流体分野】熱工学(レーザ応用、電子機器実装、デジタルプリンティング、エネルギー機器)	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
特任教授	カドナガ マサミ 門永 雅史	【熱流体分野】デジタル印刷、インクジェット印刷、電子写真	○機械系機械コース
准教授	オオニシ リョウ 大西 領	【熱流体分野】環境乱流、大規模混相乱流シミュレーション、機械学習、データ同化、次世代気象予測システム	○機械系機械コース
准教授	キクラ ヒロシゲ 木倉 宏成	【熱流体分野】原子力安全工学、熱流動工学、原子炉プロセス制御と計測システム、原子燃料物質の安全輸送と地層処分	○機械系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース 機械系エネルギーコース
准教授	サイトウ タクシ 齊藤 卓志	【熱流体分野】ナノ材料による伝熱制御技術の開発、界面を含む移動現象問題の解明、熱を使った材料加工技術の高度化	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ササベ タカシ 笹部 崇	【熱流体分野】熱工学, 電気化学, 触媒化学, X線ナノ・マイクロ計測技術, 燃料電池, リチウムイオン電池	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
准教授	シムラ マサヤス 志村 祐康	【熱流体分野】乱流燃焼機構と燃焼不安定現象の解明, 燃焼制御法の研究開発, 環境・エネルギー工学, 複合レーザー計測, 数値シミュレーション	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
准教授	ハセガワ ジュン 長谷川 純	【熱流体分野】プラズマ理工学, クラスター・イオンビーム理工学, 慣性核融合, 高エネルギー密度科学, 放射線物理	○融合理工学系原子核工学コース 機械系機械コース 機械系エネルギーコース
准教授	ムラカミ ヨウイチ 村上 陽一	【熱流体分野】分子エネルギー機械, 熱工学, 機能材料創製, 光波長変換, フロー熱発電, ナノ構造蓄熱エネルギー材料	○機械系機械コース 機械系エネルギーコース
特任講師	カトウ コウイチ 加藤 弘一	【熱流体分野】デジタル印刷, インクジェット印刷, 電子写真	○機械系機械コース
テニュアトラック助教	ミナモト ユウキ 源 勇気	【熱流体分野】反応性乱流の大規模高精度数値シミュレーション, 現象解明及び機械学習に基づく反応性乱流モデル開発や他の非線形自然・社会現象のモデル化。	○機械系エネルギーコース 機械系機械コース
教授	イノウエ ヒロツグ 井上 裕嗣	【材料・加工分野】材料力学(非破壊検査, 応力ひずみ測定, 逆問題解析, 衝撃問題, 接触問題)	○機械系機械コース
教授	オオタケ ナオト 大竹 尚登	【材料・加工分野】加工物理化学, 塑性・成形加工学, ナノ・マイクロ加工, 炭素系材料の合成, 評価および機械的・電気的・生体医療応用	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
教授	サトウ チアキ 佐藤 千明	【材料・加工分野】接着工学, 複合材料工学, 材料力学, 実験力学	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
教授	トドロキ アキラ 轟 章	【材料・加工分野】痛覚をもつ新しい構造の開発(スマート構造), 航空宇宙機器複合材料構造の最適設計, 複合材料, 材料力学, 破壊力学, 破壊制御	○機械系機械コース
教授	ヒラタ アツシ 平田 敦	【材料・加工分野】表面工学, 薄膜工学, トライボロジー, 材料加工, ナノカーボン材料	○機械系機械コース システム制御系システム制御コース
教授	ヨシノ マサヒコ 吉野 雅彦	【材料・加工分野】ナノ・マイクロ加工, 機能表面, 金属組織制御加工, 病理診断装置	○機械系機械コース
准教授	アオノ ユウコ 青野 祐子	【材料・加工分野】高機能薄膜・表面創成, 微細加工, レーザー加工, デジタル援用加工	○機械系機械コース
准教授	アカサカ ヒロキ 赤坂 大樹	【材料・加工分野】高機能セラミックス材料・無機炭素系材料の合成と評価, 機能材料化学, 薄膜工学, 材料分析学, 電子物性学	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	イナバ カズアキ 因幡 和晃	【材料・加工分野】連続体力学, 材料力学, 計算工学, 衝撃工学, 燃焼工学, 流体構造連成問題, マルチフィジックス	○融合理工学系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	コンドウ マサトシ 近藤 正聡	【材料・加工分野】核融合炉工学, 原子炉材料の共存性, 液体金属工学	○機械系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース
准教授	サカグチ モトキ 阪口 基己	【材料・加工分野】材料力学, 高温材料強度学, 破壊力学, マイクロメカニクス, 耐熱材料の最適設計	○機械系機械コース
准教授	タナカ トモヒサ 田中 智久	【材料・加工分野】生産システム, CAD/CAM, トライボロジー(接触, 表面, 摩耗)	○機械系機械コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ミズタニ ヨシヒロ 水谷 義弘	【材料・加工分野】先進非破壊検査手法の開発, 人工知能の応用, 複合材料, 材料力学, 破壊力学, 信号処理, 材料環境学	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	ヤマザキ タカヒサ 山崎 敬久	【材料・加工分野】宇宙環境材料と宇宙機部品の信頼性, 結晶学に基づいた接合工学, 表面物性と分析機器, ナノ材料による新機能材料の創成	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	ヤマモト タカトキ 山本 貴富喜	【材料・加工分野】超微細加工, ナノバイオテクノロジー, ナノ流体システム, 再生医療デバイス, 分子バイオロボティクス	○機械系機械コース 機械系ライフエンジニアリングコース
准教授	ヨシオカ ハヤト 吉岡 勇人	【材料・加工分野】生産工学, 超精密機械要素, 工作機械工学, ナノ加工, ナノ計測	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
特任准教授	タナカ シンジ 田中 真二	【材料・加工分野】トライボロジー, 機械要素, 摺動部の可視化・計測	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
教授	イワツキ ノブユキ 岩附 信行	【機械システム分野】超多自由度ロボットの機構と制御, サイレント工学, 知能化レーザー計測	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
教授	オマタ トオル 小俣 透	【機械システム分野】医療ロボット, 医療バイオ研究のためのマイクロ流体システム, ロボティクス・メカトロニクス	○機械系ライフエンジニアリングコース 機械系機械コース
教授	シンシ タダヒコ 進士 忠彦	【機械システム分野】精密機械要素およびシステム, 人工心臓, 磁気応用マイクロデバイス	○機械系機械コース 機械系ライフエンジニアリングコース
教授	タカハラ ヒロキ 高原 弘樹	【機械システム分野】機械力学, 振動学, 流体関連振動, 非線形振動, 不確定系の振動	○機械系機械コース
教授	ハツザワ タケシ 初澤 毅	【機械システム分野】MEMS/NEMSプロセス, バイオ応用メカノデバイス	○機械系ライフエンジニアリングコース 機械系機械コース
教授	マツナガ サブロー 松永 三郎	【機械システム分野】将来型宇宙システムの概念創造, スマート可変形状宇宙システム技術の研究, 超小型衛星/宇宙機の開発・打上・運用	○機械系機械コース
教授	ヤナギダ ヤスコ 柳田 保子	【機械システム分野】バイオMEMS/NEMS, ナノバイオテクノロジー	○機械系ライフエンジニアリングコース 機械系機械コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	ヤマウラ ヒロシ 山浦 弘	【機械システム分野】メカトロニクス機器, 建設機械・土木機械, ロボットなどにおける動力学解析, 制御およびトライボロジー	○機械系機械コース
教授	ヨシダ カズヒロ 吉田 和弘	【機械システム分野】流体マイクロマシン, マイクロアクチュエータ, 機能性流体応用	○機械系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース 機械系エネルギーコース
特任教授	コバヤシ ツネ 小林 恒	【機械システム分野】機械要素の解析と設計・自動車用機構の開発	○機械系機械コース
准教授	イシダ タダシ 石田 忠	【機械システム分野】マイクロマシン, 医工学, 細胞デバイス, 新薬探索技術, ナノ観測, ナノバイオロジー	○機械系ライフエンジニアリングコース 機械系機械コース
准教授	キム ジュウンワン 金 俊完	【機械システム分野】MEMS, マイクロメカトロニクス, バイオメカトロニクス	○機械系機械コース 機械系ライフエンジニアリングコース
准教授	サカモト ヒラク 坂本 啓	【機械システム分野】先進的な軽量宇宙構造物の動力学解析と制御, 宇宙実証を通じた宇宙システムの設計・検証スキーム構築	○機械系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ナカニシ ヒロキ 中西 洋喜	【機械システム分野】宇宙ロボティクス, 次世代宇宙システム, 超小型衛星	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	ナカノ ユタカ 中野 寛	【機械システム分野】振動工学, 機械力学, 自励振動, 摩擦振動, 制振	○機械系機械コース
准教授	ニシサコ タカシ 西迫 貴志	【機械システム分野】マイクロ・ナノ流体, 液滴(エマルジョン), マイクロ化学・生化学分析デバイス, マイクロリアクタ, MEMS/NEMS	○機械系機械コース
准教授	ヒジカタ ワタル 土方 亘	【機械システム分野】メカトロニクス, 人間機械システム, 医用機器, ワイヤレス給電, 体内発電	○機械系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース
特任准教授	マツウラ ダイスケ 松浦 大輔	【機械システム分野】機械要素の解析と設計・ロボティクス・メカトロニクス・画像計測・ビジュアルサーボ・非接触マニピュレーション・福祉機器開発	○機械系機械コース
テニユアト ラック助教	チュウジョウ トシヒロ 中条 俊大	【機械システム分野】宇宙航行力学, 宇宙機の軌道設計, 軌道・姿勢制御, 深宇宙ミッション設計, 宇宙機のシステム設計, 動力学シミュレーション	○機械系機械コース
教授	オカダ マサフミ 岡田 昌史	【知能システム分野】非線形力学系の軌道アトラクタ制御, ロボットの機構設計・制御, 人間の行動誘導, アメニティ空間設計	○機械系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース
教授	サイトウ シゲキ 齊藤 滋規	【知能システム分野】エンジニアリングデザイン, ロボティクス, マイクロアセンブリ, マイクロメカニクス, マイクロ物理	○融合理工学系エンジニアリングデザインコース 機械系エンジニアリングデザインコース
教授	スズモリ コウイチ 鈴森 康一	【知能システム分野】ニューアクチュエータの開発とロボット応用, ソフトロボティクス, 人工筋肉と生体模倣ロボット機構, 特殊環境ロボット, タフロボティクス	○機械系機械コース
教授	タケダ ユキオ 武田 行生	【知能システム分野】ロボット・メカトロニクス機器・福祉機械の機構・機械要素・制御, 機械運動系の解析・総合	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	ニシダ ヨシフミ 西田佳史	【知能システム分野】生活セントリックデザイン, 生活機能支援, 人間情報学, 人工知能, IoT	○機械系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース
教授	エンドウ ゲン 遠藤 玄	【知能システム分野】ロボット, メカトロニクス, 移動ロボット, 支援福祉機器開発, 脚型ロボット, 軽量マニピュレータ, ワイヤ駆動機構	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	スガハラ ユウスケ 菅原 雄介	【知能システム分野】ロボットシステム・機械システムの設計・機構・機械要素・制御・システムデザインとインテグレーション	○機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース
准教授	タカヤマ トシオ 高山 俊男	【知能システム分野】ロボットの機構, ソフトロボット, メカトロニクスの手術・検査機器応用, 医療・バイオ研究に用いるマイクロ流体デバイス	○機械系機械コース 機械系ライフエンジニアリングコース
准教授	タナカ ヒロト 田中 博人	【知能システム分野】バイオメティクス, 生物の飛行・遊泳の流体力学, 羽ばたき翼型飛行・遊泳ロボット, マイクロ加工	○機械系機械コース
准教授	ヤギ トオル 八木 透	【知能システム分野】医用生体工学, 福祉工学, 神経工学, 脳科学, 視覚科学, ヒューマンインタフェース, 生体信号計測/処理	○機械系ライフエンジニアリングコース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース
特任准教授	エンドウ ミツル 遠藤 央	【知能システム分野】協働ロボット, 軽量アクチュエータ, メカトロニクス, 産業用ロボット	○機械系機械コース
講師	ミウラ サトシ 三浦 智	【知能システム分野】ヒューマンマシンインターフェース, ブレインマシンインターフェース, 医療ロボティクス, 福祉ロボティクス	○機械系機械コース

工学院 システム制御系

【系ウェブサイト】 ※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/sc/>

【履修コース】

システム制御コース, エンジニアリングデザインコース

【取得できる学位】

修士(工学, 理学又は学術)

【受入可能予定人数】

56名

【志望理由書のテーマ等】

以下の(a)～(c)について, A4 用紙1枚相当(1200 字程度)で分かりやすく記述してください。

- (a) 修士課程で予定している学修・研究の目的・内容・計画
- (b) 修士課程で予定している学修・研究を志望する理由およびこれまでの学修との関連
- (c) 修士課程で予定している学修・研究に対する自身の能力・適性

【出願にあたっての注意】

- ・『B 日程』筆答試験の試験科目は「数学」のみになります。
- ・『B 日程』口頭試問ではあらかじめ受験者が準備した資料を用いた発表を課します。
- ・『志望する指導教員氏名欄』については, 【指導教員及びその研究分野一覧】を参照してください。
- ・志望指導教員の欄には第10志望まで入力できます。必ずしも全ての枠を埋める必要はありません。
- ・志望指導教員の入力にあたっては <https://educ.titech.ac.jp/sc/admissions/> にある「志望指導教員および補足調査票の記入について」を参照して下さい。

【系・課程が指定する入力項目】

希望する履修コースを第1志望から第2志望まで記入してください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また, スコアシートは返却しません。

【筆答専門科目】

筆答専門試験科目名 : システム制御系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験 (オンライン)	7 月 17 日 (土)	学士課程で身につけた学力, 研究能力ならびに適性に関する試問を行います。	・オンライン(遠隔)にて実施します。 ・A 日程受験資格者は出願書類によって決定します。 ・A 日程試験の可否は出願書類および口述試験の結果を総合的に評価し決定します。 ・A 日程試験が不合格となった場合はB 日程試験を受験できます。
	書類選考	—	出願書類により筆答試験受験資格者を選抜することがあります。	8 月 10 日(火)17 時頃に, 筆答試験受験資格者をシステム制御系ホームページ https://educ.titech.ac.jp/sc/admissions/ に掲載します。
	筆答試験	8 月 17 日 (火) 9:30～11:30	数学(120 分) (応用数学一般「微分積分, 線形代数, フーリエ/ラプラス変換, 微分方程式, 確率統計など」から出題) 配点: 筆答専門試験:150 点, 英語(外部英語テスト):50 点	・B 日程試験の可否は出願書類, 筆答試験および口頭試問の結果を総合的に評価し決定します。 ・筆答試験は対面実施を予定していますが, 災害・感染症・擾乱等によって筆答試験を中止した場合には, 出願書類により口頭試問受験資格者を選抜することがあります。 ・口頭試問はオンライン(遠隔)にて実施します。
B 日程	口頭試問 (オンライン)	8 月 24 日 (火)	あらかじめ受験者が準備した資料を用いた発表に基づき, 工学の基礎学力, 研究能力ならびに適性に関する試問を行います。なお, 発表内容は現在行っている卒業研究またはそれに準じたものとなります。	

*口頭試問で課される発表内容等の詳細はシステム制御系ホームページ(<https://educ.titech.ac.jp/sc/admissions/>)の入学案内に掲載します。

【筆答試験受験資格者の発表】

8月10日(火)17時頃、システム制御系ホームページ <https://educ.titech.ac.jp/sc/admissions/>に掲載します。

【口頭試問受験資格者の発表】

8月20日(金)17時頃、システム制御系ホームページ <https://educ.titech.ac.jp/sc/admissions/>に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

システム制御系入試担当 倉林大輔 E-mail: admissions@sc.e.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

	指導教員	研究分野	担当コース及び備考
教授	アマヤ ケンジ 天谷 賢治	逆解析, 最適化, 計算力学, レーザ解析, 腐食解析, 電気化学解析, 数値シミュレーション, データ同化	システム制御系システム制御コース
教授	イムラ ジュンイチ 井村 順一	システム制御理論, ネットワーク制御, システムバイオロジ, 電力ネットワーク制御, ハイブリットシステム	システム制御系システム制御コース
教授	クラバヤシ ダイスケ 倉林 大輔	自律分散システム, 動作計画, 生物規範システム	システム制御系システム制御コース システム制御系エンジニアリングデザインコース
教授	コサカ ヒデノリ 小酒 英範	環境にやさしい高効率内燃機関に関する研究, レーザ計測による燃焼機構の解明, 燃焼制御の基礎研究	システム制御系システム制御コース 機械系機械コース 機械系エネルギーコース
教授	サンペイ ミツジ 三平 満司	非線形制御理論, ノンホロミックシステム, 劣駆動系	システム制御系システム制御コース システム制御系エンジニアリングデザインコース
教授	ツカゴシ ヒデユキ 塚越 秀行	ソフトロボティクス, バイオメティクス, 流体制御, 医療用アクチュエータ	システム制御系システム制御コース
教授	ナカオ ヒロヤ 中尾 裕也	非線形ダイナミクス, リズム現象, 自己組織化現象, 確率モデル	システム制御系システム制御コース
教授	ナカシマ モトム 中島 求	バイオメカニクス, バイオロボティクス, 筋骨格シミュレーション, 生体運動, スポーツ工学, 福祉工学	システム制御系システム制御コース
特任教授	ナカダイ カズヒロ 中臺 一博	信号処理, ロボティクス, 人工知能, ロボット聴覚, 音環境理解, 音声認識, 音源分離・追跡, 人・ロボットコミュニケーション	システム制御系システム制御コース (株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパンを本務先とします。出願にあたっては, 事前にシステム制御系入試担当にお問い合わせ下さい
准教授	イシザキ タカユキ 石崎 孝幸	システム制御理論, 電力システム, 分散型エネルギーマネジメントシステム, 最適化	システム制御系システム制御コース
准教授	オオヤマ シンジ 大山 真司	計測工学, 知的計測信号処理, 各種媒体(電波, 光, 音波など)による位置計測, CT応用計測	システム制御系システム制御コース
准教授	サトウ ススム 佐藤 進	交通システムにおける環境負荷低減に関する研究, 高効率排気後処理装置の制御法確立, 代替燃料の次世代内燃機関への適用性に関する研究	システム制御系システム制御コース 機械系機械コース 機械系エネルギーコース
准教授	タナカ マサユキ 田中 正行	コンピュータショナルフォトグラフィ, 統計画像処理, 動画画像処理	システム制御系システム制御コース
准教授	ハタナカ タケシ 畑中 健志	人と協調するシステム制御, サイバーフィジカルシステム, 分散協調ビルエネルギー管理, ネットワーク化モビリティ, 分散最適化/学習/ゲーム	システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ハヤカワ トモヒサ 早川 朋久	制御工学, 非線形力学系理論, デジタル社会システムデザイン, ゲーム理論	システム制御系システム制御コース
准教授	ハラ セイイチロウ 原 精一郎	表面形状センシング, 計測情報処理・評価, 加工情報センシング, 表面性状デザイン	システム制御系システム制御コース 機械系機械コース
准教授	ミヤザキ ユウスケ 宮崎 祐介	バイオメカニクス, 傷害予防工学, デジタル・ヒューマン・モデリング	システム制御系システム制御コース
准教授	ヤマキタ マサキ 山北 昌毅	制御工学, ロボット工学, 適応・学習制御理論	システム制御系システム制御コース システム制御系エンジニアリングデザインコース
特任准教授	イトヤマ カツトシ 糸山 克寿	音楽情報処理, 統計的信号処理, 機械学習, ロボット聴覚, 動物音声分析	システム制御系システム制御コース (株)ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパンと東工大の共同研究講座を本務先とします。出願にあたっては、事前にシステム制御系入試担当にお問い合わせ下さい
教授	イシイ ヒデアキ 石井 秀明	システム制御, ネットワーク化制御, 協調分散アルゴリズム, サイバーフィジカルシステムのセキュリティ対策	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース
教授	タカヤス ミサコ 高安 美佐子	経済物理学, 複雑ネットワーク, 統計物理学, ビッグデータサイエンス	数理・計算科学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース 情報工学系知能情報コース
教授	ナカヤマ ミノル 中山 実	知覚認知, 言語理解, ヒューマンファクタ, 教育システム評価, 教育工学	情報通信系情報通信コース システム制御系システム制御コース
教授	ミヤケ ヨシヒロ 三宅 美博	共創システム(Co-creation System), コミュニケーション科学, 認知神経科学, 自己組織システム, ヒューマンインタフェース(HCIおよびVR/MRを含む)	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース
教授	ヤマムラ マサユキ 山村 雅幸	機械学習, 進化計算, バイオインフォマティクス, DNAコンピューティング, 循環共生圏農工業	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	アオニシ トオル 青西 亨	非平衡統計力学, 非線型動力学, 生物物理学, 計算論的神経科学	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース
准教授	オノ イサオ 小野 功	進化計算, 強化学習, 最適化	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース
准教授	タキノウエ マサヒロ 瀧ノ上 正浩	分子ロボット, DNAナノテク, DNAコンピュータ, 人工細胞, 合成生物学, バイオマイクロ流路, 生物物理学, ウェット実験	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース

工学院 電気電子系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/ee/>

【履修コース】

電気電子コース, 原子核工学コース, ライフエンジニアリングコース, エネルギーコース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

150名

【志望理由書のテーマ等】

志望研究室・研究分野に対する志望理由を1,000字以内で記入してください。

【出願にあたっての注意】

- ・志望指導教員は最大で第10志望まで入力できます。ただし、必ずしも第10志望まで入力する必要はありません。
- ・本系を受験することにより、清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。その場合は後述する【指導教員及びその研究分野一覧】に示す対応教員を志望してください。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。
- ・本系に合格した場合には、国立交通大学(台湾)とのダブルディグリープログラムにより、東工大・国立交通大学の双方の修士課程を2年間で修了できる可能性があります。本系の指導教員と国立交通大学国際半導体産業学院に所属する受け入れ教員が共同研究を行うことを前提としていますので、志望する際は本系の指導教員にお問い合わせください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程の指定する入力項目」には、以下の(1)～(3)の回答を入力してください。各回答の前には回答番号(1),(2),(3)を入力してください。

- (1) 第10志望までに挙げた教員以外への配属でも入学しますか。「はい」か「いいえ」のいずれかで回答してください。「はい」の場合は(2),(3)も回答してください。「いいえ」の場合は(2),(3)の回答は不要です。
回答例(「はい」の場合):(1)はい
- (2) 研究の類似する研究グループへの配属可能性を検討するため、研究グループの志望順位を、研究グループ名の英字(A～E)で最大で第5志望まで回答してください。
研究グループ:A回路, B波動・光および通信, Cデバイス, D材料・物性, E電力・エネルギー
回答例(第1志望がA回路, 第2志望がB波動・光および通信, 第3志望がCデバイス, 第4志望がD材料・物性, 第5志望がE電力・エネルギーの場合):(2)第1志望A, 第2志望B, 第3志望C, 第4志望D, 第5志望E
- (3) 配属される可能性があるコースを限定したい場合のみ、志望するコースをコース名の英字(A～D)で回答してください。コースは複数記載可能です。特に限定しない場合は回答しないでください。
コース:A電気電子コース, Bエネルギーコース, C原子核工学コース, Dライフエンジニアリングコース
回答例(電気電子コースを限定したい場合):(3)電気電子コース

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートの原本を出願時に提出すること。出願時にスコアシート提出がない場合、受験資格なしと判断します。また、出願後におけるスコアシートの提出は一切認めません。

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等
A日程	口述試験	7月17日(土)	基礎・専門学力及び適性などに関する試問
B日程	筆答試験	8月17日(火) 数学・電磁気学・選択専門科目(電気回路または量子力学/物性基礎): 9:30～12:10	英語: 筆答試験は実施せず、本学の指定する外部英語テストのスコアシートを利用。 筆答専門試験科目 ・数学(微分方程式, 複素関数, ラプラス変換, フーリエ変換, 確率統計, ベクトル解析など) ・電磁気学(静電界, 静磁界, 電磁誘導, 電磁界の法則など) および 選択専門科目 以下の二分野より1つを選択 ・電気回路(交流回路, 分布定数回路, 回路解析, 回路の諸定理, 電子回路など) ・量子力学/物性基礎(ポテンシャルと波動関数, 光の吸収と放出, 電気伝導, エネルギーバンド, 結晶構造など) 試験時間: 数学・電磁気学・選択専門科目(電気回路または量子力学/物性基礎) 160分 配点: 計950点 筆答専門試験科目: 数学・電磁気学 各300点, 電気回路または量子力学/物性基礎 200点, 英語(外部英語テスト) 150点
	口頭試問	8月17日(火)	志望分野および適性などに関する試問を行う。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目:電気電子系

【口頭試問受験資格者】

口頭試問受験資格者は、8月17日(火)に筆答試験を受験した者としします。

【B日程における合否判定について】

B日程については、筆答試験及び口頭試問の成績、志望する研究分野および指導教員、ならびに適性などにより合否を判定します。
合否判定にあたり、A日程の受験資格の有無、口述試験成績は考慮しません。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

東京工業大学 電気電子系入試担当 Mail:inquiry@ee.e.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

◆:主指導教員にはなれません,

※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません

△清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員

	指導教員	研究分野	担当コース及び備考	研究グループ
准教授	イトウ ヒロユキ 伊藤 浩之	低電力CMOS回路技術, 医療IoT, 農業IoT	電気電子系電気電子コース	回路グループ
教授	オカダ ケンイチ 岡田 健一	無線システム・回路技術, 高周波集積回路技術, アナログ・デジタル混在システム・集積回路技術	電気電子系電気電子コース	回路グループ
教授	トクダ タカシ 徳田 崇	バイオ応用・IoT応用向けマイクロデバイス・回路技術	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース	回路グループ
准教授	アオヤギ タカヒロ 青柳 貴洋	環境電磁工学	電気電子系電気電子コース 融合理工学系地球環境共創コース	波動・光および通信グループ
教授	ウエノハラ ヒロユキ 植之原 裕行	光通信, 光信号処理, 光スイッチング, 光集積デバイス	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
准教授	クロサワ ミノル 黒澤 実	アクチュエータ, 電気音響, 音響測位	電気電子系電気電子コース 情報通信系情報通信コース	波動・光および通信グループ
教授	コヤマ フミオ 小山 二三夫	面発光レーザ, 光集積回路, 光マイクロ・ナノマシン, フォトニックナノ構造による光制御, 光ビーム掃引・スイッチング素子	電気電子系電気電子コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません	波動・光および通信グループ
教授	サカグチ ケイ 阪口 啓	第5世代セルラネットワーク, IoT無線センサネットワーク, 無線電力伝送	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
准教授	タン ザ カン TRAN GIA KHANH	ギガビット級無線基幹回線ネットワーク, AIを活用する無線リソース制御・最適化, ドローンを活用するIoTネットワーク	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
准教授	ショウジ ユウヤ 庄司 雄哉	光通信工学, 光エレクトロニクス, 磁気光学デバイス	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
准教授	タバル マリエ 田原 麻梨江	超音波工学, 医用超音波, 計測工学, 生体機能計測	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース 情報通信系情報通信コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	波動・光および通信グループ
教授	ナカムラ ケンタロウ 中村 健太郎	超音波デバイス・超音波計測, 光応用計測, 光ファイバセンサ	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース 情報通信系情報通信コース	波動・光および通信グループ
准教授	ニシカタ アツヒロ 西方 敦博	環境電磁工学(電波吸収, 生体), 電磁気材料測定, 聴覚情報処理	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
教授	ニシヤマ ノブヒコ 西山 伸彦	光電子集積回路, 半導体レーザ, 光集積回路を利用した超高速トランシーバ・計測システム	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ

	指導教員	研究分野	担当コース及び備考	研究グループ
教授	ヒロカワ ジロウ 廣川 二郎	ミリ波・テラヘルツ波平面アンテナ, 電磁界解析	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
テニユア トラック 助教	トムラ タカシ 戸村 崇	衛星搭載用アンテナ, 無線通信, 大規模電磁界解析	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
准教授	ミヤモト トモユキ 宮本 智之	光エレクトロニクス, 光無線給電システム, 光デバイス・光機能モジュール	電気電子系電気電子コース	波動・光および通信グループ
教授	アサダ マサヒロ 浅田 雅洋	テラヘルツデバイス, テラヘルツエレクトロニクス, ナノ構造半導体のテラヘルツ応答	電気電子系電気電子コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません	デバイスグループ
准教授	オオミ シュンイチロウ 大見 俊一郎	集積化電子デバイス, 半導体デバイス・プロセス	電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
准教授	カクシマ クニユキ 角嶋 邦之	電子デバイス, 新材料プロセス, 異種材料界面	電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
准教授	コデラ テツオ 小寺 哲夫	量子コンピュータ基盤技術, 量子情報デバイス, ナノ量子エレクトロニクス	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	デバイスグループ
准教授	スズキ サフミ 鈴木 左文	テラヘルツデバイス、動的メタマテリアル、テラヘルツ応用（無線通信、レーダー、3次元イメージング）	電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
教授	ツツイ カズオ 筒井 一生	半導体電子デバイス, 半導体プロセス技術	電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
教授	ハタノ ムツコ 波多野 睦子	固体量子センサ, パワーデバイス	電気電子系エネルギーコース 電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
准教授	イワサキ タカユキ 岩崎 孝之	ダイヤモンド量子センサ, 量子情報通信用の固体量子光源, ダイヤモンドデバイス	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	デバイスグループ
教授	ミヤモト ヤスユキ 宮本 恭幸	化合物半導体電子デバイス, 半導体ナノ構造形成	電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
教授	ワカバヤシ ヒトシ 若林 整	半導体デバイス, MISFET, ナノデバイス, 電子デバイス, LSI	電気電子系電気電子コース 技術経営専門職学位課程	デバイスグループ
准教授	ワタナベ マサヒロ 渡辺 正裕	ナノデバイス工学, 量子効果光電子デバイス, ヘテロエピタキシャル成長, ナノ構造プロセス技術	電気電子系電気電子コース	デバイスグループ
准教授	イイノ ヒロアキ 飯野 裕明	有機エレクトロニクス, 液晶性有機半導体, 薄膜トランジスタ, イメージングデバイス	電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
准教授	イトウ ハルヒコ 伊藤 治彦	アトム・フォトンクス, ナノフォトンクス, 原子光学, 量子エレクトロニクス	電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
教授	カジカワ コウタロウ 梶川 浩太郎	プラズモニクス, メタマテリアル, 非線形光学, 液晶	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
准教授	スガハラ サトシ 菅原 聡	集積デバイス, 集積回路, 熱電発電モジュール	電気電子系電気電子コース	材料・物性グループ
教授	ナカガワ シゲキ 中川 茂樹	スピントロニクス, 情報記録素子, 超伝導スピントロニクス	電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
教授	ナカモト タカミチ 中本 高道	ヒューマンインタフェース, 嗅覚ディスプレイ, 感性情報処理, センサ情報処理, 匂いセンシングシステム, バイオセンサ	電気電子系電気電子コース 情報通信系情報通信コース 情報通信系ライフエンジニアリングコース	材料・物性グループ

	指導教員	研究分野	担当コース及び備考	研究グループ
准教授	ファム ナム ハイ PHAM NAM HAI	半導体・金属スピントロニクス, 強磁性半導体, トポロジカル絶縁体	電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
教授	マナカ タカアキ 間中 孝彰	有機エレクトロニクス, 有機デバイス, 非線形光学	電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
准教授	ミヤジマ シンスケ 宮島 晋介	半導体物性, 太陽電池	電気電子系エネルギーコース 電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
教授	ヤマダ アキラ 山田 明	太陽電池, 化合物薄膜太陽電池, 半導体物性	電気電子系エネルギーコース 電気電子系電気電子コース △清華大学(中国)大学院合同プログラム対応教員	材料・物性グループ
准教授	アカツカ ヒロシ 赤塚 洋	プラズマ理工学, プラズマ分光, プラズマ内の原子分子過程	電気電子系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース 電気電子系電気電子コース	電力・エネルギーグループ
准教授	オキノ アキトシ 沖野 晃俊	大気圧プラズマ工学, プラズマ分光分析, プラズマ医療	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース	電力・エネルギーグループ
教授	オグリ ヨシユキ 小栗 慶之	加速器・イオンビームを用いた環境計測, 医療技術	電気電子系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません	電力・エネルギーグループ
テニユア トラック 助教	カワベ ケンイチ 河邊 賢一	電力システム工学, 再生可能エネルギー	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
准教授	タケウチ ノブミ 竹内 希	プラズマ工学, 静電気工学, 高電圧工学	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
教授	チバ アキラ 千葉 明	ドライブレレクトロニクス, パワーメカトロニクス, インテリジェントドライブ	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
准教授	キヨタ キョウヘイ 清田 恭平	電気機器, モータ, 発電機, 磁気浮上	電気電子系エネルギーコース 電気電子系電気電子コース	電力・エネルギーグループ
准教授	ハギワラ マコト 萩原 誠	パワーエレクトロニクス, 電力工学, 電気機器学	電気電子系エネルギーコース 電気電子系電気電子コース	電力・エネルギーグループ
教授	フジタ ヒデアキ 藤田 英明	パワーエレクトロニクス, 電気機器学	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
テニユア トラック 助教	サノ ケンイチロウ 佐野 憲一郎	パワーエレクトロニクス, 直流送電	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
特任教授	フジイ テルヤ 藤井 輝也	第5世代/第6世代移動通信システム, ネットワーク連携移動通信システム, 成層圏(HAPS)移動通信システム, Massiveアンテナ設計	電気電子系電気電子コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません	波動・光および通信グループ
特任准教授	オモテ ヒデキ 表 英毅	第5世代/第6世代移動通信システム, 第5世代/第6世代移動電波伝搬, 移動電波伝搬の国際標準化	電気電子系電気電子コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません	波動・光および通信グループ
特任教授	ウラカバ タカヒロ 浦壁 隆浩	パワーエレクトロニクス, パワー半導体デバイスのモデリング	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
特任准教授	ハラダ シゲキ 原田 茂樹	パワーエレクトロニクス, パワー半導体デバイスのモデリング	電気電子系電気電子コース 電気電子系エネルギーコース	電力・エネルギーグループ
特任教授	ナカムラ ヒロシ 中村 裕司	協働ロボット, 軽量アクチュエータ, メカトロニクス, モーション制御	電気電子系電気電子コース	電力・エネルギーグループ

工学院 情報通信系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/ict/>

【履修コース】

情報通信コース、ライフエンジニアリングコース、エンジニアリングデザインコース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

71名

【志望理由書のテーマ等】

第一志望研究室・研究分野における研究計画を、背景、目的・内容、特色、計画などに分けまとめる。
図表、参考文献リストを含めても良いが、図表、参考文献リストを除いた文字数は 1000 字程度とする。

【出願にあたっての注意】

- ・指導教員として志望する教員の研究室を事前に見学することが望ましい。
- ・「志望指導教員情報」には第10志望までの教員名を入力してください。志望指導教員が10名未満の場合は「志望指導教員情報」のすべての枠を埋める必要はありません。入力した教員以外は志望しない場合は「系・課程の指定する入力項目」に『志望しない』と入力してください。『志望しない』と入力すること、および、下位志望の志望指導教員を入力しないことにより、上位の志望指導教員が優先的に指導教員として決定されることはありません。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄に入力する内容は、上記の場合以外は入力不要です。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。コピーの提出は認めません。
一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目: 情報通信系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験	7月17日(土)	学力ならびに適性に関する試問を個人面接の形式で行う。 可否は、出願書類および口述試験の結果を総合的に評価し決定する。	・受験資格者は出願書類によって決定します。 ・A日程試験が不合格となった場合はB日程試験を受験できます。
B 日程 ※注	筆答試験	8月17日(火) 9:30~12:30	出題範囲: 情報通信に関連する分野において学部3年次相当までに学ぶ専門科目より出題(下記を参照のこと) 指定する専門科目: 情報通信系 科目・分野・試験時間帯: 必答科目(9:30~11:00): 微分積分, 線形代数の2問 選択科目(11:30~12:30): 下記の3問から1問を選択 1. 応用数学・情報通信理論(確率・統計, フーリエ解析, ラプラス変換, 複素関数論, 情報理論, 通信方式, 待ち行列理論) 2. 回路理論・回路解析・物理学基礎(交流回路, 線形回路, 電子回路, 電磁気学) 3. 計算機・論理回路・アルゴリズム・プログラミング(ブール代数, 組み合わせ回路, 順序回路, 計算機構成, 再帰, 木とグラフ, 探索, 配列とポインタ) 配点: 計 600 点 必答科目 300 点, 選択科目 200 点, 英語(外部英語テスト) 100 点	
	口頭試問	8月26日(木)	学力ならびに適性に関する試問を個人面接の形式で行う。 可否は、筆答試験および口頭試問の結果を総合的に評価し決定する(口述試験の結果は考慮しません)。	・筆答試験成績上位者を受験資格者としてします。

※注 筆答試験を中止とした場合には、代替として、提出された出願書類を元に採点を行います。
引き続き本系のホームページを確認してください。この場合のスケジュールは以下のとおりです。
・8/10(火) 出願書類を元に採点を行った結果, B 日程口頭試問受験資格者を発表
・8/23(月), 24(火), 25(水) B 日程口頭試問(オンライン実施)

【口頭試問受験資格者の発表】

8月20日(金)17時頃までにホームページ(<https://educ.titech.ac.jp/ict/admissions/>)に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

情報通信系入試担当 奥村学, E-mail: inquiry21@ict.e.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	イッシキ ツヨシ 一色 剛	高機能プロセッサ設計自動化, セキュリティ SW/HW設計	情報通信系情報通信コース 情報通信系情報工学コース
教授	ウエマツ トモヒコ 植松 友彦	情報理論, 符号理論, 通信理論	情報通信系情報通信コース
教授	オガタ ワカハ 尾形 わかは	暗号理論, 暗号プロトコル, 証明可能安全	情報通信系情報通信コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	オクムラ マナブ 奥村 学	自然言語処理, テキストマイニング, Webテキスト 処理, 機械学習	情報通信系情報通信コース
特定教授	オクムラ ユキヒコ 奥村 幸彦	移動通信, 無線通信技術, 無線通信ネットワー ク	情報通信系情報通信コース ○副指導教員としてのみ志望可能
准教授	オビ タカシ 小尾 高史	医用情報処理, 医用画像処理, 医療情報シス テム, セキュアシステム	情報通信系情報通信コース 情報通信系ライフエンジニアリングコース
准教授	カサイ ケンタ 笠井 健太	符号理論, LDPC符号, 空間結合符号	情報通信系情報通信コース
教授	カネコ ヒロヒコ 金子 寛彦	視覚情報処理, 空間認識, 眼球運動, 異種感 覚統合	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
准教授	キタグチ ヨシアキ 北口 善明	情報通信工学, 次世代ネットワーク運用管理技 術, ネットワークセキュリティ, 通信品質計測	情報通信系情報通信コース
教授	クマザワ イツオ 熊澤 逸夫	神経回路モデル, 認知科学, 画像処理, 画像 符号化, パターン認識, ユーザインターフェイス	情報通信系情報通信コース
准教授	クロサワ ミノル 黒澤 実	応用音響システム, 高品位オーディオシステ ム, 音響放射力アクチュエータ, 音響測位	情報通信系電気電子コース 情報通信系情報通信コース
教授	コイケ ヤスハル 小池 康晴	ヒューマンインタフェース, 計算論的神経科学, 運動制御・学習モデル	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
准教授	ササキ ヒロシ 佐々木 広	計算機アーキテクチャ, コンピュータセキュリ ティ, コンピュータシステム, IoT, ワークロード解析	情報通信系情報通信コース
特定教授	サトウ イマリ 佐藤 いまり	視覚情報工学, 画像・光情報処理, 反射解析, コンピュータグラフィックス	情報通信系情報通信コース ○副指導教員としてのみ志望可能
准教授	ジツマツ ユタカ 實松 豊	情報理論, 通信方式, 情報セキュリティ	情報通信系情報通信コース
准教授	シノザキ タカヒロ 篠崎 隆宏	音声理解, 対話システム, 強化学習, 機械学習	情報通信系情報通信コース 情報通信系ライフエンジニアリングコース
教授	スギノ ノブヒコ 杉野 暢彦	GPGPU向けコンパイラ, 自動コード並列化コン パイラ, 信号処理システム実現	情報通信系情報通信コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今 回は志望できません
教授	スズキ ケンジ 鈴木 賢治	機械学習, ディープラーニング, コンピュータ支 援診断, 医用画像処理, 医用画像理解, 人工 知能	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
教授	スラヴァキス コンスタンティノス SLAVAKIS KONSTANTINOS	信号処理, 機械学習, データアナリティクス	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
教授	タカキ シゲタカ 高木 茂孝	集積回路, 回路網理論	情報通信系情報通信コース
教授	タカハシ アツシ 高橋 篤司	EDA, 物理設計, 次世代リソグラフィ	情報通信系情報通信コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	タバ丸 マリエ 田原 麻梨江	生体計測工学, 農業計測工学, 医用工学, 波動工学	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース 情報通信系情報通信コース
准教授	ナガイ タケヒロ 永井 岳大	色彩工学, 質感科学, 視覚心理物理学	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
准教授	ナカタニ モモコ 中谷 桃子	ヒューマンコンピュータインタラクション, サービスデザイン, コミュニケーション支援, ウェルビーイング	情報通信系エンジニアリングデザインコース 情報通信系情報通信コース
准教授	ナカハラ ヒロキ 中原 啓貴	FPGA, 高性能計算, ディープラーニング, 多値論理	情報通信系情報通信コース
教授	ナカムラ ケンタロウ 中村 健太郎	超音波デバイス・超音波計測, 光応用計測, 光ファイバセンサ	電気電子系ライフエンジニアリングコース 電気電子系電気電子コース 情報通信系情報通信コース
教授	ナカモト タカミチ 中本 高道	ヒューマンインタフェース, 嗅覚ディスプレイ, 感情情報処理, センサ情報処理, 匂いセンシングシステム, バイオセンサ	情報通信系情報通信コース 電気電子系電気電子コース 情報通信系ライフエンジニアリングコース
教授	ナカヤマ ミノル 中山 実	知覚認知, 言語理解, ヒューマンファクタ, 教育システム評価, 教育工学	情報通信系情報通信コース システム制御系システム制御コース
准教授	ニシオ タカユキ 西尾 理志	無線ネットワーク, 機械学習応用, 分散協調学習, 環境センシング, マルチモーダルシステム, リソース制御	情報通信系情報通信コース
准教授	ハセガワ ショウイチ 長谷川 晶一	バーチャルリアリティ, ヒューマンインタフェース, 動力学シミュレーション, 力触覚, エンタテインメント工学	情報通信系情報通信コース 情報通信系エンジニアリングデザインコース
准教授	ハラ ユウコ 原 祐子	低消費エネルギー組込みシステム, Internet of Things (IoT), ハードウェア・ソフトウェア協調設計	情報通信系情報通信コース
教授	フカワ カズヒコ 府川 和彦	無線通信, 無線通信ネットワーク, 知的信号処理, 適応フィルタ理論	情報通信系情報通信コース
准教授	フナコシ コウタロウ 船越 孝太郎	自然言語処理, マルチモーダル対話システム, ヒューマンマシンインタラクション	情報通信系情報通信コース
特任准教授	ベラール ダニエル ピーター BERRAR DANIEL PETER	データサイエンス, 機械学習, バイオインフォマティクス, 人工知能	情報通信系情報通信コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません
特任教授	ホルメ ヨハン ペッター HOLME JOHAN PETTER	ネットワーク理論, ビッグデータ解析	情報通信系情報通信コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません
准教授	マツモト リウタロウ 松本 隆太郎	誤り訂正符号, 情報理論, 量子通信	情報通信系情報通信コース
教授	モトムラ マサト 本村 真人	リコンフィギュラブルハードウェア, 知能コンピュータティング, ディープラーニングプロセッサ, アニールマシン	情報通信系情報通信コース
教授	ヤマオカ カツノリ 山岡 克式	情報通信ネットワーク, インターネット	情報通信系情報通信コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ヤマグチ マサヒロ 山口 雅浩	光工学, 画像工学(分光イメージング, 色再現, 病理画像解析, 3次元画像, ホログラフィー)	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
教授	ヤマダ イサオ 山田 功	信号処理, 機械学習, 最適化, 逆問題, データサイエンス	情報通信系情報通信コース
准教授	ユ ジェフン 劉 載勲	機械学習, 知能コンピュータティング, ディープラーニングプロセッサ, システムアーキテクチャ	情報通信系情報通信コース
准教授	ヨシムラ ナツエ 吉村 奈津江	脳活動信号処理, ヒューマンインタフェース, 計算論的脳科学	情報通信系ライフエンジニアリングコース 情報通信系情報通信コース
准教授	ワタナベ ヨシヒロ 渡辺 義浩	コンピュータビジョン, 拡張現実, デジタルアーカイブ, インタラクション	情報通信系情報通信コース

工学院 経営工学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/iee/>

【履修コース】

経営工学コース、エンジニアリングデザインコース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

62名

【志望理由書のテーマ等】

以下の(1)(2)の両方を提出して下さい。

- (1)「志望理由書」: 志望研究室・研究分野など志望理由を日本語1,000字程度にまとめたもの。志望理由書の様式準拠。
- (2)「研究計画書」: (1)とは別紙で、修士課程で取り組みたい研究テーマをひとつ選び、その研究計画を A4 用紙 3 ページ以内で記述したもの。様式自由。

【出願にあたっての注意】

- ・志願者は、出願手続をする前に、あらかじめ志望する指導教員に相談してください。
- ・志望指導教員名は、必ずしも10名入力する必要はありませんが、3名以上を入力することを推奨します。
- ・本系に、慶應義塾大学大学院経済学研究科からジョイントディグリー制度により出願する志願者は、出願書類の他に研究科委員長によるコース所属証明書(様式随意)を提出してください。
- ・本系を受験することにより、清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。ただし、すべての教員が本プログラム学生を受け入れ可能ではないため、事前に本プログラムの社会理工学コース長ならびに志望する教員と連絡を取り、本プログラム学生として出願できるか確認してください。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートの原本を、出願時に必ず提出して下さい。直接持参するなど、これ以外の方法での提出は一切認めません。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目: 経営工学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等		備考	
A日程	口述試験	7月20日(火)	専門的知識及び学士論文研究の内容等についての口述試験			
B日程 ※注	筆答試験	8月17日(火) 10:00～11:00	専門科目 60 分 数理分野より1問, 経済学分野より3問, 管理技術分野より3 問, 経営管理分野より2 問出題される計9問中, 任意の2 問をその場で選択し解答。(1 問 100 点×2 問=200 点)			
			出題分野	問題	具体的な出題範囲	出題数
			数理	数理	線形代数, 微積分, 基礎数理, 数理工学, 確率・統計	計 1 問
			経済学	経済学A	ミクロ経済学	計 3 問
				経済学B	マクロ経済学	
				経済学 C	ゲーム理論	
			管理技術	管理技術A	生産管理, インダストリアル・エンジニアリング, 人間工学	計 3 問
				管理技術B	品質管理	
				管理技術 C	オペレーションズ・リサーチ	
			経営管理	経営管理A	経営戦略・経営組織, マーケティング, システムと情報	計 2 問
経営管理B	会計, ファイナンス					
配点: 英語(外部英語テスト) 50 点 専門科目 200 点 (合計 250 点)						
口頭試問	8月27日(金)	学力, 研究能力ならびに適性に関する試問				

※注 筆答試験を中止とした場合には、代替として、提出された出願書類を元に採点を行います。

引き続き本系のホームページを確認してください。この場合のスケジュールは以下のとおりです。

- ・8/10(火)出願書類を元に採点を行った結果、B日程口頭試問受験資格者を発表
- ・8/27(金)B日程口頭試問(オンライン実施)

【口頭試問受験資格者の発表】

8月23日(月)17時頃より、本学ホームページ(新着入試情報 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html)に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

経営工学系入試担当 Email:inshi@ml.me.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	イノウエ コウタロウ 井上 光太郎	経営財務, 企業統治	経営工学系経営工学コース
教授	ウメムロ ヒロユキ 梅室 博行	感情と技術・経営, 加齢と技術, 人間工学	経営工学系経営工学コース
教授	シオウラ アキヨシ 塩浦 昭義	離散最適化, オペレーションズ・リサーチ, アルゴリズム理論	経営工学系経営工学コース
教授	セノオ ダイ 妹尾 大	組織論, 戦略論, 知識・情報システム	経営工学系経営工学コース 経営工学系エンジニアリングデザインコース
教授	ナカタ カズヒデ 中田 和秀	オペレーションズ・リサーチ, 連続最適化, 機械学習	経営工学系経営工学コース
教授	マツイ トモミ 松井 知己	最適化理論, 組合せ理論, オペレーションズ・リサーチ	経営工学系経営工学コース
教授	ヤマト タケヒコ 大和 毅彦	ミクロ経済学, 公共経済学, 実験経済学, メカニズム・デザイン	経営工学系経営工学コース
准教授	アオキ ヒロタカ 青木 洋貴	人間工学, 認知工学	経営工学系経営工学コース
准教授	オオDOI リョウジ 大土井 涼二	マクロ経済学, 経済成長理論	経営工学系経営工学コース
准教授	オガサワラ コウタ 小笠原 浩太	計量経済史, 医療経済学	経営工学系経営工学コース
准教授	カワサキ リョウ 河崎 亮	数理経済学, ゲーム理論	経営工学系経営工学コース
准教授	グ シュウジュ 顧 秀珠	医療マネジメント, 安全工学, 人間工学	経営工学系経営工学コース
准教授	シーボーン ケイティ SEABORN Katie	人間工学, インクルーシブデザイン, ゲームデザイン, UX	経営工学系経営工学コース 経営工学系エンジニアリングデザインコース
准教授	ショウ シュクレイ 鍾 淑玲	マーケティング, 流通	経営工学系経営工学コース
准教授	ナガタ キョウコ 永田 京子	財務報告, 企業評価, コーポレートガバナンス	経営工学系経営工学コース
准教授	フクダ エミコ 福田 恵美子	ゲーム理論, インダストリアル・エコノミクス	経営工学系経営工学コース
准教授	ホリ タケオ 堀 健夫	マクロ経済学, 経済成長理論	経営工学系経営工学コース
特定教授	マスイ トシヒコ 増井 利彦	環境経済・政策学, 統合評価モデル分析	経営工学系経営工学コース 国立環境研究所を本務とするため, 副指導教員として担当します。
特定准教授	カナモリ ユウコ 金森 有子	統合評価モデル開発, 家計を中心とした環境負荷発生構造の分析	経営工学系経営工学コース 国立環境研究所を本務とするため, 副指導教員として担当します。

物質理工学院

物質理工学院 材料系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/mat/>

【履修コース】

材料コース, 原子核工学コース, ライフエンジニアリングコース, エネルギーコース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学または学術)

【受入可能予定人数】

190名

【志望理由書のテーマ等】

- 以下の要領で記入すること:
(1)大学院の進学動機(400字程度), (2)志望する分野と教員の志望理由(400字程度),
(3)他大学併願の有無(予定も含む)と本学院材料系の志望順位。

【出願にあたっての注意】

- 志願者は, 出願の前に第1志望の指導教員と予め相談してから出願すること。
- 志望指導教員は第5志望まで記入し, 第6志望から第10志望までは志望に応じて記入してください。第6志望以降は必ずしも埋める必要はありません。
- 本系を受験することにより, 清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。
詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照して下さい。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は, 何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

- 提出方法について
スコアシートは, 必ず原本を提出して下さい。コピーの提出は, 認めません。
一度提出したスコアシートの差し替えは, 一切認めません。また, スコアシートは返却いたしません。
- 提出時期について
スコアシートは, 原則として出願時に提出して下さい。もし, 出願時に提出できない場合は, インターネット出願画面で「出願時に提出せず系の指定する日に提出」を選択し, 封筒に「外部英語テストのスコアシート在中」と朱書きした上, 7月2日(金)12時必着で, 以下の住所の材料系事務室まで, スコアシートを簡易書留で郵送して下さい。

郵送先: 〒152-8550

東京都目黒区大岡山 2-12-1 S8-25 東京工業大学 物質理工学院 材料系事務室

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目: 材料系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等
A日程	口述試験	7月17日(土)	オンラインで実施する。詳細は受験資格者への個別通知により案内する。 専門的知識, 学士論文研究の内容, 適性等についての試問を行う。
B日程 ※注	筆答試験	8月17日(火) 9:30~12:00	第Iブロック(数学, 力学, 有機化学1, 物理化学, 材料力学, 金属組織学, 有機高分子物性, 無機材料化学)および第IIブロック(電磁気学, 量子力学, 有機化学2, 無機化学, 熱力学, 金属物理学, 有機高分子化学, 無機材料物性)の各ブロックから, それぞれ2問ずつ選択し, 合計4問に対して回答する。 配点: 筆答専門試験 400点, 英語(外部英語テスト)150点
	口頭試問	8月24日(火)	オンラインで実施する。詳細は受験資格者への個別通知により案内する。 専門的知識, 学士論文研究の内容, 志望分野・適性等についての試問を行う。

※注 本系のホームページを確認してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

口頭試問受験資格者は, 8月20日(金)17:00 頃より, 物質理工学院 材料系の Web サイト(<https://educ.titech.ac.jp/mat/>)にて公表します。

【過去の筆答試験問題及び想定問題の公表】

Web サイトで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

東京工業大学 物質理工学院 材料系大学院入試担当, E-mail: mat.adm@mac.titech.ac.jp

【指導教員およびその研究分野一覧】

備考欄に教員の担当する系・コースを記載しています。

備考欄のアルファベットは、研究室のあるキャンパスを表しています。O:大岡山キャンパス, S:すずかけ台キャンパス。

第2志望以降の教員も、第1志望の教員と同じ群(A～C 群)の教員のなかから選択して下さい。

＜A 群＞

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考	
教授	イナムラトモナリ 稲 朋也	医療・エネルギー材料の組織制御と材料設計, 材料組織の 数理と顕微解析	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	S
教授	オナカ ススム 尾中 晋	材料の力学物性とその微視構造依存性, 材料組織におけ る形の物理	材料系材料コース	S
教授	クマイ シンジ 熊井 真次	軽金属材料, 異種金属接合, 凝固組織制御, 強度・信頼性 評価	材料系材料コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません	O
教授	タケヤマ マサオ 竹山 雅夫	鉄鋼材料学, 高温材料の組織設計と強度学, 金属間化合 物の構造と相変態	材料系材料コース 材料系エネルギーコース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません	O
教授	タダ エイジ 多田 英司	腐食防食工学, 表面工学, 金属材料の環境劣化	材料系材料コース	O
教授	ナカムラ ヨシオ 中村 吉男	回折結晶学, 結晶評価, 材料物性	材料系材料コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません	O
教授	フジトシユキ 藤居 俊之	鉄鋼材料および非鉄金属材料の組織評価と力学特性解析	材料系材料コース	O
教授	ホソダ ヒデキ 細田 秀樹	原子レベルの材料設計による材料開発(形状記憶合金, 磁 性デバイス, 水素吸蔵合金, 生体材料, 環境・エネルギー材 料等)	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース 材料系エネルギーコース	S
准教授	カワムラ ケンイチ 河村 憲一	固体イオニクス, 高温物理化学	材料系材料コース	O
准教授	ゴウダ ヨシヒロ 合田 義弘	第一原理電子状態理論, 表面・界面・ナノ構造の物性予 測, 磁性	材料系材料コース	S
准教授	コバヤシ イクオ 小林 郁夫	非鉄金属材料学, 生体材料学, 相安定性	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース	O
准教授	コバヤシ サトル 小林 寛	金属組織学, 鉄鋼材料学, 耐熱鋼・合金	材料系材料コース	O
准教授	サンミヤ タクミ 三宮 工	プラズマ材料, 光学・磁気機能性金属ナノ材料, パイ オセンサ材料の創製, 透過型電子顕微鏡手法の開発	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース 材料系エネルギーコース	S
准教授	タハラ マサキ 田原 正樹	機能性金属材料, 無拡散構造相変態, 金属組織学, 医療 用チタン合金	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース	S
准教授	テラダ ヨシヒロ 寺田 芳弘	金属組織制御学, 高温金属強度学, 高強度耐熱合金の開 発	材料系材料コース	S
准教授	ナカダ ノブオ 中田 伸生	鉄鋼材料の組織と力学特性	材料系材料コース	S
准教授	ナカツジ カン 中辻 寛	表面物性, 固体表面およびナノ構造の電子物性	材料系材料コース	S
准教授	ムライシ シンジ 村石 信二	構造材料, 機能性薄膜, 結晶工学	材料系材料コース	O
教授	キムラ ヨシサト 木村 好里	状態図と組織制御に基づく材料設計, 金属間化合物, 熱電 材料, 耐熱合金	材料系エネルギーコース 材料系材料コース	S
教授	シセキ 史 蹟	薄膜工学(物性・構造解析)	材料系エネルギーコース 材料系材料コース	O
教授	スサ マサヒロ 須佐 匡裕	材料物理化学, 材料物性	材料系エネルギーコース 材料系材料コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません	O
准教授	ウエダ ミツシ 上田 光敏	金属材料の高温酸化, 高温物理化学	材料系エネルギーコース 材料系材料コース	O
准教授	ハヤシ ミユキ 林 幸	高温材料物理化学, 高温プロセス工学	材料系エネルギーコース 材料系材料コース	O
教授	ソネ マサト 曾根 正人	医用デバイス用金属材料の設計とその特性評価, ウェアラ ブルデバイス用ハイブリッド材料	材料系ライフエンジニアリングコース 材料系材料コース	S
准教授	チャン ツォーフ マーク CHANG, Tso-Fu Mark	金属電解メッキ, 金属触媒材料, 金属/金属酸化物複合光 触媒, 金属/ポリマーフレキシブル多機能材料	材料系ライフエンジニアリングコース 材料系材料コース	S
教授	コバヤシ ヨシナオ 小林 能直	高温反応熱力学, 金属製精錬, リサイクルプロセス, 原子力 安全金属工学	材料系原子核工学コース 材料系材料コース	O

<B 群>

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考	
教授	オオウチ ユキオ 大内 幸雄	物理化学, イオン液体, コロイド界面化学, 表面科学	材料系材料コース	O
教授	オウギザワトシアキ 扇澤 敏明	ポリマーハイブリッド材料, 有機高分子材料基礎物性	材料系材料コース	O
教授	ハヤカワ テルアキ 早川 晃鏡	高分子合成, 微細加工薄膜材料, 自己組織化ナノ材料	材料系材料コース	O
教授	バツハ マーティン VACHA MARTIN	有機材料光物性, 単一分子分光	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	O
准教授	アサイ シゲオ 浅井 茂雄	有機高分子材料の構造と物性	材料系材料コース	O
准教授	イシカワ ケン 石川 謙	有機材料物性, 分子集合体の光, 電気物性	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	O
准教授	シオヤマサトシ 塩谷 正俊	複合材料, 炭素材料の構造と物性	材料系材料コース	O
准教授	ハヤミズ ユウヘイ 早水 裕平	有機材料物理, バイオ・ナノ界面, ナノ材料	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース	O
准教授	ミチノブ ツヨシ 道信 剛志	高分子合成, 有機半導体, 機能性有機材料	材料系材料コース	O
准教授	サガラ ヨシミツ 相良 剛光	有機超分子, 刺激応答性発光材料, メカノフォア	材料系材料コース	O
教授	モリ タケヒコ 森 健彦	物性物理化学, 有機エレクトロニクス, 有機超伝導	材料系材料コース 材料系エネルギーコース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません	O
教授	マツモト ヒデトシ 松本 英俊	有機高分子界面物性, ナノファイバー・ナノ材料, エネルギー変換・貯蔵	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	O
教授	モリカワ ジュンコ 森川 淳子	高分子成形工学, 有機材料熱物性	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース	O

<C 群>

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考	
教授	アズマ マサキ 東 正樹	磁性・強誘電性・超伝導性・負熱膨張などを示す機能性酸化物の設計・合成・機能発現機構解明と, 環境調和型材料の開発	材料系材料コース	S
教授	イコマトシユキ 生駒 俊之	生体材料, 表面・界面解析, 診断用デバイス	材料系ライフエンジニアリングコース 材料系材料コース	O
教授	オオバ フミヤス 大場 史康	計算科学とマテリアルズインフォマティクスに立脚した新電子材料・エネルギー材料の開拓	材料系材料コース	S
教授	カミヤトシオ 神谷 利夫	半導体新材料, 光電子デバイス(トランジスタ, 太陽電池, 発光素子), 計算材料科学(第一原理計算, デバイスシミュレーション)	材料系材料コース	S
教授	カワジ ヒトシ 川路 均	物性物理化学, 固体化学, 物質における機能性発現機構, 機能性材料設計, 熱測定	材料系材料コース	S
教授	キタモト ヨシタカ 北本 仁孝	ナノ粒子, ナノ構造, ナノバイオデバイスの作製と健康・医療技術への応用	材料系ライフエンジニアリングコース	S
教授	ツルミ タカアキ 鶴見 敬章	誘電体・強誘電体材料, エネルギー貯蔵用キャパシター	材料系材料コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません	O
教授	ナカジマ アキラ 中島 章	表面機能材料, 環境材料, 濡れ制御	材料系材料コース	O
教授	ハラミチカズ 原 亨和	バイオマス変換触媒, 環境低負荷触媒, 太陽エネルギー変換材料, 太陽電池	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	S
教授	ヒラマツ ヒデノリ 平松 秀典	超伝導体の探索, 薄膜成長, 光・電子・磁気物性, デバイス化	材料系材料コース	S
教授	フナクボ ヒロシ 舟窪 浩	環境適応無機機能薄膜(主に強誘電体, 圧電体薄膜), 熱電材料, 振動発電材料, 薄膜燃料電池, ナノ構造薄膜の創生とそのダイナミクス	材料系材料コース	S
教授	マジマ ユタカ 真島 豊	極限ナノ材料造形と機能化, ナノスケール無電解めっき, 分子トランジスタ, 単電子トランジスタ, 走査型プローブ顕微鏡	材料系材料コース	S
教授	マツシタ ノブヒロ 松下 伸広	環境/エネルギー/バイオ/エレクトロニクス応用のための新規材料プロセス開拓(透明導電膜, 燃料電池, インプラント, バイオセンサ, ノイズ抑制体)	材料系材料コース	O
教授	ミヤウチ マサヒロ 宮内 雅浩	光触媒, 人工光合成, エネルギー製造, 温室効果ガスの変換触媒, 水素キャリア, 無機溶液合成	材料系エネルギーコース 材料系材料コース	O
教授	ヤノ テツジ 矢野 哲司	ガラス科学・工学, イオン交換超強化ガラス, 光波制御メカニカルガラスデバイス, 省エネルギー・環境低負荷ガラスおよびプロセス	材料系材料コース	O

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考	
教授	ヨシモト マモル 吉本 護	薄膜太陽電池・熱発電用の基幹材料、ポリマーのナノ表面機能化とバイオ・電子応用、紫外発光材料開発	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	S
准教授	アズマ ヤスオ 東 康男	微細構造作製、電気物性測定	材料系材料コース	S
准教授	イソベ トシヒロ 磯部 敏宏	環境調和型セラミックス、多孔質セラミックス、分離膜、負熱膨張性物質	材料系材料コース	O
准教授	カタセ タカヨシ 片瀬 貴義	薄膜機能材料・デバイス(半導体・超伝導・熱電変換・イオン伝導体)	材料系材料コース	S
准教授	カマタ ケイゴ 鎌田 慶吾	高機能固体触媒の設計・合成、環境調和型な実用的化学変換プロセスの創出	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	S
准教授	キタノ マサアキ 北野 政明	希少元素を用いない触媒材料の開発、アンモニア合成触媒、固体酸塩基触媒	材料系材料コース	S
准教授	クマガイ ユウ 熊谷 悠	半導体材料を対象とした第一原理計算手法の開発とその応用、計算材料データベースの開発	材料系材料コース	S
准教授	ササガワ タカオ 笹川 崇男	精密試料合成/単結晶・先端量子計測・第一原理計算による超機能の探索・理解・応用(高温超伝導、スピントロニクス、ナノダイヤなど)	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	S
准教授	ツゲ タケハル 柘植 丈治	微生物産生ポリエステル、生分解性プラスチックなどの新しいバイオ高分子材料の創製	材料系材料コース 材料系ライフエンジニアリングコース	S
准教授	ナカムラ カズタカ 中村 一隆	レーザー分光、量子光物性、超高速現象、コヒーレント制御、量子情報技術、新奇光機能開拓	材料系材料コース	S
准教授	ハヤシ トモヒロ 林 智広	ナノバイオサイエンス、生体材料、バイオ界面、情報科学を用いた生体材料設計	材料系ライフエンジニアリングコース	S
准教授	ホシナ タクヤ 保科 拓也	誘電体・強誘電体、フォノン解析、テラヘルツ計測、計算・情報科学による材料設計	材料系材料コース	O
准教授	マツイシ サトル 松石 聡	超伝導および電子機能性材料の探索と電子状態解析	材料系材料コース	S
准教授	マツシタ サチコ 松下 祥子	熱エネルギー変換、ナノ構造上の電場増強を用いたセンシング(プラズモン)、ナノファブリケーション(ボトムアップ・トップダウン)	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	O
准教授	ヤスダ コウイチ 安田 公一	セラミックス複合材料の作製と力学的性質の評価	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	O
准教授	ヤマモト タカフミ 山本 隆文	固体化学、機能性無機材料の開拓(磁性、超伝導、光機能、触媒機能など)	材料系材料コース	S
准教授	ヨシダ カツミ 吉田 克己	耐苛酷環境性材料、セラミックス基複合材料、高機能セラミック多孔体、原子力・核融合炉用材料	材料系原子核工学コース 材料系材料コース	O
講師	マツダ アキフミ 松田 晃史	ガラスや結晶材料のナノ・原子スケール合成と、構造・形態・挙動の観察評価による次世代電子・エネルギー材料、デバイス応用の探索	材料系材料コース 材料系エネルギーコース	S
テニユア トラック 助教	ヤマグチ アキラ 山口 晃	無機電極触媒、エネルギー変換、高温電気化学、機械学習	材料系エネルギーコース 材料系材料コース	O
特命教授	ホソノ ヒデオ 細野 秀雄	電子・光機能材料の創出と物質設計(超伝導、透明半導体、蛍光体、触媒など)	材料系材料コース ※特命教授として、博士課程学生のみ指導可能です	S
特任教授	ベネッキ ジョン デビット BANIECKI, JOHN DAVID	酸化物薄膜エレクトロニクス	材料系材料コース ※定年、海外出張、その他の理由のため今回は志望できません	
特任教授	サカタ オサミ 坂田 修身	高輝度シンクロtronX線の活用、原子配列構造や電子構造の評価、ナノスケール材料、エネルギー変換薄膜材料、半導体の結晶性評価	材料系材料コース 物質・材料研究機構 ☆志望教員として願書に加える場合には、出願する前に必ずC群入試委員(教授 川路均, nyushi@ceram.titech.ac.jp)に相談してください	
特任教授	セガワ ヒロヨ 瀬川 浩代	ガラス材料科学、表面機能性制御	材料系材料コース 物質・材料研究機構 ☆志望教員として願書に加える場合には、出願する前に必ずC群入試委員(教授 川路均, nyushi@ceram.titech.ac.jp)に相談してください	
特任 准教授	ダス ヘナ DAS, HENA	理論材料科学、固体物理学	材料系材料コース ※定年、海外出張、その他の理由のため今回は志望できません	
特任 准教授	デブラジ チャンドラ DEBRAJ, CHANDRA	ナノ粒子、ナノポーラス材料、触媒	材料系材料コース ※定年、海外出張、その他の理由のため今回は志望できません	

物質理工学院 応用化学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/cap/>

【履修コース】

応用化学コース, 原子核工学コース, ライフエンジニアリングコース, エネルギーコース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

191名

【志望理由書のテーマ等】

志望する研究室・研究分野に対する志望理由を, 300字以内で記入すること。

【出願にあたっての注意】

- ・志願者は, 出願の前に第1志望の指導教員と予め相談してから出願すること。
- ・指導教員は, 第5志望まで入力してください。
- ・教育上の配慮から, 教員あたりの合格者数が制限される場合があります。
- ・本系を受験することにより, 清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は, 何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

①提出方法について

スコアシートは, 必ず原本を提出して下さい。コピーの提出は, 認めません。

一度提出したスコアシートの差し替えは, 一切認めません。また, スコアシートは返却いたしません。

②提出時期について

スコアシートは, 原則として出願時に提出して下さい。もし, 出願時に提出できない場合は, インターネット出願画面で「出願時に提出せず系の指定する日に提出」を選択し, 封筒に「外部英語テストのスコアシート在中」と朱書きした上, 7月2日(金)12時必着で, 以下の住所の応化系事務室まで, スコアシートを簡易書留で郵送して下さい。

郵送先: 〒152-8550

東京都目黒区大岡山 2-12-1 S1-7 東京工業大学 物質理工学院 応用化学系事務室

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目名: 応用化学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	7月17日(土)	応用化学分野の専門的内容に関する試問。例えば, 学士論文研究や修士課程で行いたい研究等。	試験や試問の際, ジャケットやネクタイ等は着用しなくても構いません。
B日程	筆答試験	8月17日(火)	試験は, 以下の2つの時間枠に分けて行う。それぞれの時間枠において, 有機化学, 無機化学, 物理化学, 化学工学, 高分子科学の選択科目の中から2科目を解答する。詳細は応用化学系の入学案内ホームページ(https://educ.titech.ac.jp/cap/admissions/)を参照のこと。 第I限 13:30~14:40(70分) 第II限 14:55~16:05(70分) 配点: 筆答専門試験 400点, 英語 100点	
	オンライン口頭試問	8月26日(木)	学士論文研究や修士課程で行いたい研究等に関する試問。	

※注 A日程口述試験, B日程筆答試験は, オンライン試験に変更する場合がありますので, 本系のホームページを確認してください。

【口頭試問受験資格者の発表】

8月23日(月)17時頃より、本学ホームページ(新着入試情報 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html)に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

東京工業大学 物質理工学院 応用化学系大学院入試担当, E-mail: ent_admin@cap.mac.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

●は最も関連性が高い研究分野, ○は比較的関連性が高い研究分野を表しています。

△ 今回は材料系での募集は行いません。

▽ 融合理工学系を希望する者は、融合理工学系の案内に従って出願してください。

※ 定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません。

研究分野					指導教員	キャンパス	担当コース及び備考
応用化学	化学工学	高分子科学	境界領域化学	キーワード			
●				無機固体化学, 結晶工学, デバイス工学, コンビナトリアル無機化学	教授 オオトモ アキラ 大友 明	大	応用化学系応用化学コース 材料系材料コース △ 今回は材料系での募集は行いません
●				有機合成化学, 生物有機化学, ケミカルバイオロジー	教授 タナカ カツノリ 田中 克典	大	応用化学系ライフエンジニアリングコース 応用化学系応用化学コース
●				有機合成化学, 不斉合成化学, 有機金属化学	教授 タナカ ケン 田中 健	大	応用化学系応用化学コース
●				生命起源, 地球生命科学, 電極触媒	教授 ナカムラ リュウヘイ 中村 龍平	大	応用化学系応用化学コース
●				固体物理化学, 表面/界面物性, 固体電気化学, 薄膜物性, AI・ロボットを活用したマテリアル研究	教授 ヒトスギ タロウ 一杉 太郎	大	応用化学系応用化学コース 材料系材料コース △ 今回は材料系での募集は行いません
●				有機金属化学, 錯体化学	教授 ムラハシ テツロウ 村橋 哲郎	大	応用化学系応用化学コース
●	○		○	電極触媒化学, 触媒化学, 電解合成, 部分酸化, エネルギー変換	教授 ヤマナカ イチロウ 山中 一郎	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
●				物性有機化学, 有機合成化学, 典型元素化学, ミュオン科学	准教授 イトウ シゲカズ 伊藤 繁和	大	応用化学系応用化学コース
●		○	○	錯体化学, 有機金属化学, 均一系触媒化学	准教授 クワタ シゲキ 桑田 繁樹	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
●				無機固体物理化学, 薄膜物性, マテリアルズインフォマティクス	准教授 シミズ リョウタ 清水 亮太	大	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
●				錯体・有機金属化学	准教授 タカオ トシロウ 高尾 俊郎	大	応用化学系応用化学コース
●			○	有機合成化学, 天然物化学, 糖質化学, ケミカルバイオロジー, 分子イメージング, 放射性医薬品化学, 自動合成	准教授 タナカ ヒロシ 田中 浩士	大	応用化学系応用化学コース
●			○	錯体化学, 溶液化学, 分離化学, アクチノイド化学, イオン液体, 都市鉱山, 核燃料サイクル, 放射性廃棄物処理・処分, 錯体触媒	准教授 タカオ コウイチロウ 鷹尾 康一朗	大	応用化学系原子核工学コース 応用化学系応用化学コース 融合理工学系原子核工学コース ▽ 融合理工学系を希望する者は、融合理工学系の案内に従って出願してください

研究分野					指導教員	キャンパス	担当コース及び備考
応用化学	化学工学	高分子科学	境界領域化学	キーワード			
●	○	○	○	分析化学，放射化学，放射性核種分離，地層処分，機能性ナノ材料，核燃料サイクル	准教授 ツカハラ タケヒコ 塚原 剛彦	大	応用化学系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース 応用化学系応用化学コース ▽ 融合理工学系を希望する者は，融合理工学系の案内に従って出願してください
●	○	○	○	量子化学計算，電気化学，電池	特定教授 タテヤマ ヨシタカ 館山 佳尚	大	応用化学系応用化学コース ※定年，海外出張，その他の理由のため 今回は志望できません。
●	○	○	○	材料化学，マテリアルズインフォマティクス	特定教授 デムラ マサヒコ 出村 雅彦	大	応用化学系応用化学コース ※定年，海外出張，その他の理由のため 今回は志望できません。
	●			エネルギー変換デバイス（燃料電池，太陽電池），エネルギーシステム，電気化学，熱力学，化学工学	教授 イハラ マナブ 伊原 学	大	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○	●	○	○	生物化学工学，ペプチド工学，バイオセンシング，生物工学，生体医工学	教授 オオコウチ ミナ 大河内 美奈	大	応用化学系応用化学コース
○	●		○	エネルギー貯蔵／変換，省エネルギー，ゼロエミッション／炭素循環エネルギーシステム，化学蓄熱，水素エネルギー，原子力エネルギーシステム	教授 カトウ ユキタカ 加藤 之貴	大	応用化学系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース 応用化学系応用化学コース ▽ 融合理工学系を希望する者は，融合理工学系の案内に従って出願してください
	●	○		化学装置材料，エポキシリサイクル，グリーンコンポジット，スマート構造，メンテナンス工学	教授 クボウチ マサトシ 久保内 昌敏	大	応用化学系応用化学コース
○	●	○	○	医薬品・食品・化粧品製剤化，相・界面工学，マイクロフロープロセス，情報・データ技術	教授 シモヤマ ユウスケ 下山 裕介	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
	●			高エネルギー密度場反応，プラズマプロセス，エネルギー・環境化学工学	教授 セキグチ ヒデトシ 関口 秀俊	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○	●		○	反応工学，触媒反応工学，触媒・資源化学プロセス，固体触媒	教授 タゴ テルオキ 多湖 輝興	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
	●			マイクロ移動現象・反応操作，CFD，機械的操作	特任教授 オオカワラ シンイチ 大川原 真一	大	応用化学系応用化学コース
	●			トライボロジー，潤滑油添加剤，界面・表面工学，感性工学	准教授 アオキ サイコ 青木 才子	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
	●			エアロゾル工学，エネルギー変換・貯蔵材料，ナノ構造材料プロセス，微粒子工学，蓄電池（リチウム電池，空気電池，レドックスフロー電池等）	准教授 タニグチ イズミ 谷口 泉	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○	●		○	CO ₂ 回収・再利用，無機材料工学，化学プロセス工学，低炭素エネルギーシステム，原子力エネルギー応用	准教授 ハラダ タクヤ 原田 琢也	大	応用化学系原子核工学コース 応用化学系応用化学コース
	●			プロセスシステム工学，ライフサイクルエンジニアリング	准教授 フチノ テツオ 渇野 哲郎	大	応用化学系応用化学コース
	●			プロセスシステム工学，プロセス強化，プロセス情報処理，再生可能エネルギー	准教授 マツモト ヒデユキ 松本 秀行	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
	●			プラズマ化学，プラズマ反応工学，熱流体工学	准教授 モリ シンスケ 森 伸介	大	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
	●			移動現象論，膜分離操作，混合操作	准教授 ヨシカワ シロウ 吉川 史郎	大	応用化学系応用化学コース

研究分野					指導教員	キャンパス	担当コース及び備考
応用化学	化学工学	高分子科学	境界領域化学	キーワード			
		●		機能性高分子の構造と物性, 高分子固体の分光学, 高分子計算化学	教授 アンドウ シンジ 安藤 慎治	大	応用化学系応用化学コース
		●		新規高分子の精密合成, 水溶性・温度応答性高分子, 有機合成	教授 イシゾネ タカシ 石曾根 隆	大	応用化学系応用化学コース
		●		高分子反応, 機能性高分子材料設計, 高分子合成	教授 オオツカ ヒデユキ 大塚 英幸	大	応用化学系応用化学コース
		●		高分子合成, 精密重合, 植物由来モノマーの重合	教授 サトウ コウタロウ 佐藤 浩太郎	大	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
		●	○	生体高分子化学, 分子組織化学, 表面・界面化学, バイオマテリアル	教授 セリザワ タケシ 芹澤 武	大	応用化学系応用化学コース
		●	○	高分子の構造・ダイナミクス・物性・高次構造制御, 液晶	教授 トキタ マサトシ 戸木田 雅利	大	応用化学系応用化学コース
		●		高分子物性, 高分子物理, 高分子ナノテクノロジー	教授 ナカジマ ケン 中嶋 健	大	応用化学系応用化学コース
		●		高分子構造解析, 薄膜, 放射光X線, 振動分光法, 液晶	准教授 イシゲ リョウヘイ 石毛亮平	大	応用化学系応用化学コース
○		●		高分子合成(機能性高分子), 光化学, バイオイメーシング	准教授 コニシ ゲンイチ 小西 玄一	大	応用化学系応用化学コース
		●		高分子合成(複合材料), 高分子反応, エネルギー材料設計	准教授 サイトウ レイコ 斎藤 礼子	大	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
		●		高分子の構造と物性, 高分子シミュレーション	准教授 フルヤ ヒデミネ 古屋 秀峰	大	応用化学系応用化学コース
○		●		有機金属化学, 錯体化学, 有機光触媒化学, ナノエレクトロニクス	教授 アキタ ムネタカ 稚田 宗隆	す	応用化学系応用化学コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません。
○	○	●		電気化学, 無機化学, 水系二次電池, 空気電池, 酸素還元・発生, 金属溶解析出, その場解析技術	教授 アライ ハジメ 荒井 創	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○	○	●		固体化学, 固体電気化学, 固体電池, エネルギー変換材料の創製・物質設計, リチウム電池, 燃料電池	特命教授 カンノ リョウジ 菅野 了次	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません。
○	○	○	●	高分子物理化学, 液晶, 光機能, 力学機能	教授 シシド アツシ 宍戸 厚	す	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○	○	○	●	高分子合成(精密重合手法の開拓, 高分子反応, 元素ブロック高分子, 電子機能性π共役高分子)	教授 トミタ イクヨシ 富田 育義	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○	○	○	●	自己組織化, ナノテクノロジー, ナノフォトニクス, 走査型プローブ顕微鏡, 化学進化と生命の起源, 地球生命研究所(大岡山)	教授 ハラ マサヒコ 原 正彦	す	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース ※定年, 海外出張, その他の理由のため 今回は志望できません。
○	○	●		無機固体化学, 二次電池, 電気/化学エネルギー変換, ナノ界面設計	教授 ヒラヤマ マサアキ 平山 雅章	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○	○	○	●	有機機能物質化学, 有機合成化学, 超分子化学, ソフトマテリアル(高分子, 液晶, ゲル, 分子集合体), 機能性有機薄膜, ナノカーボン	教授 フクシマ タカノリ 福島 孝典	す	応用化学系応用化学コース

研究分野					指導教員	キャンパス	担当コース及び備考
応用化学	化学工学	高分子科学	境界領域化学	キーワード			
○	○	○	●	水素・燃料電池材料工学，バイオインスパイアード材料，膜工学，電気化学触媒	教授 ヤマグチ タケオ 山口 猛央	す	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○		○	●	高分子錯体化学，超分子ナノサイエンス，無機有機精密ハイブリッド材料	教授 ヤマモト キミヒサ 山元 公寿	す	応用化学系応用化学コース
○		○	●	超分子化学，合成化学，ナノ空間，水，光機能，バイオセンサー	教授 ヨシザワ ミチト 吉沢 道人	す	応用化学系応用化学コース
○	○	○	●	有機電気化学，機能性高分子(レドックス活性高分子，導電性高分子，含フッ素高分子)，電極触媒	准教授 イナギ シンスケ 稲木 信介	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○		○	●	クラスター化学，電子移動化学，無機有機精密ハイブリッド材料	准教授 イマオカ タカネ 今岡 享稔	す	応用化学系応用化学コース
○	○		●	物理化学(電気化学，「その場」分光測定法)，希土類元素等を用いた機能性電極の創製，燃料電池	准教授 キタムラ フサオ 北村 房男	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○	○	○	●	高分子科学，微粒子，ハイブリッド材料，光，液晶	准教授 クボ ショウイチ 久保 祥一	す	応用化学系応用化学コース 材料系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○		○	●	有機化学，有機典型元素化学，超分子化学，高分子化学	准教授 ショウジ ヨシアキ 庄子 良晃	す	応用化学系エネルギーコース
○	○	○	●	エネルギー材料工学，生体材料工学，生物電気化学	准教授 タマキ タカノリ 田巻 孝敬	す	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○	○	○	●	環境地球化学，環境物質循環解析，微量成分の分析化学	准教授 トヨダ サカエ 豊田 栄	す	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○			●	触媒化学，固体表面反応，赤外分光法，規則性ナノポーラス材料	准教授 ノムラ ジュンコ 野村 淳子	す	応用化学系応用化学コース ※定年，海外出張，その他の理由のため 今回は志望できません。
○	○		●	再生可能エネルギー，触媒化学，酵素化学，超分子化学	准教授 マナカ ユウイチ 眞中 雄一	す	応用化学系ライフエンジニアリングコース 応用化学系応用化学コース ※定年，海外出張，その他の理由のため 今回は志望できません。
○	○	○	●	有機地球化学，地球環境化学	准教授 ヤマダ ケイタ 山田 桂太	す	応用化学系応用化学コース 応用化学系エネルギーコース
○			●	ナノ空間触媒，ゼオライト，触媒反応化学，グリーンケミストリー，資源化学	准教授 ヨコイ トシユキ 横井 俊之	す	応用化学系応用化学コース
○	○		●	ナノ材料の構造制御，太陽電池，燃料電池，リチウムイオン電池	准教授 ワキ ケイコ 脇 慶子	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○	○	○	●	光学材料，無機/有機ナノ粒子，レーザー，電池，バイオ	准教授 ワダ ヒロユキ 和田 裕之	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系ライフエンジニアリングコース 応用化学系応用化学コース
○		○	●	超分子化学，合成化学，高分子合成，高分子構造制御，ソフトマテリアル	准教授 ナカゾノ カズコ 中 蘭 和子	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース
○			●	固体化学，エネルギー変換材料，新規蓄電池開発，機械学習による材料探索	准教授 スズキ コウタ 鈴木 耕太	す	応用化学系エネルギーコース 応用化学系応用化学コース

情報理工学院

情報理工学院 数理・計算科学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/is/>

【履修コース】

数理・計算科学コース, 知能情報コース

【取得できる学位】

修士(理学又は学術)

【受入可能予定人数】

51名

【志望理由のテーマ等】

志望研究室・研究分野など志望理由を 1,000 字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

出願に際しては、事前に第1志望の指導教員に必ず連絡すること。

すべての志望指導教員枠を埋める必要はありません。ただし、入力していない教員の研究室へは配属の可能性はありませんので、配属されても良いと思える研究室はなるべく入力してください。枠が足りない場合はインターネット出願サイトの「系・課程の指定する入力項目」に教員名をカンマ区切りで入力してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、希望指導教員の枠が足りない場合以外は入力不要です。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。ただし、今後の新型コロナウイルス感染状況に応じて変更の可能性あります。随時本系のホームページを確認してください。なお、一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。提出したスコアシートの返却はできません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目: 数理・計算科学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験	実施しません。		
B 日程	筆答試験	8月17日(火) 9:00～12:30	数学, 計算機科学に関する複数の問題から数問を選択(過去の問題を参考にしてください)。 配点: 筆答専門試験: 100点, 英語: 20点	
	口頭試問 (オンライン)	8月19日(木)～ 8月20日(金)	数学, 計算機科学等に関する口頭試問。	口頭試問受験資格者にのみ オンラインで口頭試問を実施 します。

【口頭試問受験資格者の発表】

8月18日(水)に受験者全員宛のメールでお知らせします。同時に口頭試問スケジュールならびに接続方法も連絡します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

MAIL: is-nyushi@c.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	イトウ トシヤ 伊東 利哉	理論計算機科学, アルゴリズムの設計と解析	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ウメハラ マサアキ 梅原 雅顕	微分幾何学, 平均曲率一定曲面, 特異点をもつ曲線・曲面, 超曲面の幾何学	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数学系数学コース
教授	エンドウ トシオ 遠藤 敏夫	高性能計算, 並列ソフトウェア	数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	カシマ リョウ 鹿島 亮	数理論理学, 非古典論理	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	カナモリ タカフミ 金森 敬文	数理統計, 機械学習	数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	シュドウ カズユキ 首藤 一幸	ソフトウェア, 大規模分散システム, インターネット	数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	スズキ サキエ 鈴木 咲衣	量子トポロジー, 結び目理論	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数学系数学コース
講師	スミタ ハンナ 澄田 範奈	組合せ最適化, 離散構造, アルゴリズム	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	タカヤス ミサコ 高安 美佐子	経済物理学, 複雑ネットワーク, 統計物理学, ビッグデータサイエンス	数理・計算科学系知能情報コース 数理・計算科学系数理・計算科学コース システム制御系システム制御コース 情報工学系知能情報コース
教授	タナカ ケイスケ 田中 圭介	暗号理論, 暗号通貨・ブロックチェーン技術, サイバーセキュリティ	数理・計算科学系数理・計算科学コース
講師	ツチオカ シュンスケ 土岡 俊介	量子代数, 表現論	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数学系数学コース
准教授	ナカノ ユミハル 中野 張	確率微分方程式, 確率制御	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ニシバタ シンヤ 西畑 伸也	偏微分方程式論, 非線形双曲型保存則, 流体の方程式	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数学系数学コース
教授	マスハラ ヒデヒコ 増原 英彦	プログラミング言語, ソフトウェア開発環境	数理・計算科学系数理・計算科学コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ミウラ ヒデユキ 三浦 英之	非線形偏微分方程式	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数学系数学コース
教授	ミナミデ ヤスヒコ 南出 靖彦	ソフトウェア検証, プログラミング言語, 形式言語理論	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ミヨシ ナオト 三好 直人	応用確率論, 確率モデル, 点過程理論, 待ち行列理論	数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	ムロフシ トシアキ 室伏 俊明	非加法的測度論, 集合関数論, 区分線形関数論, 情報視覚化, 形式概念分析	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数理・計算科学系知能情報コース 情報工学系知能情報コース
助教	モリ リュウヘイ 森 立平	量子情報, 情報理論, 統計力学	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ヤマシタ マコト 山下 真	数理最適化, 連続最適化, 数値最適化手法	数理・計算科学系数理・計算科学コース
准教授	ワキタ ケン 脇田 建	大規模社会ネットワーク解析, 情報可視化, プログラミング言語	数理・計算科学系数理・計算科学コース
教授	ワタナベ スミオ 渡邊 澄夫	確率論, 数理統計, 学習理論	数理・計算科学系数理・計算科学コース
特定教授	スガヤ ミツヨシ 菅谷 光啓	サイバーセキュリティ, ネットワークセキュリティ	数理・計算科学系数理・計算科学コース NRI セキュアテクノロジーズ △副指導教員としてのみ志望可能です。志望する場合, 志望研究室は「田中圭介・菅谷光啓」と記入すること

情報理工学院 情報工学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/cs/>

【履修コース】

情報工学コース, 知能情報コース, ライフエンジニアリングコース(ただしライフエンジニアリングコースは、このコースを担当する教員の研究室に配属された場合に限る)

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

97名

【志望理由書のテーマ等】

以下の項目を含む志望理由書を日本語(1500字程度)または英語(500ワード程度)で記述すること。

- 1) 学部4年次の学士論文研究(またはこれに相当する研究等)の概要
- 2) 第1志望の研究室や研究分野を選択した理由
- 3) 入学後の研究計画, 及び修士課程修了までに達成したいこと
- 4) 修士課程修了後の将来の希望, 計画

【出願にあたっての注意】

志望指導教員を第10志望まで入力すること。難しい場合には必ずしも全ての枠を埋める必要はない。

出願書類の「学部の成績証明書」は、できるだけ GPA (Grade Point Average) が記載されているものを提出すること。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出して下さい。出願受付締切後の提出は一切認めません。

一度提出したスコアシートの差し替えも一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目名: 情報工学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	7月16日(金) または19日(月)	卒業研究, 志望する研究分野や入学後の研究テーマ, さらに専門的知識等についての試問を行ないます。学部成績等の出願書類および口述試験の結果を総合的に評価し可否を判定します。	・分野によらず学部成績等の優秀な志願者を口述試験の対象とします。 ・A日程試験が不合格となった場合はB日程試験を受験して下さい。
	書類選考	—	出願書類を元に評価し, 筆答試験受験資格者の選抜を行います。	
B日程	筆答試験	8月17日(火) 9:30~12:30	英語 ・筆答試験は実施せずに, 本学の指定する外部英語テストのスコアをもって評価します。 筆答専門試験科目: 情報工学系 ・下記より4問出題します。(180分) 必須問題(以下のA群, B群, C群から各1問出題) A) 微積分学, 線形代数学, 確率統計 B) 数理論理学, オートマトンと形式言語 C) データ構造とアルゴリズム, プログラミング言語 選択問題(以下のD群, E群の2問から1問選択) D) 論理回路理論, コンピュータアーキテクチャ E) フーリエ変換, ラプラス変換, 制御システム 配点: 筆答専門試験: 800点, 英語: 100点	・筆答専門試験は日本語で解答すること。
	口頭試問	8月20日(金) または21日(土)	筆答専門試験成績, 英語成績(外部英語テスト)および口頭試問の結果を総合的に評価し可否を判定します。判定に際して口述試験の結果は考慮しません。	・筆答専門試験成績および英語成績(外部英語テスト)の上位者を口頭試問の対象とします。

【筆答試験受験資格者の発表】

筆答試験受験資格者は, 8月10日(火)12時頃より, 情報工学系ホームページ(<https://educ.titech.ac.jp/cs/>)に掲載します。

【口頭試問受験資格者の発表】

8月19日(木)12時頃より, 情報工学系ホームページ(<https://educ.titech.ac.jp/cs/>)に掲載します。

【過去の筆答試験問題の公表】

本学ホームページ(過去問題 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html)で公表します。

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

まず大学院入試 FAQ (https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/faq.html)を調べて下さい。それでもわからない場合は、出願書類や出願資格についての質問は学務部入試課に問い合わせして下さい。学務部入試課の問い合わせ先はこの募集要項の最後のページに記載されています。それ以外の情報工学系についての質問は情報工学系入試担当 (cs-nyushi@c.titech.ac.jp) に問い合わせして下さい。

【指導教員及びその研究分野一覧】

	教員氏名	研究分野	担当コース及び備考
教授	キセ ケンジ 吉瀬 謙二	コンピュータアーキテクチャ, プロセッサアーキテクチャ, 組み込みシステム, IoT, FPGA	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	コイケ ヒデキ 小池 英樹	ヒューマン・コンピュータ・インタラクション, コンピュータビジョンとその応用, デジタル・スポーツ, 人間拡張, 情報視覚化, セキュリティとユーザビリティ	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	ゴンドウ カツヒコ 権藤 克彦	ソフトウェア工学, ソフトウェア開発環境, プログラミング言語	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	デファゴ クサヴィエ DEFAGO XAVIER	分散アルゴリズム, 高信頼性, ミドルウェア, 自律分散ロボット群, 耐侵入性, 協調プロトコル	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	ニシザキ シンヤ 西崎 真也	プログラミング言語意味論, 関数型言語, ソフトウェア検証	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	ミヤザキ ジュン 宮崎 純	データ指向高性能コンピューティング, クラウドコンピューティング, 大規模情報管理	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	ワタナベ タクオ 渡部 卓雄	プログラミング言語, サイバーフィジカルシステム, 自己反映計算とメタプログラミング, 形式手法	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
准教授	カネコ ハルヒコ 金子 晴彦	統合符号化(データ圧縮, 暗号化, 誤り制御符号化), ディペンダブルシステム, 高信頼ストレージシステム	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
准教授	コバヤシ タカシ 小林 隆志	ソフトウェア工学, デバッグ支援・バグ防止, プログラム理解, 開発支援ツール, DevOps, ソフトウェア設計	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
准教授	ハヤシ シンペイ 林 晋平	ソフトウェア工学, ソフトウェア進化, ソフトウェア開発環境, プログラム変換, リポジトリマイニング	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
准教授	ヨコタ リオ 横田 理央	高性能計算, 大規模並列処理, 分散並列深層学習, 画像処理, 大規模行列演算, N体アルゴリズム	情報工学系情報工学コース 情報工学系知能情報コース
教授	アキヤマ ユタカ 秋山 泰	バイオインフォマティクス, 創薬支援コンピューティング, 大規模並列処理応用, 機械学習応用	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
教授	イシイ ヒデアキ 石井 秀明	システム制御, ネットワーク化制御, マルチエージェント系の分散制御, 制御系のサイバーセキュリティ	情報工学系ライフエンジニアリングコース 情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース システム制御系システム制御コース
教授	オカザキ ナオアキ 岡崎 直観	自然言語処理(構造解析, 意味解析, 意見分析, 自動要約など), 機械学習(表現学習や深層学習など), ソーシャルメディア分析	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
教授	シノダ コウイチ 篠田 浩一	音声・画像・映像の認識・理解, ヒューマン・コンピュータインタラクション, 統計的パターン処理	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
教授	トクナガ タケノブ 徳永 健伸	計算言語学, 自然言語処理, 知的情報アクセス	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
教授	ミヤケ ヨシヒロ 三宅 美博	共創システム(Co-creation System), コミュニケーション科学, 認知神経科学, 自己組織システム, ヒューマンインタフェース(HCIおよびVR/MRを含む), ヒューマンビッグデータ解析	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース 情報工学系ライフエンジニアリングコース システム制御系システム制御コース
教授	ムラタ ツヨシ 村田 剛志	人工知能, ネットワーク科学, 機械学習, 社会ネットワーク分析, Webマイニング	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
教授	ヤマムラ マサユキ 山村 雅幸	機械学習, 進化計算, DNAコンピューティング, システム生物学, 合成生物学, 循環共生圏農工業	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース 情報工学系ライフエンジニアリングコース システム制御系システム制御コース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	アオニシ トオル 青西 亨	非平衡統計力学, 非線型動力学, 生物物理学, 計算論的神経科学	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース システム制御系システム制御コース

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考
准教授	イシダ タカシ 石田 貴士	データマイニング, バイオインフォマティクス, 大規模データ解析, 機械学習	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
准教授	オノ イサオ 小野 功	進化計算, 最適化, 人工知能	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース 情報工学系ライフエンジニアリングコース システム制御系システム制御コース
准教授	オノ シュンスケ 小野 峻佑	信号処理, 画像処理, 数理最適化, データ科学・AI	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
准教授	カネザキ アサコ 金崎 朝子	機械学習, ロボティクス, パターン認識, コンピュータビジョン, 3D物体認識	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
准教授	サイトウ スグル 齋藤 豪	コンピュータグラフィクス, 画像処理, 色彩工学, 描画分析, 描画ソフトウェア	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
准教授	シモサカ マサミチ 下坂 正倫	ユビキタスコンピューティング, パターン認識, 機械学習, IoT, ビッグデータ	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
准教授	セキジマ マサカズ 関嶋 政和	創薬インフォマティクス, マテリアルズインフォマティクス, 機械学習, 分子シミュレーション	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
准教授	タキノウエ マサヒロ 瀧ノ上 正浩	分子ロボティクス, DNAコンピュータ, DNAナノテク, 人工細胞工学, 合成生物学, 生物物理学, ウェット実験	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース システム制御系システム制御コース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	フジイ アツシ 藤井 敦	自然言語処理, 情報検索, Webマイニング	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース ※定年, 海外出張, その他の理由のため今回は志望できません。
准教授	ムロフシ トシアキ 室伏 俊明	非加法的測度論, 集合関数論, 区分線形関数論, 情報視覚化, 形式概念分析	数理・計算科学系数理・計算科学コース 数理・計算科学系知能情報コース 情報工学系知能情報コース
テニュート ラック助教	イノウエ ナカマサ 井上 中順	人工知能, マルチメディア情報処理, 映像・画像・音声, 深層学習	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
テニュート ラック助教	オオウエ マサヒト 大上 雅史	バイオインフォマティクス, 機械学習, 創薬インフォマティクス, 大規模並列処理, 生物物理学	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース
特任 准教授	カワカミ レイ 川上 玲	コンピュータビジョン, 画像処理, マルチメディア, AR/VR/XR, 異常検知	情報工学系知能情報コース デンソーアイティラボラトリ(株) △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「川上玲(副)・篠田浩一(主)」と記入すること。
特任 准教授	サトウ イクロウ 佐藤 育郎	パターン認識, 機械学習, 画像センシング, 自動運転	情報工学系知能情報コース デンソーアイティラボラトリ(株) △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「佐藤育郎(副)・横田理央(主)」と記入すること。
特定教授	イノウエ カツミ 井上 克巳	人工知能とプログラミングの融合: 論理プログラミング, 制約プログラミング, 帰納プログラミング, 微分可能プログラミング	情報工学系知能情報コース 情報工学系情報工学コース 国立情報学研究所 △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「井上 克巳(副)・渡部 卓雄(主)」と記入すること。
特定教授	シバタ タカノリ 柴田 崇徳	インテリジェンス, インタラクション, 身体性, 神経学的セラピー, 脳機能, 認知科学	情報工学系知能情報コース 産業技術総合研究所 △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「柴田 崇徳(副)・三宅 美博(主)」と記入すること。
特定教授	モトムラ ヨウイチ 本村 陽一	確率モデリング, 人間行動予測, 生活支援技術, サービス工学, アクションリサーチ, ベイジアンネットワーク	情報工学系知能情報コース 産業技術総合研究所 △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「本村 陽一(副)・篠田 浩一(主)」と記入すること。
特定教授	ヤノ カズオ 矢野 和男	ビッグデータ解析, スマートシティ, ライフログ分析, 統計物理/数理, 知能増幅, 社会行動分析	情報工学系知能情報コース 日立製作所(株) △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「矢野 和男(副)・三宅 美博(主)」と記入すること。
特定教授	ヤマダ セイジ 山田 誠二	ヒューマンエージェントインタラクション, 知的インタラクティブシステム	情報工学系知能情報コース 国立情報学研究所 △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「山田 誠二(副)・徳永 健伸(主)」と記入すること。
特定教授	ヨシカワ アツシ 吉川 厚	ナレッジ・マネジメント, 認知科学, ゲーム情報学, 教育工学	情報工学系知能情報コース 教育測定研究所(株) △副指導教員となります。志望する場合, 志望教員は「吉川 厚(副)・山村 雅幸(主)」と記入すること。

生 命 理 工 学 院

生命理工学院 生命理工学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/bio/>

【履修コース】

生命理工学コース、ライフエンジニアリングコース、地球生命コース

新設の「地球生命コース」の詳細は、http://education.elsi.titech.ac.jp/admission2022_jp.pdf を参照ください。

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

184 名

【志望理由書のテーマ等】

現在進めている研究あるいは興味を持っている問題について 1,000 字程度でわかりやすく記述すること。

【出願にあたっての注意】

- ・出願に際しては、事前に第1志望の指導教員に必ず連絡すること。
- ・志望指導教員は第5志望まで入力してください。必ずしも全ての枠を埋める必要はありません。
- ・教育上の配慮から教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、最終的な可否及び指導教員の決定にあたっては、口述試験、または、筆答試験成績と口頭試問により総合的に判断します。
- ・本系を受験することにより、清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。

一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目: 生命理工学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験	7月20日(火)	専門的知識、英語力、学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問	【外部英語テストのスコアシートの取扱い】 参照
B 日程	筆答試験	8月17日(火) 9:30~12:00	専門科目: 生化学2題、生物学2題、有機化学2題、 物理化学2題の合計8題中4題選択し解答する。 配点: 専門科目: 400 点満点(1 題につき 100 点満点) 英語(外部英語テスト): 100 点満点	【外部英語テストのスコアシートの取扱い】 参照
	口頭試問	8月26日(木)	専門的知識、学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問	

【B 日程口頭試問について】

8/23(月)までに、B 日程口頭試問受験資格者を生命理工学系ホームページで公開します。

口頭試問当日の9:00までに、本学すずかけ台キャンパス B2棟2階223講義室に集合してください。

【過去の筆答試験問題の公表】

筆答専門科目のみホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

東京工業大学生命理工学院事務グループ(TEL: 045-924-5944) E-mail: bio.adm@jim.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	イシイ ヨシタカ 石井 佳誉	アミロイドタンパク質の機能、構造生物学、アルツハイマー病のメカニズム、先端NMR法の開発、生物物理化学、ナノ炭素材料	生命理工学系生命理工学コース
教授	イチノセ ヒロシ 一瀬 宏	分子神経生物学(モノアミンニューロンの分化・発達・老化の分子機構および病態との関連)	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	イトウ タケヒコ 伊藤 武彦	ゲノム情報学(主に高等真核生物を対象としたゲノム情報学)、バイオインフォマティクス(ゲノムからの遺伝子予測などの知識発見)	生命理工学系生命理工学コース
教授	イワサキ ヒロシ 岩崎 博史	分子遺伝学・分子生物学(ゲノム情報の安定維持に関わる分子メカニズム、特に相同組換えやDNA修復の分子機構)	生命理工学系生命理工学コース
教授	ウエノ タカフミ 上野 隆史	人工酵素の設計・合成・応用、タンパク質工学、生物無機化学、ケミカルバイオロジー、バイオマテリアル	生命理工学系生命理工学コース
教授	ウラベ ヒロカズ 占部 弘和	医薬、薬剤、及び生物活性物質の合成と方法論、有機化学、不斉合成、触媒反応、環境保全型合成	生命理工学系生命理工学コース ※定年のため今回は志望できません
教授	オオタ ヒロユキ 太田 啓之	植物生理学・植物生化学・植物分子生物学(葉緑体の形成、機能、進化、植物・藻類のゲノム情報を駆使したホルモン情報伝達機構解明、油脂生産制御)	生命理工学系生命理工学コース ※定年のため今回は志望できません
教授	オサカベ ユリコ 刑部 祐里子	植物分子生物学、環境応答生理学、遺伝子工学、ゲノム編集(植物の環境ストレス応答の分子機構解明とゲノム編集を中心とした遺伝子工学)	生命理工学系生命理工学コース
教授	カマチ トシアキ 蒲池 利章	生物無機化学、生物工学、金属タンパク質を利用した有用物質生産、細胞内酸素濃度イメージング	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	キタオ アキオ 北尾 彰朗	タンパク質とその集合体の機能シミュレーション、生体分子離合集散のダイナミクスとその制御、計算生物学、生物物理学、理論化学	生命理工学系生命理工学コース
教授	キムラ ヒロシ 木村 宏	エピジェネティクス・細胞生物学(クロマチン修飾と遺伝子発現制御、染色体・細胞核の機能と構造)	生命理工学系生命理工学コース
教授	キンバラ カズシ 金原 数	超分子化学、生物模倣、ケミカルバイオロジー、タンパク質複合材料、機能物質化学	生命理工学系生命理工学コース
教授	クメ ショウエン 桑 昭苑	再生医学、創薬、幹細胞生物学、発生生物学、分子生物学、代謝制御、アミノ酸代謝、ヒトiPS細胞、試験管内再構成、細胞工学	生命理工学系生命理工学コース
教授	コバタケ エイリ 小畠 英理	超生物機能タンパク質材料の創製、細胞機能制御タンパク質、組織再生医工学、バイオセンシングシステム、タンパク質ナノ構造体設計	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	コマダ マサユキ 駒田 雅之	細胞生物学・疾患分子生物学(タンパク質ユビキチン化による細胞増殖の制御とその破綻による腫瘍形成の分子機構)	生命理工学系生命理工学コース
教授	タグチ ヒデキ 田口 英樹	生化学、分子生物学、タンパク質の作用機構(分子シャペロン、アミロイド/プリオン、リボソームなど翻訳)、細胞内タンパク質科学	生命理工学系生命理工学コース
教授	タナカ ミキコ 田中 幹子	発生生物学(脊椎動物のボディプランとその進化及び制御機構)	生命理工学系生命理工学コース
教授	トクナガ マキオ 徳永 万喜洋	分子イメージング、細胞分子生物・生物物理学、細胞を観る・計る・知る、超解像・1分子・シークエンス顕微鏡、遺伝情報発現機構	生命理工学系生命理工学コース
教授	フクイトシアキ 福居 俊昭	遺伝子工学、ゲノム工学、代謝工学、応用微生物学、極限環境微生物、超好熱菌の特性と高温環境適応、環境低負荷型素材の微生物生産	生命理工学系生命理工学コース
教授	ホンゴウ ユウイチ 本郷 裕一	分子生態・進化学、環境微生物学、(細胞内・組織内・腸内等の)共生微生物の生物学、1細胞オミックス解析、メタゲノミクス	生命理工学系生命理工学コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	マルヤマ アツシ 丸山 厚	生体機能性材料, 生体分子工学, ナノバイオテクノロジー, 薬物・遺伝子デリバリーシステム, 細胞工学材料, 自立応答性高分子, バイオセンシング, ナノバイオサイエンス	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	ミハラ ヒサカズ 三原 久和	生物有機化学, ペプチド化学, ペプチド工学, 人工タンパク質, ペプチドライブラリ, フェージ提示ペプチド, バイオチップ	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	ムラカミ サトシ 村上 聡	蛋白質結晶学, 構造生物学(膜輸送体の構造と機能, 膜タンパク質の結晶化と構造解析および構造に基づく機能解析)	生命理工学系生命理工学コース
教授	ヤマグチ ユウキ 山口 雄輝	生化学, 遺伝学, 分子生物学(ゲノム情報発現機構, RNA代謝, エピジェネティクス)	生命理工学系生命理工学コース
教授	ユアサ ヒデア 湯浅 英哉	生物有機化学, 発光イメージングとセンサー, 光増感剤, 光線力学治療, 糖を用いた分子デバイス	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	ワチ マサアキ 和地 正明	応用微生物学, 細菌の細胞分裂機構の研究, 新規抗生物質の探索, コリネ型細菌を使った物質生産	生命理工学系生命理工学コース
准教授	アイザワ ヤスノリ 相澤 康則	ゲノム科学と, それに基づくバイオ産業技術の開発(特に, 遺伝子・ゲノムの設計と合成)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	オオクボ アキヒロ 大窪 章寛	生物有機化学(転写およびスプライシング過程を制御・観察する新規薬剤やイメージング分子の開発)	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
准教授	オサダトシヤ 長田 俊哉	バイオナノサイエンス(細胞生物学, 匂いやフェロモンの化学受容, 神経細胞の発生と再生)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	カノウ アキラ 加藤 明	分子生理学(輸送体の多様な機能と生体膜の選択的透過性), 動物生理学(腎臓・腸の上皮輸送を担う分子機構), 比較ゲノム解析	生命理工学系生命理工学コース
准教授	カノウ フミ 加納 ふみ	分子細胞生物学, 細胞編集工学(リシール細胞), イメージング・画像解析(ヒトiPS細胞を用いた神経変性疾患などの病態発現機序解明)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	カワカミ アツシ 川上 厚志	再生生物学(組織再生, 恒常性のメカニズム), ゼブラフィッシュ, トランスジェニック, 幹細胞, 細胞系譜, シグナル, 炎症	生命理工学系生命理工学コース
准教授	シモジマ ミエ 下嶋 美恵	植物分子生物学・植物生化学(環境ストレスに応答した植物脂質転換メカニズムの解明, 植物油脂生産)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	シラキ ノブアキ 白木 伸明	ES/iPS細胞分化, レギュラトリーサイエンス, 代謝制御, アミノ酸代謝	生命理工学系生命理工学コース
准教授	スズキ タカシ 鈴木 崇之	神経生物学・発生生物学(神経回路網形成とシナプス結合特異性の分子メカニズムの解明)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	セイオ コウジ 清尾 康志	生物有機化学(DNA合成技術の開発, ゲノム診断技術の開発, 核酸の分子認識)	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
准教授	タガワ ヨウイチ 田川 陽一	臓器発生, 再生工学, 発生工学	生命理工学系生命理工学コース
准教授	タチバナ カズノリ 立花 和則	動物学, 分子生物学(幹細胞からの卵形成, 生殖関連の時間生物学, 睡眠, 寿命)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ツツミ ヒロシ 堤 浩	ケミカルバイオロジー, ペプチド化学, 超分子化学, バイオイメージング, バイオマテリアル, 細胞工学	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ナカトガワ ヒトシ 中戸川 仁	分子細胞生物学・生化学(細胞内大規模分解・リサイクルシステム<オートファジー>における膜新生および標的認識の分子メカニズム)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ナカムラ ノブヒロ 中村 信大	分子生物学・細胞生物学(肺や腎臓の構造形成や維持に働く情報伝達機構, ユビキチン化を介した細胞小器官の機能調節)	生命理工学系生命理工学コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ニカイドウ マサト 二階堂 雅人	分子進化生物学(脊椎動物の進化多様性を生み出す分子メカニズムの研究)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ハタ タケシ 秦 猛志	医薬, 薬剤, 及び生物活性物質の合成と方法論, 有機化学, 不斉合成, 触媒反応, 環境保全型合成	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ハヤシ ノブヒロ 林 宣宏	生物物理学, 分子生物学(疾患プロテオミクス, 細胞の刺激応答のメカニズムの解明, 抗体をプロトタイプとして用いる機能分子の開発)	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
准教授	ヒラサワ タカシ 平沢 敬	代謝工学, 微生物学, 微生物細胞を利用した有用物質生産, オミクス解析や合成生物学を活用した微生物育種	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ヒロタ ジュンジ 廣田 順二	分子神経科学(匂いの神経科学, 神経発生・分化), マウス遺伝子工学・ゲノム編集, 人工ゲノムベクターを用いた遺伝子工学	生命理工学系生命理工学コース
准教授	フジタ ナオノブ 藤田 尚信	細胞生物学(筋細胞オルガネラの形成と分解, オートファジー, 非典型的なタンパク質分泌の分子機構)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ホシノ アユコ 星野 歩子	エクソソーム・がん・転移・自閉症・疾患分子生物学・バイオマーカー・臓器連関・微小環境	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
准教授	マスダ シンジ 増田 真二	光合成科学・植物生理学(葉緑体のエネルギー効率を制御する新規チラコイド膜タンパク質の同定と解析, 植物の栄養応答センサー・青色光受容体の研究)	生命理工学系生命理工学コース
准教授	マツダ トモコ 松田 知子	生物有機化学, グリーンケミストリー, 超臨界流体工学, 酵素工学, 二酸化炭素の有効利用, 環境にやさしい有機合成, 不斉合成	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ミエ マサヤス 三重 正和	バイオインベーション, 細胞機能制御工学, 組織工学, バイオセンシング, バイオイメーキング, タンパク質工学	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
准教授	ヤツナ ミリエ 八波 利恵	極限環境微生物, 極限酵素, タンパク質工学, 進化分子工学, 代謝工学, 有用物質生産	生命理工学系生命理工学コース
准教授	ヤマダ タクジ 山田 拓司	ゲノム/メタゲノムデータ解析, 代謝パスウェイ解析, バイオインフォマティクス	生命理工学系生命理工学コース
講師	アサクラ ノリユキ 朝倉 則行	生物物理化学, 生物電気化学, タンパク質電子移動反応, 光エネルギー変換, ポルフィリン類を利用した光励起電子移動反応	生命理工学系生命理工学コース
講師	カジカワ マサキ 梶川 正樹	分子生物学・細胞生物学(転移因子とゲノム進化に関する研究)	生命理工学系生命理工学コース
講師	コンドウ トオル 近藤 徹	生物物理学, 顕微分光学, 量子生物学, 生体光物理学, 超高速・超解像・単一タンパク質の顕微分光・光合成・生命と地球の共進化	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
講師	フジエ シノブ 藤枝 俊宣	生体材料学, 高分子科学, 組織工学, 医工学, バイオエレクトロニクス, ソフトロボティクス, ウェアラブル・インプラントブルデバイス	生命理工学系生命理工学コース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース
教授	ウエダ ヒロシ 上田 宏	生物化学工学, 蛋白質工学, 抗体工学, 細胞工学, 環境分析化学, 発光生物学, バイオセンサー	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
教授	コシカワ ナオヒコ 越川 直彦	腫瘍生物学, 腫瘍診断学, 臨床プロテオミクス	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
教授	コンドウ シナエ 近藤 科江	分子生物学, 細胞生物学, 分子腫瘍学, 生体光イメージング, 分子標的・環境標的薬剤開発	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース ※定年のため今回は志望できません
教授	タナカ カン 田中 寛	進化細胞生物学, 細胞周期, シグナル伝達, ストレス応答, 微生物学, 代謝制御, 細胞共生, オルガネラ, 葉緑体, ミトコンドリア, 転写制御, 植物生理学, 光合成	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
教授	ナカムラ ヒロユキ 中村 浩之	有機合成化学, 創薬化学, ケミカルバイオロジー, ナノメディシン, 中性子捕捉療法, 光線力学療法, 光音響イメージング	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	ニシヤマ ノブヒロ 西山 伸宏	精密合成高分子を基盤とするがん等の標的化システムやスマート診断・治療デバイスの創製	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
教授	ヒサボリトオル 久堀 徹	タンパク質化学, 生体エネルギー変換, レドックス制御システム, 光合成微生物による物質生産	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース ※定年のため今回は志望できません
教授	フジイ マサアキ 藤井 正明	分子分光学, クラスタ, 超解像イメージング, 多光子イオン化分析, 生体分子認識	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
教授	ヤマモト ナオユキ 山本 直之	腸管センシング分子探索(遺伝子発現, 親和性分子特定), 宿主-腸内細菌共生研究, 乳酸菌の機能性研究	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	アカマ ヒロユキ 赤間 啓之	脳画像解析(fMRI)と機械学習(MVPA), 複雑ネットワーク, 計算神経科学, 神経言語学	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	オカダ サトシ 岡田 智	生命現象を観察・操作する分子ツールの開発, MRI, ケミカルバイオロジー, ナノテクノロジー	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	オグラ シュンイチロウ 小倉 俊一郎	分子生物学, 細胞生理工学, がんの代替治療法の開発, がんの診断法の開発, 代謝工学, バイオマーカー, 網羅解析	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	オリハラ カナミ 折原 芳波	免疫学, アレルギー疾患, 感染症, 概日時計(体内時計), 予防医学	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	キタグチ テツヤ 北口 哲也	ライブセルイメージング, バイオセンサー, 蛍光タンパク質, タンパク質工学, 細胞生物学, 細胞内情報伝達, 抗体工学	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	ミウラ ユタカ 三浦 裕	高分子科学, ナノバイオテクノロジー, 生体機能性材料, ドラッグデリバリーシステム, 高分子創薬	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	ミヤンタ エイゾウ 宮下 英三	上肢到達運動のハードウェア的理解・計算論的理解・アルゴリズム的理解, 医用応用としてのブレインマシンインタフェース	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	モリトシアキ 森 俊明	生物有機化学, 酵素工学, 糖鎖工学, ナノ材料, 超臨界流体中での反応	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	ワカバヤシ ケンイチ 若林 憲一	真核生物鞭毛の構築および運動調節の生理・生化学, 単細胞緑藻クラミドモナスと多細胞緑藻ボルボックスの光行動反応の生理学	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
助教	カドノソ テツヤ 門之園 哲哉	タンパク質・ペプチド工学(がん分子標的医薬の創出研究), 分子腫瘍学(がん治療標的の探索研究)	生命理工学系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系生命理工学コース
教授	マツウラトモアキ 松浦 友亮	進化分子工学, 合成生物学, 無細胞生命化学, バイオテクノロジー	生命理工学系地球生命コース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	フジシマ コウスケ 藤島 皓介	生命の起源, 宇宙生物学, 合成生物学, 分子進化工学, RNA, ペプチド, 化学進化	生命理工学系地球生命コース 生命理工学系生命理工学コース
准教授	ショウン マックグリン Shawn McGlynn	酵素の進化学, 化学進化(生命の起源), 微生物生態学, 安定同位体地球化学, 地質微生物学	生命理工学系地球生命コース 生命理工学系生命理工学コース
教授	ヤマムラ マサユキ 山村 雅幸	機械学習, 進化計算, バイオインフォマティクス, DNAコンピューティング, 循環共生圏農工業	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース 生命理工学系生命理工学コース
教授	ヤナギダ ヤスコ 柳田 保子	バイオMEMS/NEMS, ナノバイオテクノロジー, 生物機能工学, マイクロマシン技術によるバイオセンサ, 細胞機能・操作・解析デバイス	機械系ライフエンジニアリングコース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース 機械系機械コース
准教授	タキノウエ マサヒロ 瀧ノ上 正浩	人工細胞, DNAナノテク, 分子ロボット, 生物物理, 合成生物学, バイオマイクロ流路, バイオソフトマター ※ウェット実験中心, 数値計算併用	情報工学系知能情報コース システム制御系システム制御コース 情報工学系情報工学コース 生命理工学系生命理工学コース

環境・社会理工学院

環境・社会理工学院 建築学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/arch/>

【履修コース】

建築学コース, 都市・環境学コース, エンジニアリングデザインコース

【取得できる学位】

修士(工学又は学術)

【受入可能予定人数】

105名

【志望理由書のテーマ等】

- ・特定のテーマは設けません。
- ・大学院入学後に学修を希望するコース名(第三希望まで)を志望理由書の冒頭部分に記入してください。

【出願にあたっての注意】

- ・志望指導教員を、インターネット出願サイトから入力してください。第10志望まで入力できますが、全ての枠を埋める必要はありません。
- ・出願時に、A:即日設計, B:建築学科目のいずれかを筆答専門試験科目として選択してください。なお、共通科目は必ず受験するものとします。
- ・選択する筆答専門試験科目には、あなたが志望する全ての指導教員が共通して指定している試験科目を選んでください。
- ・本系を受験することにより、清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。ただし、すべての教員が本プログラム学生を受け入れ可能ではないため、事前に本プログラムの社会理工学コース長ならびに志望する教員と連絡を取り、本プログラム学生として出願できるか確認してください。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。提出できない場合は、7月16日(金)17:00(口述試験前日)必着で【**記載内容及び入試に関する問い合わせ先**】まで書留郵便にて郵送してください。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは原則として返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目:建築学系(試験科目:A:即日設計, B:建築学科目)

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験	7月17日 (土)	専門的知識ならびに大学院における研究計画, 持参した資料についての試問	ポートフォリオ(設計製図の作品(図面)または卒業研究など、これまでの取組や活動を自己アピールできる資料)を持参すること。なお、学部(学士課程)において設計製図、卒業制作を行っている者は、図面を持参することが望ましい。
	B 日程 ※注	筆答試験 8月17日 (火)	共通科目: 午前 9:30~11:00 第Ⅰ群から大問2問, 第Ⅱ群から大問2問を解答 第Ⅰ群:「建築歴史・意匠」,「都市・まちづくり」, 「建築環境・設備工学」 第Ⅱ群:「建築計画」,「建築構造・構造力学」, 「建築材料・施工」 専門科目:出願時の指定により指導教員の指定する 科目の内1科目を選択 A:即日設計 午後 13:30~17:30 B:建築学科目 午後 13:30~15:30 「建築計画」,「都市・まちづくり」,「建築構造・構造力学」, 「建築環境・設備工学」,「建築材料・施工」, 「建築歴史・意匠(小論文)」の6分野より1分野を選択 配点:筆答専門試験:500点	≪A:即日設計に持ち込み可能なもの≫ 筆記用具 [直定規、三角定規(勾配定規を含む)、三角スケール、鉛筆(シャープペンシル、芯ホルダーを含む)、字消し板、消しゴム、ペン、絵具・色鉛筆などの彩色道具、ドラフティングテープ、ティッシュペーパー、鉛筆削り(芯研器を含む)] 飲み物:ペットボトルおよび水筒に限り持ち込み可能

次ページに続く

前ページの続き			
B日程 ※注	口頭試問	8月24日 (火)	専門的知識ならびに大学院における研究計画、持参した資料についての試問
			ポートフォリオ(設計製図の作品(図面)または卒業研究など、これまでの取組や活動を自己アピールできる資料)を持参すること。なお、学部(学士課程)において設計製図、卒業制作を行っている者は、図面を持参することが望ましい。

※注 筆答試験を中止とした場合には、代替として、提出された出願書類及びポートフォリオを元に採点を行います。

この場合のポートフォリオの提出日および提出方法は、筆答試験の中止決定後に志願者に通知します。

引き続き本系のホームページを確認してください。この場合のスケジュールは以下のとおりです。

- ・8/20(金)までに書類等を元に採点を行った結果を受けて、B日程口頭試問受験資格者を発表
- ・8/23(月)、24(火)、25(水)のいずれかでB日程口頭試問(オンライン実施)

【口頭試問受験資格者の発表】

8月20日(金)20:00までに建築学系ホームページで公表 <http://www.arch.titech.ac.jp/Japanese/Graduate/index.html>

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 M1-47

東京工業大学 環境・社会理工学院 建築学系 奥山信一(MAIL:inquiry@arch.titech.ac.jp)

【指導教員及びその研究分野一覧】

試験科目欄のAは「即日設計」、Bは「建築学科目」であり、Bに続く()内は、計画:「建築計画」、都市:「都市・まちづくり」、構造:「建築構造・構造力学」、環境:「建築環境・設備工学」、材料:「建築材料・施工」、意匠:「建築歴史・意匠(小論文)」, 全:全分野、をそれぞれ表している。

指導教員		研究分野	担当コース及び備考	試験科目
教授	イカラシ キクオ 五十嵐 規矩夫	建築構造, 鋼構造	建築学系建築学コース	B(構造)
教授	オクヤマ シンイチ 奥山 信一	建築意匠, 建築設計, 図学, 建築論	建築学系建築学コース 建築学系都市・環境学コース	A, B(意匠)
教授	オサラギ トシヒロ 大佛 俊泰	都市・建築空間のモデル分析, 地域防災・減災計画, 空間情報科学	建築学系建築学コース 建築学系都市・環境学コース	A, B(計画, 都市, 構造, 環境)
教授	コウノ ススム 河野 進	コンクリート系構造物の耐震設計	建築学系建築学コース 建築学系都市・環境学コース	B(構造)
教授	サカタ ヒロヤス 坂田 弘安	コンクリート系構造, 木質構造	建築学系建築学コース 建築学系都市・環境学コース	B(構造)
教授	タケウチ トオル 竹内 徹	建築構造設計, 鋼構造, 構造デザイン	建築学系建築学コース	B(構造)
教授	ツカモト ヨシハル 塚本 由晴	建築意匠, 建築設計, 都市研究, 建築ふるまい学	建築学系建築学コース	A, B(意匠)
教授	ヤスダ コウイチ 安田 幸一	建築意匠, 建築設計, 建築計画	建築学系建築学コース 建築学系エンジニアリングデザインコース	A, B(意匠)
教授	ヤマザキ タイスケ 山崎 鯛介	建築史	建築学系建築学コース	A, B(意匠, 計画, 都市)
教授	ヨコヤマ ユタカ 横山 裕	建築材料, 構法	建築学系建築学コース	B(全)
准教授	オキ タクヤ 沖 拓弥	建築計画, 時空間解析, ビッグデータ解析	建築学系建築学コース	A, B(全)

指導教員		研究分野	担当コース及び備考	試験科目
教授	カギ ナオキ 鍵 直樹	環境工学, 建築設備, 室内空気質, 空気清浄, ウェルネス, スマートビル	建築学系建築学コース	B(環境)
准教授	キシキ ショウイチ 吉敷 祥一	耐震技術の高度化(免震, 制振構造), 既存建築物への効果的な耐震補強技術の開発と普及, 被災した建築物の損傷評価と早期復旧技術の開発	建築学系都市・環境学コース 建築学系建築学コース	B(構造)
准教授	サイオ ナオコ 斎尾 直子	建築計画, 都市計画, 農村計画	建築学系建築学コース	A, B(計画, 都市, 意匠)
准教授	シオザキ タイシン 塩崎 太伸	建築意匠, 建築設計, 建築論, 都市論	建築学系建築学コース	A, B(意匠)
教授	タムラ シュウジ 田村 修次	建築基礎構造, 地盤地震工学	建築学系建築学コース	B(構造)
准教授	ニシムラ コウシロウ 西村 康志郎	コンクリート系構造物の耐震設計・性能設計	建築学系建築学コース 建築学系都市・環境学コース	B(構造)
准教授	ホッタ ヒサト 堀田 久人	建築構造, コンクリート系複合構造	建築学系建築学コース	B(構造)
准教授	ミカミ タカマサ 三上 貴正	住環境の日常安全性評価, 建造物の耐久性・健全性評価, 建築材料構法	建築学系建築学コース 2023年3月定年予定のため, 原則として学生を受け入れません	B(全)
准教授	ムラタ リョウ 村田 涼	環境建築, 建築設計, 建築計画	建築学系建築学コース 建築学系エンジニアリングデザインコース	A, B(意匠)
准教授	ユアサ カズヒロ 湯浅 和博	建築設備, 環境工学, エネルギー	建築学系建築学コース 建築学系エンジニアリングデザインコース	B(環境)
教授	フジイ ハルユキ 藤井 晴行	建築計画, 建築環境, デザイン科学	建築学系エンジニアリングデザインコース 建築学系建築学コース	A, B(計画, 構造, 環境)
教授	ナカイ ノリヒロ 中井 検裕	都市計画, 都市空間の利用計画, 都市政策	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース 2023年3月定年予定のため, 原則として学生を受け入れません	A, B(計画, 都市, 環境)
教授	ナカムラ ヨシキ 中村 芳樹	視環境(照明, 色彩, 昼光)設計および評価, 建築・都市のアピランス設計および評価, 視環境の心理評価	建築学系都市・環境学コース 建築学系建築学コース 2022年3月定年予定のため, 学生を受け入れません	A, B(全)
教授	マツオカ マサシ 松岡 昌志	リモートセンシング, ジオインフォマティクス地震防災, 災害情報システム	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース	B(全)
教授	モトユイ ショウジロウ 元結 正次郎	建築非構造部材の耐震性能, シェル構造の座屈及び座屈後挙動, 固体の計算力学	建築学系都市・環境学コース 2023年3月定年予定のため, 原則として学生を受け入れません	B(構造)
教授	ヤマナカ ヒロアキ 山中 浩明	工学地震学, 地盤震動, 地震工学, 地盤探査工学, 弾性波動シミュレーション	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース	B(全)
准教授	アサワ タカシ 浅輪 貴史	都市・建築環境工学, ヒートアイランド, 熱環境シミュレーション, 都市緑化, 住環境評価, 環境のリモートセンシング	建築学系都市・環境学コース	B(全)
准教授	オオカゼ ツバサ 大風 翼	都市環境工学, 建築都市環境防災, 極端気象災害リスク評価, 都市微気候, 都市乱流シミュレーション, 大気拡散・飛雪	建築学系都市・環境学コース	B(全)
准教授	サトウ ダイキ 佐藤 大樹	地震と風を対象とした制振構造・免震構造に関する研究	建築学系都市・環境学コース 建築学系建築学コース	B(構造)

指導教員		研究分野	担当コース及び備考	試験科目
准教授	ソシロダ アキラ 十代田 朗	都市・地域計画学, 都市計画史, 観光リゾート 発達史, 観光計画論	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース	A, B(都市, 計画, 環 境, 意匠)
准教授	ドヒ マサト 土肥 真人	ランドスケープ論, コミュニティ・デザイン論, 都 市デザイン論	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース	A, B(都市, 計画, 環 境, 意匠)
准教授	ナス サトシ 那須 聖	建築意匠, 建築設計, 建築計画, 都市景観	建築学系都市・環境学コース	A, B(計画, 都市, 意匠)
准教授	フジタ ヤスヒト 藤田 康仁	建築史・都市史	建築学系都市・環境学コース	A, B(意匠, 計画, 都市)
准教授	マノ ヨウスケ 真野 洋介	住環境・まちづくり, 都市の形態とデザイン	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース	A, B(都市, 計画, 意匠)
教授	サイトウ ウシオ 齋藤 潮	景観原論, 地域景観論, 景観計画, 公共空間 デザイン	土木・環境工学系都市・環境学コース 建築学系都市・環境学コース 2023年3月定年予定のため, 原則として学生 を受け入れません	A, B(計画, 都市, 意 匠),
教授	サカノ タツロウ 坂野 達郎	地域・公共システムデザイン, マネジメント	土木・環境工学系都市・環境学コース 建築学系都市・環境学コース 2022年3月定年予定のため, 学生を受け入れ ません	A, B(計画, 都市, 意匠)
教授	モリカワ ヒトシ 盛川 仁	地震波動場の時空間特性のモデル化, 深部 地盤構造探査, 地震防災教育	土木・環境工学系都市・環境学コース 土木・環境工学系土木工学コース 建築学系都市・環境学コース	B(構造)
准教授	サナダ ジュンコ 真田 純子	都市計画史, 地域景観論, 農村景観論, 農村 計画	土木・環境工学系都市・環境学コース 建築学系都市・環境学コース	A, B(計画, 都市, 意匠)
准教授	フルヤ ヒロシ 古谷 寛	宇宙構造システム工学, 展開構造物の概念と 設計, 構造システムのダイナミクス, 構造最適 化	機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース 建築学系都市・環境学コース 2023年3月定年予定のため, 原則として学生 を受け入れません	B(構造)
准教授	ムロマチ ヤスリ 室町 泰徳	都市計画・都市施設計画, 都市交通計画・交 通行動分析, 交通と環境	土木・環境工学系都市・環境学コース 土木・環境工学系土木工学コース 建築学系都市・環境学コース	B(全)
特任教授	カイエダ ヒデシ 海江田 秀志	地熱工学, 物理探査学, 微小地震学, 地球物 理学	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	B(全)
特任教授	スエマツ タカシ 末松 孝司	シミュレーション技術の防災・環境適用研究	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	B(計画)
特任准教授	イシダ ケンタロウ 石田 建太朗	建築意匠, 建築設計, 都市空間設計	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	A, B(計画)
特任准教授	コバヤシ ヒデキ 小林 秀樹	リモートセンシング, 農業気象学	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	B(全)
特任准教授	サトウ トシアキ 佐藤 俊明	都市の安心・安全のための空間情報解析, モ バイルマッピングシステムを利用した景観解析	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	B(全)
特任准教授	ソエダ マサシ 添田 昌志	環境心理・行動学, 建築計画	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	A, B(計画)
特任准教授	ヒラガ アマナ 平賀 あまな	歴史的建築保存, 建築史	建築学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。	A, B(意匠, 計画, 都市)

環境・社会理工学院 土木・環境工学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/cv/>

【履修コース】

土木工学コース, 都市・環境学コース, エンジニアリングデザインコース

【取得できる学位】

修士(工学又は学術)

【受入可能予定人数】

50名

【志望理由書のテーマ等】

本学修士課程を志望する理由, 学士論文研究の概要, 修士課程で予定している学修や研究の目的・内容・計画・予想される成果, 修士課程修了後の将来の希望について, 2,000 字程度で記入してください。

【出願にあたっての注意】

- 志望指導教員を、インターネット出願サイトから入力してください。第10志望まで入力できますが、全ての枠を埋める必要はありません。
- A日程『口述試験』は、出願者の中から、提出された出願書類をもとに成績優秀者を選定して実施します。なお、成績証明書に出身学科等における成績順位が明記されていない場合には、成績順位が明らかとなるような書類(たとえば、出身学科等における順位を記載した学科長等からの手紙など(様式自由))を出願書類に加えることができます。
- 事前に指導を希望する教員と連絡をとることを、教育上の配慮から強く奨励しています。
- 教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。
- 本系を受験することにより、清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。ただし、すべての教員が本プログラム学生を受け入れ可能としている訳ではないため、事前に本プログラムの社会理工学コース長ならびに志望する教員と連絡を取り、本プログラム学生として出願できるか確認してください。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。

【系・課程が指定する入力項目】

大学院入学後に学修を希望するコース名(第三希望まで)を、第一希望, 第二希望, 第三希望の順で「半角カンマ」区切りで入力ください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出することを原則とします。出願時に提出できない場合は、7月16日(口述試験前日)必着で土木・環境工学系【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】まで簡易書留郵便にて郵送してください。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは原則として返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目: 土木・環境工学系

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等
A日程	口述試験	7月17日(土)	専門的知識ならびに大学院における研究計画について試問する。
B日程	書類選考	—	出願書類を元に評価し、筆答試験受験資格者の選抜を行うことがあります。※1
	筆答試験	8月17日(火) 基礎科目 10:00～11:30 専門科目 13:30～15:30	午前 10:00～11:30 基礎科目(常微分方程式, 線形代数, 偏微分方程式, 確率統計) 午後 13:30～15:30 専門科目(構造力学, 水理学, 土質力学, コンクリート工学, 土木計画学, 数理学) 配点: 筆答専門試験(基礎科目・専門科目): 400 点, 英語: 100 点
	口頭試問	8月24日(火)	専門的知識ならびに大学院における研究計画について試問する。

※1: 7月30日(金)に、書類選考の有無、書類選考をした場合はB日程筆答試験受験資格者を【口頭試問受験資格者の発表】と同じ Web ページで発表します。

【口頭試問受験資格者の発表】

- ・8月20日（金）20時までに大岡山キャンパス緑が丘1号館1階掲示板において掲示により発表します。
- ・土木・環境工学系の Web ページ上でも公表します(Web ページ上での公表時刻は掲示よりも遅くなる見込みです)。
http://quake.enveng.titech.ac.jp/2021_nyushi/

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-93

東京工業大学 環境・社会理工学院 土木・環境工学系 齋藤 潮 (e-mail: inquiry@cv.titech.ac.jp)

【指導教員及びその研究分野一覧】

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	イワナミ ミツヤス 岩波 光保	維持管理工学, 海洋構造工学, マルチスケールデザイン	土木・環境工学系土木工学コース
教授	カナエ シンジロウ 鼎 信次郎	水循環・水資源, 水災害, 河川計画, 地球環境変動	土木・環境工学系土木工学コース 融合理工学系地球環境共創コース
教授	タカハシ アキヒロ 高橋 章浩	地盤工学, 地盤防災	土木・環境工学系土木工学コース
教授	ヒロセ ソウイチ 廣瀬 壮一	応用力学, 波動・振動解析, 非破壊評価	土木・環境工学系土木工学コース 2023年3月に定年退職のため、原則として学生を受け入れません。
准教授	ウィジェヤウィクレマ アニール WIJEYEWICKREMA ANIL	地震工学, 構造工学, 固体力学	土木・環境工学系土木工学コース 土木・環境工学系エンジニアリングデザインコース 2023年3月に定年退職のため、原則として学生を受け入れません。
准教授	ササキ エイイチ 佐々木 栄一	構造工学, 耐震, 維持管理工学, 構造モニタリング	土木・環境工学系土木工学コース 土木・環境工学系エンジニアリングデザインコース
准教授	セオ トオル 瀬尾 亨	交通工学, 交通流理論, 交通データ分析	土木・環境工学系土木工学コース
准教授	タケムラ ジロウ 竹村 次朗	土質基礎工学, 土質力学, 都市防災, 地盤環境	土木・環境工学系土木工学コース 土木・環境工学系エンジニアリングデザインコース 出願に当たっては、事前にお問い合わせください(2024年3月に定年退職予定)。
准教授	チゼワ ノブヒロ 千々和 伸浩	維持管理工学, コンクリート工学, 材料-構造 応答連成領域	土木・環境工学系土木工学コース
准教授	フジイ マナブ 藤井 学	水環境工学, 水処理工学, 水質化学, 環境量子化学	土木・環境工学系土木工学コース
准教授	ヨシムラ チヒロ 吉村 千洋	水環境工学, 水質工学, 応用生態工学, 生物地球化学	土木・環境工学系土木工学コース 融合理工学系地球環境共創コース
特任教授	イトウ コウイチ 伊藤 裕一	橋梁工学, 維持管理工学, 状態モニタリング	土木・環境工学系土木工学コース 副指導教員として志望することができます。
特任講師	タケヤ コウイチ 竹谷 晃一	橋梁工学, 構造モニタリング, 維持管理工学	土木・環境工学系土木工学コース 副指導教員として志望することができます。
特定准教授	コバヤシ ユウスケ 小林 裕介	橋梁工学, 鋼構造学, 維持管理工学	土木・環境工学系土木工学コース 副指導教員として志望することができます。

指導教員		研究分野	担当コース及び備考
教授	サイトウ ウシオ 齋藤 潮	景観原論, 地域景観論, 景観計画, 公共空間 デザイン	土木・環境工学系都市・環境学コース 建築学系都市・環境学コース 2023年3月に定年退職のため、原則として学生を 受け入れません。
教授	モリカワ ヒトシ 盛川 仁	地震波動場の時空間特性のモデル化, 深部 地盤構造探査, 地震防災教育	土木・環境工学系都市・環境学コース 土木・環境工学系土木工学コース 建築学系都市・環境学コース
教授	ヤイ テツオ 屋井 鉄雄	国土・都市計画, 環境交通工学	土木・環境工学系都市・環境学コース 土木・環境工学系土木工学コース 2023年3月に定年退職のため、原則として学生を 受け入れません。
准教授	サナダ ジュンコ 真田 純子	都市計画史, 地域景観論, 農村景観論, 農村 計画, 石積み	土木・環境工学系都市・環境学コース 建築学系都市・環境学コース
准教授	ムロマチ ヤスノリ 室町 泰徳	都市計画・都市施設計画, 都市交通計画・交 通行動分析, 交通と環境	土木・環境工学系都市・環境学コース 土木・環境工学系土木工学コース 建築学系都市・環境学コース
特任教授	スズキ アツシ 鈴木 敦士	エネルギーシステム, エネルギー政策	土木・環境工学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。
特定准教授	スズキ コウジロウ 鈴木 高二朗	津波・高潮防災, 湾域の流れと水質環境, 海 洋レクリエーション	土木・環境工学系都市・環境学コース 副指導教員として志望することができます。
教授	ナカイ ノリヒロ 中井 検裕	都市計画, 都市空間の利用計画, 都市政策	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース 2023年3月に定年退職のため、原則として学生を 受け入れません。
教授	マツオカ マサシ 松岡 昌志	リモートセンシング, ジオインフォーマティクス 地震防災, 災害情報システム	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース
教授	ヤマナカ ヒロアキ 山中 浩明	工学地震学, 地盤振動, 地震工学, 地盤探査 工学, 弾性波動シミュレーション	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース
准教授	ドヒ マサト 土肥 真人	ランドスケープ論, コミュニティ・デザイン論, 都 市デザイン論	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース
准教授	マノ ヨウスケ 真野 洋介	住環境・まちづくり, 都市の形態とデザイン	建築学系都市・環境学コース 土木・環境工学系都市・環境学コース
教授	カンダ マナブ 神田 学	都市気象学, 大気環境学	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
教授	キノウチ ツヨシ 木内 豪	水文学, 流域・都市の水・物質循環と環境管 理, アジアの流域水管理, 氷河後退と水資源 評価, 環境中の汚染物質輸送	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
教授	ハナオカ シンヤ 花岡 伸也	交通開発学, ロジスティクス, 航空	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
准教授	ナカムラ タカシA 中村 恭志	数値環境水理学, コンピュータシミュレーション による湖沼・河川における流れと環境現象の 把握, 高精度シミュレーションモデルの開発	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
准教授	ナカムラ タカシB 中村 隆志	生態系モデリング及び数値シミュレーション, 沿岸生態学, 生物地球科学, 物質循環	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
准教授	バルケズ アルビン クリスタ ファー ガラン VARQUEZ, Alvin Christopher Galang	グローバル都市気象学, 街区レベル気候変 動, 数値気象予報, GISベースのデータ構築	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース

環境・社会理工学院 融合理工学系

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/tse/>

【履修コース】

地球環境共創コース, 原子核工学コース, エンジニアリングデザインコース, エネルギーコース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

86名

【志望理由書のテーマ等】

大学院志望の理由, 修士課程で予定している学修や研究の目的・内容・計画等について1,000字程度にまとめて下さい。
「志望理由書」の記載は日本語・英語どちらでも可とします。

【出願にあたっての注意】

教育上の配慮から, 教員あたりの合格者数が制限される場合があります。
志願者は, 出願前に第1志望の指導教員と必ず予め相談してから出願して下さい。
第1志望以外でも合格を希望する者は必ず第2志望以下も入力して下さい。第5志望まで入力することができます。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は, 何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

- ・スコアシートは原本を出願時に提出してください。
- ・提出できない場合は, **7月2日(金)**(必着)までに下記の【融合理工学系事務室】まで簡易書留郵便にて郵送してください。
- ・一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。
- ・スコアシートの原本は返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目名: 融合理工学系

筆答試験への解答は日本語・英語どちらでも可とします。

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験 (オンラインまたは来学※※注)	7月17日(土)	専門的知識及び学士論文研究の内容等についての試問 (口述試験で使用する言語は日本語・英語どちらでも可)	
B日程 ※注	筆答試験	8月17日(火) 9:30~10:30 13:00~15:00	午前(60分): 小論文・読解 午後(120分): 以下の2科目から1科目選択して解答する 問題 A(数推理科目) 全問解答式 問題 B(理工系基礎・専門科目) 以下の8題から2題を選択して解答 微分積分, 線形代数, 確率・統計, 力学, 電磁気学, 化学, 生物学, 原子核工学	配点: 小論文・読解 100点, 午後選択問題 200点, 英語外部試験 150点
	口頭試問 (オンラインまたは来学※※注)	8月18日(水)	志望する研究分野, 学士論文研究の内容等についての試問	

※注 応募人数が受け入れ可能予定人数の約2倍を超えた場合は, 提出された出願書類を元にB日程受験資格者選抜を行う可能性があります。引き続き本系のホームページを確認してください。この場合のスケジュールは以下のとおりです。

・8/10(火)B日程受験資格者を発表

※※注 オンライン試験を基本とするが, 通信環境等の問題でオンライン受験が困難な学生は事前に連絡の上, 来学して受験することとする。

【口頭試問受験資格者の公表】

筆答試験受験者全員に口頭試問を行います。口頭試問で使用する言語は日本語・英語どちらでも可とします。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問合わせ先】

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 N1-9 大岡山北 1 号館 307 号室 東京工業大学環境・社会理工学院融合理工学系
千葉 敏
TEL 03-5734-3066, E-MAIL admission@tse.ens.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考
教授	カンダ マナブ 神田 学	都市気象学, 大気環境学	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
教授	キノウチ ツヨシ 木内 豪	水文学, 流域・都市の水・熱・物質循環, アジアの 流域水管理, 氷河後退と水資源, 環境中の汚染物 質輸送	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
教授	タカダ ジュンイチ 高田 潤一	無線通信, 電波応用センシング・計測, ICTと国際 開発	融合理工学系地球環境共創コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	タカハシ クニオ 高橋 邦夫	機械工学, 材料力学, 物性理論, 加工プロセス	融合理工学系地球環境共創コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 融合理工学系エネルギーコース
教授	ナカサキ キヨヒコ 中崎 清彦	環境生物工学, 生物化学工学	融合理工学系地球環境共創コース ☆2023年3月に定年退職のため、原則として学生を受け 入れません。
教授	ノハラ カヨコ 野原 佳代子	言語学, 翻訳理論, 科学技術コミュニケーション論	融合理工学系地球環境共創コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	ハナオカ シンヤ 花岡 伸也	交通開発学, 国際物流・ロジスティクス, 航空・空 港政策	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
教授	ムラヤマ タケヒコ 村山 武彦	環境政策・計画, リスク評価と管理, 環境・リスクコ ミュニケーション, 環境アセスメント, 政策対話, 社 会的意思決定	融合理工学系地球環境共創コース
准教授	アキタ ダイスケ 秋田 大輔	航空宇宙システム, 高速空気力学	融合理工学系地球環境共創コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 融合理工学系エネルギーコース
准教授	アベ ナオヤ 阿部 直也	環境・社会持続性評価, 環境経済学, 国際開発	融合理工学系地球環境共創コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
准教授	エガシラ リュウイチ 江頭 竜一	分離・精製プロセス, バイオエネルギー製造, バイ オマス処理, 各種水処理, 金属分離, 石油精製, 溶媒抽出, 吸着	融合理工学系地球環境共創コース
准教授	サトウ ユリコ 佐藤 由利子	国際教育政策, 開発経済, 政策評価, 国際協力, 地域開発, 外国人材受入れと多文化共創	融合理工学系地球環境共創コース ☆2023年3月に定年退職のため、原則として学生を受け 入れません。
准教授	タカギ ヒロシ 高木 泰士	沿岸域防災	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
准教授	タカハシ フミタケ 高橋 史武	付加価値創造型の廃棄物リサイクル, リスク評価, 廃棄物リサイクルの社会心理学, 超臨界流体化学	融合理工学系地球環境共創コース
准教授	トキマツ コウジ 時松 宏治	エネルギー技術, 資源需給, 環境影響, 経済評 価, 持続可能な発展	融合理工学系地球環境共創コース 融合理工学系エネルギーコース
准教授	ナカムラ タカシA 中村 恭志	数値環境水理学, コンピュータシミュレーションによ る湖沼・河川における流れと環境現象の把握, 高 精度シミュレーションモデルの開発	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
准教授	ナカムラ タカシB 中村 隆志	生態系モデリング及び数値シミュレーション, 沿岸 生態学, 生物地球科学, 物質循環	融合理工学系地球環境共創コース 土木・環境工学系土木工学コース
准教授	ニシキザワ シゲオ 錦澤 滋雄	環境アセスメント, 市民参加, 合意形成, 再生可能 エネルギーの社会的受容性	融合理工学系地球環境共創コース
准教授	バルケズアルビンクリ スタファーガラン VARQUEZ, Alvin Christopher Galang	グローバル都市気象学, 街区レベル気候変動, 数 値気象予報, GISベースのデータ構築	融合理工学系地球環境共創コース

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考
准教授	ヤマシタ ユキヒコ 山下 幸彦	画像認識, パターン認識, 情報処理と開発	融合理工学系地球環境共創コース
教授	カナエ シンジロウ 鼎 信次郎	水循環・水資源, 水災害, 河川計画, 地球環境変動	土木・環境工学系土木工学コース 融合理工学系地球環境共創コース
准教授	アオヤギ タカヒロ 青柳 貴洋	環境電磁工学, 電波伝搬	電気電子系電気電子コース 融合理工学系地球環境共創コース
准教授	ヨシムラ チヒロ 吉村 千洋	水環境工学, 水質工学, 応用生態工学, 生物地球化学	土木・環境工学系土木工学コース 融合理工学系地球環境共創コース
特任教授	ササキ マサカズ 佐々木 正和	化学工学物性, プロセス合成	融合理工学系地球環境共創コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■(株)東洋エンジニアリング
特任教授	マツカワ ケイスケ 松川 圭輔	プロジェクトマネジメント, 建設材料	融合理工学系地球環境共創コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■(株)千代田化工建設
特定教授	アオヤギ ミドリ 青柳 みどり	リスク社会学, 環境社会学, メディアとリスク, 社会調査法	融合理工学系地球環境共創コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■国立環境研究所
特定教授	イチイ カズヒト 市井 和仁	陸域の水・炭素循環のモデリング, 衛星リモートセンシング	融合理工学系地球環境共創コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■千葉大学
特定教授	イノウエ テツノリ 井上 徹教	沿岸域水環境, 水圏環境工学	融合理工学系地球環境共創コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■港湾空港技術研究所
特定准教授	ナカミチ クミコ 中道 久美子	都市・地域計画, 交通計画, 環境計画	融合理工学系地球環境共創コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■交通エコロジー・モビリティ財団
教授	オバラ トオル 小原 徹	革新的原子炉概念(小型原子炉, 高温ガス炉, 鉛冷却高速炉, CANDLE炉), 原子炉の受動安全, 臨界安全過渡解析, 原子炉物理学	融合理工学系原子核工学コース
教授	タケシタ ケンジ 竹下 健二	環境化学工学, リサイクル工学, 廃棄物工学, 原子燃料サイクル工学	融合理工学系原子核工学コース 融合理工学系地球環境共創コース ☆2022年3月に定年退職のため、原則として学生を受け入れません。
教授	チバ サトシ 千葉 敏	核反応基礎工学, 核反応利用システムとしての原子力および関連分野, 核反応機構, 核反応シミュレーション, 粒子線輸送シミュレーション, 核データ, 宇宙核物理学	融合理工学系原子核工学コース ☆2023年3月に定年退職のため、原則として学生を受け入れません。
教授	ハヤシザキ ノリオス 林崎 規託	加速器物理学, 医療用加速器, 加速器駆動中性子源, 放射線セキュリティ工学	融合理工学系原子核工学コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
准教授	カタブチ タツヤ 片渕 竜也	中性子科学, 原子核物理学, 物質変換工学, 中性子捕捉療法, 放射線計測	融合理工学系原子核工学コース
准教授	サガラ ヒロシ 相楽 洋	核不拡散・核セキュリティ・核安全(3S), 核拡散抵抗性の高い原子力システム, 核のゴミ低減を目指した原子炉(核変換工学), 核物質の非破壊測定手法の研究(放射線工学), 原子炉物理, 数値解析	融合理工学系原子核工学コース
准教授	ツツイ ヒロアキ 筒井 広明	プラズマ物理(平衡, 安定性, 輸送), 核融合工学(磁場設計, 制御), 超伝導磁気エネルギー貯蔵	融合理工学系原子核工学コース
准教授	ハセガワ ジュン 長谷川 純	プラズマ科学, 量子ビーム科学, 慣性核融合, クラスタビーム, 核融合中性子源	融合理工学系原子核工学コース 機械系エネルギーコース 機械系機械コース
准教授	マツモト ヨシヒサ 松本 義久	放射線, DNA, 分子・細胞生物学, 癌治療	融合理工学系原子核工学コース
教授	イケガミ マサコ 池上 雅子	技術安全保障, 核セキュリティ, 核不拡散・軍備管理, 先端技術研究開発政策分析	イノベーション科学系イノベーション科学コース 融合理工学系原子核工学コース 技術経営専門職学位課程 原子核工学コース主担当教員との共同指導が望ましい

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考
教授	カトウ ユキタカ 加藤 之貴	エネルギーシステム, エネルギー工学, エネルギー変換・貯蔵・輸送, ケミカルヒートポンプ, 水素エネルギー, 燃料電池, 炭素循環型エネルギーシステム	応用化学系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース 応用化学系応用化学コース
准教授	アカツカ ヒロシ 赤塚 洋	プラズマ理工学, プラズマ分光学, プラズマ内の原子分子過程	電気電子系原子核工学コース 電気電子系電気電子コース 融合理工学系原子核工学コース
准教授	キクラ ヒロシゲ 木倉 宏成	原子力安全工学, 計測工学, 原子炉診断工学, 原子炉プロセス制御, 革新的軽水炉システム及び高速増殖炉システムの安全機能	機械系原子核工学コース 機械系エネルギーコース 融合理工学系原子核工学コース
准教授	コンドウ マサトシ 近藤 正聡	核融合炉工学, 原子炉材料共存性工学, 液体金属工学, 熔融塩工学	機械系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース
准教授	タカオ コウイチロウ 鷹尾 康一朗	核燃料サイクル, アクチノイド化学, イオン液体, 放射性廃棄物処理・処分, 除染, 錯体触媒, 核種分離, 原子炉水化学	応用化学系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース
准教授	ツカハラ タケヒコ 塚原 剛彦	分析化学, 放射化学, 環境科学, 放射性廃棄物処理処分, 機能性高分子, マイクロ・ナノ化学, 核燃料サイクル, 廃止措置	応用化学系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース
准教授	ハラダ タクヤ 原田 琢也	無機材料工学, 化学プロセス工学, CO ₂ 回収・変換再利用, カーボンニュートラルサイクル	応用化学系原子核工学コース 融合理工学系原子核工学コース 応用化学系応用化学コース
特定教授	コヤマ シンイチ 小山 真一	核燃料工学, 放射化学, 分析化学, アクチノイド分析, 照射後試験技術, 先進オリレントサイクル	融合理工学系原子核工学コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■日本原子力研究開発機構
特定教授	フナサカ ヒデユキ 船坂 英之	次世代型燃料サイクル工学(先進湿式再処理技術, 簡素化燃料製造技術), MA分離工学(溶媒抽出法, 抽出クロマトグラフィ法)	融合理工学系原子核工学コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■日本原子力研究開発機構
特定准教授	タケウチ マサユキ 竹内 正行	核燃料サイクル, 再処理工学, 腐食科学, 材料工学, 分析化学	融合理工学系原子核工学コース 他の専任教員と共同指導の場合のみ受け入れます。 ■日本原子力研究開発機構
教授	サイジョウ ミキ 西條 美紀	コミュニケーションデザイン, ユーザー中心設計, 知識管理・談話管理	融合理工学系エンジニアリングデザインコース 技術経営専門職学位課程
教授	サイトウ シゲキ 齊藤 滋規	エンジニアリングデザイン, ロボティクス, マイクロアセンブリ, マイクロメカニクス, マイクロ物理	融合理工学系エンジニアリングデザインコース 機械系エンジニアリングデザインコース 技術経営専門職学位課程
准教授	イナバ カズアキ 因幡 和晃	連続体力学, 材料力学, 計算工学, 衝撃工学, 燃焼工学, 流体構造連成問題, マルチフィジックス	融合理工学系エンジニアリングデザインコース 機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース 技術経営専門職学位課程
教授	タケダ ユキオ 武田 行生	ロボット・メカトロニクス機器・福祉機器の機構・機械要素・制御, 機械運動系の解析・総合	機械系機械コース 機械系エンジニアリングデザインコース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	ツジモト マサハル 辻本 将晴	経営戦略論, 経営組織論	イノベーション科学系イノベーション科学コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 技術経営専門職学位課程
准教授	ナカマル マユコ 中丸 麻由子	社会シミュレーション, 人間行動進化学, 数理生物学, 進化ゲーム理論, 社会生態系結合モデル	イノベーション科学系イノベーション科学コース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 技術経営専門職学位課程
准教授	ヤギ トオル 八木 透	医用生体工学, 福祉工学, 神経工学, 脳科学, 視覚化学, ヒューマンインタフェース, 生体信号計測／処理	機械系ライフエンジニアリングコース 融合理工学系エンジニアリングデザインコース 生命理工学系ライフエンジニアリングコース 機械系機械コース
教授	オオトモ ジュンイチ ロウ 大友 順一郎	エネルギー変換化学, 電解合成, 燃料電池, 水素エネルギー貯蔵, エネルギーシステム評価, 統合エネルギー工学	融合理工学系エネルギーコース
教授	クロス ジェフリー ス コット CROSS JEFFREY SCOTT	バイオ燃料, 海洋廃棄物のリサイクル, 教育工学(オンライン, AI), 再生可能エネルギーシステム, エネルギー政策	融合理工学系エネルギーコース 融合理工学系地球環境共創コース 材料系材料コース
教授	ゴトウ ミカ 後藤 美香	企業経営分析, 生産経済学, エネルギー経済学	イノベーション科学系イノベーション科学コース 融合理工学系エネルギーコース 技術経営専門職学位課程

環境・社会理工学院 社会・人間科学系

【系ウェブサイト】 ※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/shs/>

<http://www.shs.ens.titech.ac.jp/~course/>（詳細版）

【履修コース】

社会・人間科学コース

【取得できる学位】

修士(理学, 工学又は学術)

【受入可能予定人数】

48名

【志望理由書のテーマ等】

これまで行った学修や研究の内容及び修士課程で予定している学修や研究の目的・内容・計画等について、3,000字程度にまとめたもの。

【出願にあたっての注意】

- ・教育上の配慮から、教員あたりの合格者数が制限される場合があります。また、指導教員の決定に当たっては、成績が優先されます。
- ・第10志望まで入力できます。必ずしも全ての枠を埋める必要はありませんが、熟考の上、記入して下さい。
- ・本系を受験することにより、清華大学(中国)との大学院合同プログラムに出願することも可能です。詳細は『Ⅲ 清華大学(中国)との大学院合同プログラム入学試験案内』を参照してください。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を必ず出願時に提出してください。出願受付締切後の提出は一切認めません。一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答試験は実施しません。

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A日程	口述試験	7月20日(火)	試験の形式:面接試験 試験の内容: これまで行った学修や研究の内容及び修士課程で予定している学修や研究の目的・内容・計画等についての試問。 受験資格者の判定:出願書類を用いて系が決定します。 可否の判定には出願書類と上記試験(面接試験)の結果を uses。	
	筆答試験	実施しません		
B日程	口頭試問	8月18日(水)	試験の形式:論述および面接試験 試験の内容: 1. 論述:修士課程で予定している学修や研究の目的・内容・計画等に関して与えられたテーマについて1,200字程度で記述する。時間は1時間。 2. 面接試験:1の論述と修士課程で予定している学修や研究の目的・内容・計画等についての試問。 受験資格者の判定:上記A日程『口述試験』で合格となった者以外の受験生全員を対象とします。 可否の判定には出願書類と上記試験(論述と面接試験)の結果を uses。	

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-28

東京工業大学 環境・社会理工学院 社会・人間科学系・コース主任

MAIL:head@shs.ens.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

※印を付してある指導教員は、定年、海外出張、その他の理由のため今回は志願できません。

◆印を付してある指導教員は、主指導教員にはなれません。

指導教員		研究分野	担当コース
教授	イソザキ ケンイチロウ 磯崎 憲一郎	文学, 文芸創作	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	イノハラ タケヒロ 猪原 健弘	意思決定, 社会モデリング	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ウエダ ノリユキ 上田 紀行	文化人類学, 比較価値論(癒し・宗教, 社会変革論)	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	サクマ クニヒロ 佐久間 邦弘	運動生化学, 骨格筋の肥大・萎縮・再生機構の解明	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	シラベ マサシ 調 麻佐志	科学技術社会論, 科学計量学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	タカハシ マサキ 高橋 将記	栄養・運動生理学, 時間栄養学, スポーツ栄養学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	デフェランティ ヒュー バリーズ DE FERRANTI HUGH	音楽学, 日本芸能史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ナカジマ タケン 中島 岳志	政治学, 南アジア地域研究, 日本思想史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ナカジマ ヒデト 中島 秀人※	科学技術史, 科学技術社会論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ナカノ タミオ 中野 民夫※	コミュニケーション論, ワークショップ論, ファシリテーション論, 参加型の場づくり, マインドフルネス	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	マツダ トシキ 松田 稔樹	教育工学, 数学・科学技術・情報教育, 教育方法, e-learning, ゲーミング・シミュレーション	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ムロタ マサオ 室田 真男	教育工学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ヤナセ ヒロイチ 柳瀬 博一	メディア論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ヤマザキ タロウ 山崎 太郎	ドイツ文学, ドイツオペラ	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ヤマモト ヒロフミ 山元 啓史	言語学, 計量言語学, 日本語教育システム論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ユミヤマ タツヤ 弓山 達也	宗教学, 現代スピリチュアリティ研究	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	リュウ ガンイ 劉 岸偉	近代日中文化交渉論, 比較文化史, 比較文学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ワカマツ エイスケ 若松 英輔	近代日本精神史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	イトウ アサ 伊藤 亜紗	美学, 現代アート	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	エガワ ミドリ 江川 緑※	精神保健学(多文化間精神保健・職場の精神保健・地域精神保健), 組織行動論, 共生社会論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	カネコ ヒロナオ 金子 宏直	法学(特に民事訴訟法, 倒産法, 知的財産法, 電子証拠法)	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	カワナ シンジ 川名 晋史	国際政治学, 安全保障論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	キタムラ キョウヘイ 北村 匡平	映像文化論, 歴史社会学, メディア史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	コイズミ ユウト 小泉 勇人	英国初期近代劇(16-17世紀イギリス文学), シェイクスピア劇の映像化, アカデミック・ライティング教育, 映画英語教育	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	サトウ レイコ 佐藤 礼子	日本語教育学, 第二言語習得	社会・人間科学系社会・人間科学コース

指導教員		研究分野	担当コース
准教授	スズキ ユウタ 鈴木 悠太	教育学, 学校改革研究, 教師教育	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	スダ カズヒロ 須田 和裕※	運動生理学, スポーツ(ボールゲーム)における行動解析, スポーツ認知心理学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	セン ギョウバイ 戦 暁梅	近代日中美術交渉史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	ナガミネ ミツエ 永岑 光恵	心理生理学, ストレス科学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	ニシダ リョウスケ 西田 亮介	社会学, 公共政策学, 社会情報学, 情報社会論, メディア論, ジャーナリズム研究	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	フクトメ マキ 福留 真紀	日本近世政治史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	マルヤマ タケオ 丸山 剛生	バイオメカニクス, スポーツ工学, 生体情報	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	モリタ ジュンコ 森田 淳子	日本語教育学, 教育工学, 教授システム学, インストラクショナルデザイン	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	ヤマギシ キミヒコ 山岸 侯彦	認知科学, 意思決定論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	ヤマネ リョウイチ 山根 亮一	アメリカ文学・文化研究	社会・人間科学系社会・人間科学コース
講師	ケヅカ カズヒロ 毛塚 和宏	計量社会学, 数理社会学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
講師	コマツ ミドリ 小松 翠	異文化間教育学, 異文化間心理学, 日本語教育学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
講師	タクワ ヨシミ 多久和 理実	科学史, 技術史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	キムラ ダイスケ 木村大輔	応用言語学, 会話・談話分析, 英語教育	社会・人間科学系社会・人間科学コース
講師	エバラ ミカ 榎原 実香	言語学, 日本語教育学, 日本語文法	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ヤマモト タカミツ 山本 貴光	学術誌, ゲーム学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
教授	ミツボリ コウイチロウ 三ツ堀 広一郎	フランス文学, 比較文学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	ジブ レンゲ 治部 れんげ	経営, 多様性マネジメント	社会・人間科学系社会・人間科学コース
准教授	アカバ サナエ 赤羽 早苗	アメリカ幼児教育政策, 人種・制度的人種差別, ソーシャルエモーショナルラーニング(SEL)	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	イシカワ クニヒロ 石川 国広◆	体験教育論, 認知行動療法(ストレスマネジメント), カウンセリング心理学, スポーツ精神医学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	イワオ セイキ 岩男 征樹◆	文化心理学, メディア心理学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	カワムラ アヤ 河村 彩◆	近現代美術, ロシア文化, 表象文化論	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	クリヤマ ナオコ 栗山 直子◆	認知心理学, 教育心理学, 認知科学, 学習科学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	コタニ ヤスリ 小谷 泰則◆	生理心理学, 脳科学, スポーツ心理学	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	ハタナカ ケンジ 畑中 健二◆	日本思想史	社会・人間科学系社会・人間科学コース
助教	ベクタス ヤクブ◆	科学技術史, 技術哲学, 電信技術の社会史, 技術と文学	社会・人間科学系社会・人間科学コース

環境・社会理工学院 技術経営専門職学位課程

【系ウェブサイト】※最新情報等を系ウェブサイトに掲載します。随時確認してください。

<https://educ.titech.ac.jp/isc/admissions/>

【取得できる学位】

技術経営修士(専門職)

【受入可能予定人数】

43名 ※11～12月に実施する社会人募集を含む

【志望理由書のテーマ等】

1. なぜ本課程で学びたいか(500字程度), 2. これまでに業務上、学術上行ったことで特筆すべき業績について(500字程度), 3. 本課程で予定している研究の計画(目的・内容等)について(1, 500字程度), を記載すること。

【出願にあたっての注意】

- ・厚生労働省による専門実践教育訓練給付制度の指定講座です。
- ・技術経営専門職学位課程は本年12月に別途、在職中の社会人のみを対象に入学試験を実施します。
12月の入学試験に関する募集要項は別途配布いたします。
- ・参考のため、GMAT のスコアを持っている方はA日程『口述試験』又はB日程『筆答試験』の試験時に提出をお願いします(写しでも可)。なお、入試の可否判定には一切使用しません。

【系・課程が指定する入力項目】

インターネット出願サイトの「系・課程が指定する入力項目」欄は、何も入力しないでください。

【外部英語テストのスコアシートの取扱い】

スコアシートは原本を出願時に提出してください。

出願時に提出できない場合、A日程『口述試験』又はB日程『筆答試験』の試験時に提出してください。

一度提出したスコアシートの差し替えは一切認めません。また、スコアシートは返却しません。

【筆答専門試験科目】

筆答専門試験科目名 : 技術経営

【試験実施日程等】

試験区分		試験日	試験内容等	備考
A 日程	口述試験	7月19日(月)	学力, 勉強意欲, 今後の学習テーマ等に関する質疑応答	試験は日本語のみで行います
B 日程 ※ 注	筆答試験	8月17日(火) 10:00～12:00	技術経営 (論理力, 思考力, 記述力等を問う内容) 試験時間: 120 分 配点: 筆答専門試験: 100 点, 英語: 20 点	試験は日本語のみで行います
	口頭試問	8月23日(月) 8月24日(火)	学力, 勉強意欲, 今後の学習テーマ等に関する質疑応答	試験は日本語のみで行います

※注 筆答試験を中止とした場合には、代替として、提出された出願書類を元に採点を行います。

引き続き本系のホームページを確認してください。この場合のスケジュールは以下のとおりです。

- ・8/10(火) 出願書類を元に採点を行った結果, B 日程口頭試問受験資格者を発表
- ・8/23(月), 24(火) B 日程口頭試問(オンライン実施)

【口頭試問受験資格者の発表】

8月21日(金) 正午頃より, 技術経営ホームページ(<https://educ.titech.ac.jp/isc/>)にて公表します。

【過去の筆答試験問題の公表】

ホームページで公表 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html

【記載内容及び入試に関する問い合わせ先】

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-3-6-CIC807

環境・社会理工学院等田町地区事務グループ事務室

TEL: 03-3454-8912 / MAIL: tam.inv@jim.titech.ac.jp

【指導教員及びその研究分野一覧】

教員氏名		研究分野	担当コース及び備考
教授	イケガミ マサコ 池上 雅子	国際政治学・安全保障論，紛争予防と信頼醸成，軍縮軍備管理・核不拡散，科学技術政策論	技術経営専門職学位課程 融合理工学系原子核工学コース
教授	カジカワ ユウヤ 梶川 裕矢	イノベーションマネジメント，新規事業企画，研究開発マネジメント，科学技術イノベーション政策の科学，持続可能性学，科学計量学	技術経営専門職学位課程
教授	ゴトウ ミカ 後藤 美香	企業経済学，エネルギー経済学，生産性分析	技術経営専門職学位課程 融合理工学系エネルギーコース
教授	サイジヨウ ミキ 西條 美紀	コミュニケーションデザイン，ユーザー中心設計，知識管理・談話管理	技術経営専門職学位課程 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	サイトウ シゲキ 齊藤 滋規	デザイン思考を活用した製品・サービス開発，エンジニアリングデザイン，ユーザー中心設計	技術経営専門職学位課程 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	センゴク シンタロウ 仙石 慎太郎	技術経営学，経営組織論，バイオ・ヘルスケア産業論	技術経営専門職学位課程
教授	ツジモト マサハル 辻本 将晴	経営戦略論，経営組織論，ビジネスエコシステム論，プラットフォームマネジメント論，新規事業創出，スタートアップマネジメント	技術経営専門職学位課程 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
教授	ハシモト マサヒロ 橋本 正洋	イノベーション政策，知財戦略，知財政策，技術経営学	技術経営専門職学位課程 ※定年，海外出張，その他の理由のため今回は志望できません。
教授	ヒダカ カズヨシ 日高 一義	サービス科学，製造業・情報産業・医療・交通・エネルギーマネジメントに於けるサービスイノベーション	技術経営専門職学位課程
准教授	イケダ シンタロウ 池田 伸太郎	建築・不動産と人工知能	技術経営専門職学位課程
准教授	イナバ カズアキ 因幡 和晃	エンジニアリングデザイン，機械工学，マルチフィジックス	技術経営専門職学位課程 融合理工学系エンジニアリングデザインコース
准教授	ササハラ カズトシ 笹原 和俊	計算社会科学	技術経営専門職学位課程
准教授	スギハラ タロウ 杉原 太郎	ヒューマンコンピュータインタラクション，技術経営，ユーザ行動分析	技術経営専門職学位課程
准教授	ナカマル マユコ 中丸 麻由子	社会シミュレーション，人間行動進化学	技術経営専門職学位課程 融合理工学系エンジニアリングデザインコース

Ⅲ 清華大学(中国)との大学院 合同プログラム入学試験案内 2022年4月入学

1 はじめに

(1) 大学院合同プログラムの概要等

この合同プログラムは、日本と海外の 2 つの学位が取得できるという、大学院レベルではわが国初のダブル・ディグリープログラムです。参加学生の方は、東京工業大学及び清華大学（中国）の双方に修士課程学生として在籍し、日中両大学の指導教員の指導の下、両大学からそれぞれ修士の学位を取得することになります。

そして、このプログラムに参加することにより、日中双方の文化・習慣に通暁した国際的リーダーシップを発揮できる優れた理工系人材となることが期待されております。

なお、本プログラムには、ナノテクノロジーコース、バイオコース、社会理工学コースの 3 つが設けられています。

カリキュラムについては、日本語及び中国語を主とし、必要に応じて英語も交えて行われるため、専門領域での知識のみならず、日本語、中国語、英語の三カ国語もあわせて習得することができます。（※入学試験においては、中国語の語学力は選考の対象となっておりません。中国語については、本プログラムが開催している中国語講座を受講することにより、渡中までに十分な語学力を身につけることができるように配慮されております。）

(2) 研究期間、標準的スケジュール等

本プログラムの学生の方は、修学の途中で日本ー中国間のキャンパスの移動を行います。課程の修了に要する年数は、2 年半です。

入学後半年は東京工業大学のみに学籍を有し、その後の 2 年間は、東京工業大学及び清華大学に学籍を有します。

以下に、入学前後から修了までの標準的なスケジュールを示します。

	ナノテクノロジーコース・社会理工学コース			バイオコース	
	スケジュール	滞在場所		スケジュール	滞在場所
2021年 8月	入学試験（東工大）		2021年 8月	入学試験（東工大）	
2022年 1月	留学申請（清華大へ）		2022年 1月	留学申請（清華大へ）	
3月	入試面接（清華大）		3月	入試面接（清華大）	
4月	入学（東工大）		4月	入学（東工大）	
8月	清華大へ移動		8月	清華大へ移動	
9月	入学（清華大）		9月	入学（清華大）	
2023年 7～8月	東工大へ移動		2023年 9月	論文発表（清華大） 東工大へ移動	
2024年 2月	論文発表（東工大）		2024年 7月	学位授与（清華大）	
3～4月	清華大へ移動			論文発表（東工大）	
7月	論文発表及び学位授与（清華大）			学位授与（東工大）	
9月	学位授与（東工大）		9月	学位授与（東工大）	


日本滞在


中国滞在

(3) 学費・入学金

東京工業大学へは授業料（2 年半）等を納付する必要がありますが、清華大学への授業料等是不徴収と同等の扱いとなります。

(4) その他志願者にとっての重要な情報等

東京工業大学の学生は、清華大学滞在中に、東京工業大学の教員が清華大学で開講する日本語を用いる講義を受講することにより、一定の単位を取得することができます。

なお、日本ー中国間の移動に要する旅費、清華大学での生活費は自己負担です。宿舎は清華大学が用意する学生寮に入居できます。（およそ 80 人民元／日、12,300 人民元／学期、22,200 人民元／年）※このプログラムに参加すると、トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラムや、日本学生支援機構（JASSO）の奨学金制度である海外留学支援制度や、中国政府奨学金、学費奨学金に応募することができます。（2020 年度実績）

2 専門コースの概要

(1) ナノテクノロジーコース

本コースは、東京工業大学 工学院 電気電子系、物質理工学院 材料系、および物質理工学院 応用化学系と中国・清華大学 材料学院、化学工程系高分子研究所により構成されています。

本コースでは、理工学を基盤として金属・合金、セラミックス、有機化合物などのナノ構造設計・制御に関する学際的分野、特に、電子材料、デバイス、機械、航空宇宙などの先端材料への応用分野に関する教育・研究及び産業において日中両国で活躍できる有為な人材を育成することを目的とします。

(2) バイオコース

本コースは、東京工業大学 生命理工学院 生命理工学系と中国・清華大学 化学工程系により構成されています。

本コースでは、理工学を基盤としてバイオサイエンスとバイオテクノロジーに関する学際的分野、特に環境・資源・エネルギー・医療などの分野の教育・研究及び産業において日中両国で活躍できる有為な人材を育成することを目的とします。

(3) 社会理工学コース

本コースは、東京工業大学 工学院 経営工学系、環境・社会理工学院 土木・環境工学系、建築学系および環境・社会理工学院 社会・人間科学系と中国・清華大学 公共管理学院、人文学院、教育研究院、社会科学学院により構成されています。

本コースでは、社会理工学を基盤にして意思決定や政策形成に関する学際的分野、特に公共管理、政策科学、知的財産権、科学技術と社会、などの分野で、教育・研究に携わったり、企業や政府、国際機関で指導的立場についたりして、日中両国で活躍できるグローバルな人材を育てることを目的とします。

3 学院・系・コース及び募集人員

コ ー ス 名	学院・系・コース	募集人員
ナノテクノロジーコース	工学院 電気電子系 電気電子コース	若干人
	物質理工学院 材料系 材料コース	
	材料系 エネルギーコース	
	材料系 ライフエンジニアリングコース	
	材料系 原子核工学コース	
	応用化学系 応用化学コース	
	応用化学系 エネルギーコース	
	応用化学系 ライフエンジニアリングコース	
バ イ オ コ ー ス	生命理工学院 生命理工学系 生命理工学コース	若干人
	生命理工学系 ライフエンジニアリングコース	
社 会 理 工 学 コ ー ス	工学院 経営工学系 経営工学コース	若干人
	環境・社会理工学院 建築学系 都市・環境学コース	
	環境・社会理工学院 土木・環境工学系 都市・環境学コース	
	環境・社会理工学院 社会・人間科学系 社会・人間科学コース	

※過去実績：9名（2021年4月入学者）、8名（2020年4月入学者）

4 注意事項

(1) 合同プログラムを志望される方は、各コース長に、必ず事前にご相談ください。

ナノテクノロジーコース長	中嶋健 教授 nakajima.k_aa@m.titech.ac.jp
バイオコース長	蒲池利章 教授 tkamachi@bio.titech.ac.jp ※生命理工学系ライフエンジニアリングコースを志望される方は、下記副主任ともご連絡ください。 ライフエンジニアリングコース副主任: 山本直之 教授 yamamoto.n_ap@m.titech.ac.jp
社会理工学コース長	猪原健弘 教授 inohara.t_aa@m.titech.ac.jp

合同プログラムを志望される方は、各学院・系を志望し、その学院・系の出題する試験を受けることになります。

学院・系の案内、試験実施内容、指導教員及びその研究分野一覧は、該当学院・系の案内ページを参照してください。

当該学院・系に所属するすべての教員が受入れ可能とは限りません。事前に上記コース長ならびに志望する教員と連絡を取り、本プログラム学生として出願できるかどうか確認してください。

(2) 本プログラムを志望とする受験生の方は、インターネット出願サイトの「入試区分の選択」画面で、「大学院修士課程（清華大学との大学院合同プログラム）」を選択してください。

(3) 同一学院・系に限り、「清華大学との大学院合同プログラムによる選抜」と「一般修士課程選抜」を併願することができます。

(4) 中国国籍を持つ方は、清華大学に留学生として入学することができないため、この志願票で、合同プログラムに出願することができません。先に清華大学大学院の入学試験を受けて合格してから、清華大学の学生として合同プログラムに参加してください。

(5) 日本国以外の国籍を持つ方は、本プログラム運営委員長 中村吉男 教授 nakamura.y_ab@m.titech.ac.jp まで、事前に連絡する必要があります。日本政府国費奨学金受給者は、清華大学（中国）との大学院合同プログラムに出願することはできません。また、外国政府奨学金受給者は、出願する際に在日大使館に確認してください。

(6) 清華大学大学院の入学試験を受けて合格してから、本プログラムに参加する場合は、本選抜ではなく、国際大学院プログラム（B）（海外出願・東京工業大学－清華大学大学院合同プログラム）修士課程入学者選抜試験を受験することになります。

(7) 合格者の履修コース決定については、『8.合格後の手続きについて』を参照してください。

●アドミッションポリシー

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち、課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を、経済を、社会を、どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく、エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって、いまこの瞬間も、世界中の科学者や技術者、その他各分野の専門家たちが、その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに、あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来、時代を切り開く拓くフロントランナーとして、理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは、科学技術の強い基盤を持ちながら、従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら、どんなに高度で専門的な知識でも、ただそれを持っているだけでは、わくわくするような発見や発明に出会うことも、困難な問題を解決に導くことも、決してできないからです。だからこそ、本学の門を叩こうとするあなたには、以下のような心構えを持つてのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を、本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代、ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ、ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来、何を為したいのか。社会に、どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち、それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は、志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し、すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では、新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ、幅広い分野に興味を広げ、専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って、世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ、「そんな考え方もあったのか!」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人、知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ、誰も見たことのない未来を、ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを、期待しています。

入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

【修士課程】

求める人材像	基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を求めます。
求める力	専門力：基盤的な専門力
	教養力：物事を俯瞰的に把握できる幅広い知識と語学力
	コミュニケーション力：論理的に表現でき、理解しあうことができる力
	展開力：整理及び分析でき、また、豊かな発想力や創造力を用い、知識や技能を活用して基本的な問題を解決できる力

【専門職学位課程】

求める人材像	幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を求めます。
求める力	専門力：幅広い専門力
	教養力：物事を俯瞰的かつ国際的な視野で把握でき、国際的に通用する幅広い知識と語学力
	コミュニケーション力：論理的かつ状況に応じた説明ができ、多様な考えをまとめることができる力
	展開力：科学技術の深奥を究めようことができ、また、豊かで確かな発想力や創造力を用い、幅広い知識や技能を自在に活用して実践的な問題を解決できる力

【理学院】

理学院修士課程では、自然科学への知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- 自然科学の根本への探究心を有している人
- 自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- 専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人

《数学系》

数学系では、数学への知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- 数学の根本への探究心を有している人
- 数学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- 数学課程で必要となる基礎的な語学力を有している人

《物理学系》

物理学系では、自然現象への知的好奇心を有し、基本的な物理学の概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- 物理学の根本原理への探究心を有している人
- 物理学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- 専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
- 自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

《化学系》

化学系では、広く物質の関わるさまざまな現象に知的好奇心と探究心を有し、基本的な概念や考え方を身に付けた人材を求めます。具体的には次のような項目に該当する人材です。

- 広く物質の関わるさまざまな現象に好奇心と探求心を有している人
- 化学の基本的な概念や考え方を身に付けている人
- 論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- さまざまな事象を原子・分子レベルで探求し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人
- 専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人

《地球惑星科学系》

地球惑星科学系では、次のような学生を求めます。

- 地球・惑星・宇宙の諸現象に対する科学的好奇心を有している人
- 数学・物理学・化学・地球科学などの基本的な学力を身につけている人
- 論理と定量的評価に基づいた科学的思考ができる人
- 専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人

【工学院】

工学院修士課程では、高度で幅広い工学的知識を修得するとともに、修士論文研究を通して、人類と社会の持続的発展に貢献できる学術・技術の創生について学びます。そのために、次のような人材を求めます。

- 志望する系の専門を活かして高い倫理観のもと社会貢献を行う志を有する人
- 志望する系の専門を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、他者と意思疎通をできるコミュニケーション力を備えた人
- 豊かで幅広い教養を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- 工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

《機械系》

機械系では、次のような人材を求めます。

- 機械工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- 機械工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- 機械工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

《システム制御系》

システム制御系では、次のような人材を求めます。

- システム制御工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- システム制御工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- システム制御工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

《電気電子系》

電気電子系では、次のような人材を求めます。

- 電気電子工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- 電気電子工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- 電気電子工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

《情報通信系》

情報通信系では、次のような人材を求めます。

- 情報通信工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- 情報通信工学を主とする工学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- 情報通信工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

《経営工学系》

経営工学系では、次のような人材を求めます。

- 経営工学の専門を活かして社会貢献を行う志を有する人
- 経営工学を主とする工学ならびに人文社会科学の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、他者と意思疎通をできるコミュニケーション力を備えた人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から工学研究・技術開発を進めるために必要な語学力・文書化能力を有する人
- 経営工学における未知の研究領域に興味を持ち、果敢に挑戦する旺盛な研究意欲を有する人

【物質理工学院】

物質理工学院修士課程では、材料学および応用化学に関する高度な専門学力と総合的な意思決定能力をもち、先端的な技術開発と学術研究における課題の実践的な解決ができ、幅広い視野をもってグローバル社会で活躍できる人材を養成します。そこで、次のような学生を求めます。

- 材料学および応用化学に関する高度な専門内容を積極的に学ぶ意欲がある人
- 材料学および応用化学についての理解を支える理工系の基礎学力を有する人
- 国際的な視野から研究や技術開発を進めるために必要な語学力を有する人

《材料系》

材料系では、特に次のような学生を求めます。

- 材料科学および材料工学における新しい研究領域に果敢に挑戦する気概を有する人
- 材料科学および材料工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有する人

《応用化学系》

応用化学系では、特に次のような学生を求めます。

- 応用化学における科学と工学の新しい研究領域に果敢に挑戦する気概を有する人
- 応用化学における科学と工学の知見を活かして社会の発展に貢献する志を有する人

【情報理工学院】

情報理工学院修士課程では、情報理工学に関する深い知識と広い視野を備え、それを基にさまざまな視点から情報化社会の進展に貢献できる人材の育成を目指します。そのために、次のような資質と能力を持つ人材を求めます。

- 情報理工学の基礎学力を有し、それに基づいて理論的に思考し、表現できる人
- 情報理工学の先端的な理論や技術を学ぶために必要なコミュニケーション基礎力を有する人
- 情報理工学の未知の世界に果敢に挑む旺盛な研究意欲を有する人

《数理・計算科学系》

数理・計算科学系では、次のような人材を求めます。

- 論理・数学的な理論体系と現象の背後にある数理科学的構造に興味を持つ人
- 学部レベルの数学とその応用分野、コンピュータシステムとプログラミングの基礎知識を身につけている人

《情報工学系》

情報工学系では、次のような能力と適性を持つ人材を求めます。

- 理工学の幅広い分野に興味を持ち、自ら積極的に学習し新しい問題に粘り強く柔軟に取り組むことのできる人
- 知的なふるまいを適切にモデリングして現実の問題解決に結びつけようとする意識を持てる人
- より高性能で使いやすいコンピュータシステムの実現を通して、社会の発展に貢献したいという強い志を持つ人

【生命理工学院】

《生命理工学系》

生命理工学院修士課程では、生命理工学分野の高度な専門知識を修得させ、生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題設定力と高度な課題解決力、ならびに高い倫理観と国際性を養います。そこで、本学院及び本系では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- 理工系の基礎学力と生命理工学分野の基礎的専門学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、表現できる人
- 国際的な視野から生命理工学分野の研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有している人
- 生命理工学研究に対する強い関心と生命に真摯に向き合う倫理観を有している人

【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院修士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、社会と技術の変化に柔軟に適応でき、環境、産業、学術、政策等の分野において国際的に通用する科学・技術の専門家として、幅広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- 理工学・人文社会科学の基礎的素養を習得しており、それに基づいて論理的に思考・表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有した上で、様々な視点から多面的にかつ柔軟にものごとを捉えることができる人
- 国際的な視野から研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有している人
- 未知の世界に果敢に挑む旺盛な研究意欲を有し、人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

《建築学系》

建築学系では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- 建築学および都市・環境において全般的な基礎学力と専門領域の学力を有する人
- 多面的な捉え方、論理的な思考、創造、表現ができる人
- 未知の領域に興味を持ち、挑戦する気概、積極的な研究意欲を有する人
- 建築および都市・環境を取り巻く世界を理解し、専門知識を生かし、社会の発展に貢献する志を有する人
- 国際的に研究活動や創作活動を行うための基礎的な語学力を有している人

《土木・環境工学系》

土木・環境工学系では、以下のような能力と適性を持った方々を求めます。

- 理工系基礎学力を有し、論理的かつ多面的な発想ができる人
- 土木技術や社会基盤、都市、環境に関連する幅広い知識を有し、積極的に学び研究する意欲を有する人
- 国際的な視野から研究開発を進めるために必要な語学力を有している人
- 土木・環境工学の知見を活かし、安全で環境に調和した社会の形成に貢献する高い志を有する人

《融合理工学系》

融合理工学系では、以下のような能力と適性を持った方々を求めます。

- 国際社会が抱える問題や地域社会の問題に興味を持ち、それを解決するための高度な学問を学ぶ意欲を有する人
- 自分の得意分野を極める意欲と関連分野を広く学ぼうとする柔軟性を併せ持つ人
- 高度な融合理工学を修得するための基礎的な学力が十分である人
- 国際的なコミュニケーション力、マネジメント力、協働力の基礎ができている人

《社会・人間科学系》

社会・人間科学系では、人文学・社会科学・理工学など知識・専門性の面でのバックグラウンドや、経歴・経験などの面でのバックグラウンドを問わず、次のような能力と適性をもつ多様な人材を求めます。

- 人文学・社会科学・理工学についての広い知識と人間・社会・科学技術に関わる分野における高い専門性を獲得する意欲
- 人間と社会と科学技術をつなぐためのコミュニケーション力、多様性の理解、人間性、ブリッジ力の習得への積極性
- 自ら高度な価値判断基準を形成してビジョンを表明する「価値形成力」の獲得への真摯な取り組み
- 必要な仕組みを創造的に設計し力強くプロセスを推進する「問題解決力」を身につけることへの貪欲さ
- 価値形成力、問題解決力と国際的視野を持つリーダーとしてグローバル社会で活躍することへの高い意欲

《技術経営専門職学位課程》

技術経営専門職学位課程では、次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- 自らの経験から得た知識や習得した知識を基に、現状を踏まえて論理的かつ客観的に思考し、表現できる人
- 豊かで幅広い知識を有し、様々な視点で多面的にものごとを捉えることができる人
- 国際的に活動できる語学力を有している人
- 向上心にあふれ、社会を主導する意欲を有している人

東工大教育ポリシー

本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系・コース・専門職学位課程で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次の web サイトに掲載中です。

[教育ポリシー] ≪ [東工大の方針] ≪ [東工大について] ≪ [本学 HP トップ]
<https://www.titech.ac.jp/about/policies/education/index.html>



教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに応えるべく、本学では、

- ・ 確かな専門力
- ・ 豊かな教養力
- ・ 柔軟なコミュニケーション力
- ・ 以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロンティア」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロンティア」を養成します。

≪ 修士課程 ≫

「国際的に貢献できる科学技術の専門家」

修士課程では、幅広い専門力、並びに、国際的に通用する教養、そして、多様な考えをまとめることができる力と科学技術の深奥を究めようとする探求力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

≪ 専門職学位課程 ≫

「イノベーション創出のリーダーとして、科学技術を活用し、自らの理論を構築して産業や社会の発展に貢献できる実務家」

専門職学位課程では、実践的な専門力、並びに、国際的に通用する知識と語学力、そして、多様な考えをまとめることができる力と物事の本質及び普遍性を探求し、イノベーション創出及びビジョン策定できる力を身に付け、実践的な物事に取り組むことができる人材を養成します。

国立大学法人 東京工業大学学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山2丁目12番1号-W8-103

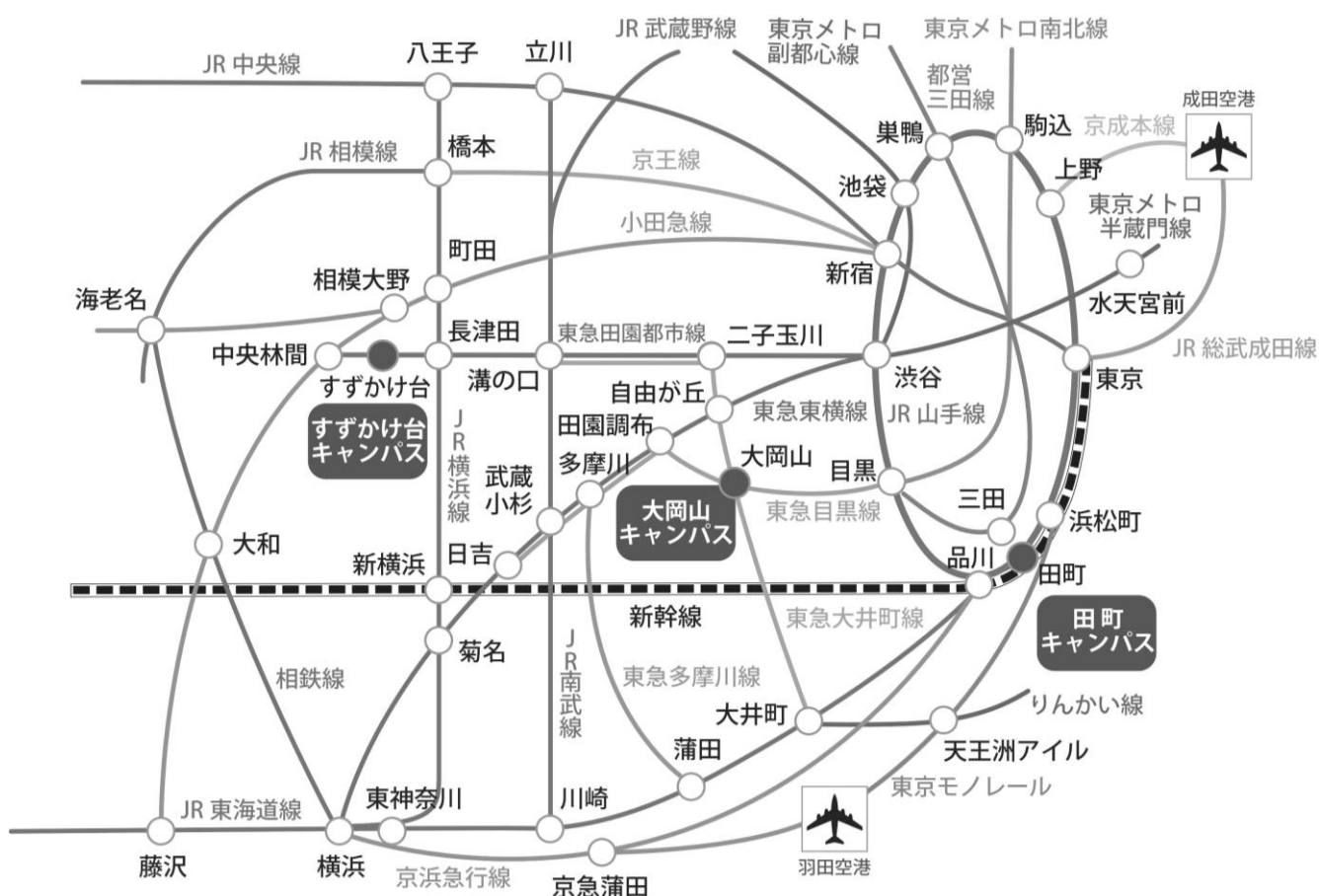
TEL (03) 5734-3990 : 平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く)

e-mail nyushi.daigakuin@jim.titech.ac.jp

※問い合わせは志願者本人が行うこと

MAP

- 大岡山キャンパス 東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス 東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)



東京工業大学ホームページ <https://www.titech.ac.jp>

新着入試情報 https://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html